

平成24年度 青葉区区民意識調査

調査結果報告書

平成24年8月

横浜市青葉区

平成24年度 青葉区区民意識調査

目 次

調査概要.....	2
I. 回答者の属性	3
II. 調査結果	12
1. 青葉区の生活環境について	12
2. 災害対策について	19
3. 防犯について	24
4. 住宅用火災警報器について	29
5. 子育てについて	32
6. 若者の就労について	39
7. 介護予防について	42
8. 環境について	44
9. 健康について	53
10. 地域活動・地域社会について	63
11. 証明発行窓口サービスについて	69
12. 青葉区への定住意向について	71
13. 区政について	77
自由記述内容一覧	78

青葉区 区民意識調査

調査概要

調査の目的	青葉区にお住まいの皆さまの生活意識や区政に対する満足度、要望等を的確に把握し、今後の区政運営に活かしていくことを目的とする。
調査対象	青葉区内在住の16歳以上の男女3,000人（うち外国人60人）
抽出方法	住民基本台帳及び外国人登録原票からの無作為抽出
調査方法	郵送によるアンケート方式
回答率	51.3%（有効回答者数1,529人）
調査期間	平成24年5月31日～6月18日
設問分野	生活環境、災害対策、防犯、子育て、若者の就労、介護予防、環境、健康、地域活動・地域社会、定住意向等
図表の見方	図（グラフ）の中で使用されているアルファベットの意味は次のとおり。 MA : 複数回答（マルチアンサー）の設問 N : その設問に対する回答者数

※集計結果の見方

- ・回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ・数値はそれぞれ割合（%）を表示。基数の記述があるもの以外は有効回答者数を基本としている（N=1,529）。

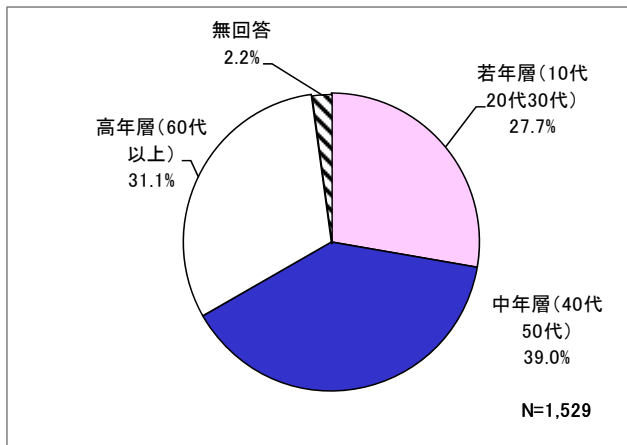
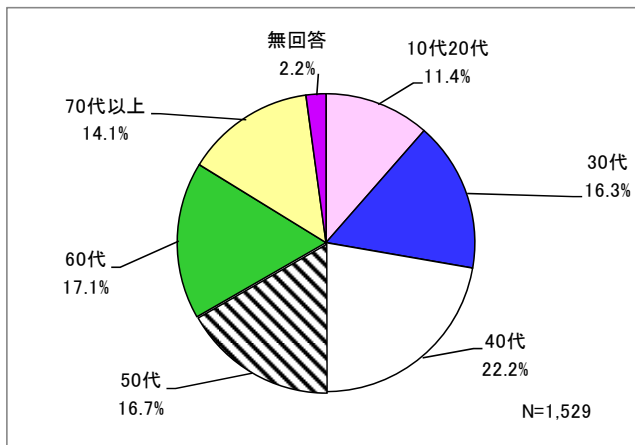
※クロス集計表の見方

- 濃いグレーの塗りつぶし：選択肢の中で、第1位の項目については濃いグレーで塗りつぶしている。
- 薄いグレーの塗りつぶし：属性別にみて、特徴的な項目（区全体の数値と比べて概ね10ポイント以上数値が高い項目）については、薄いグレーで塗りつぶして特記している。

I. 回答者の属性

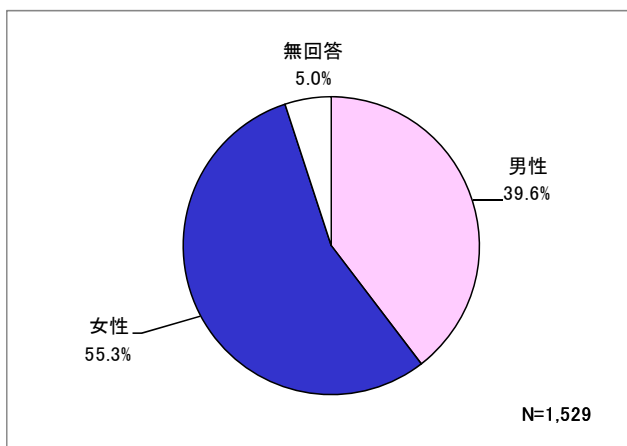
年齢 (F 1)

・最も多いのは40代の22.2%、少ないのは10代20代の11.4%である。



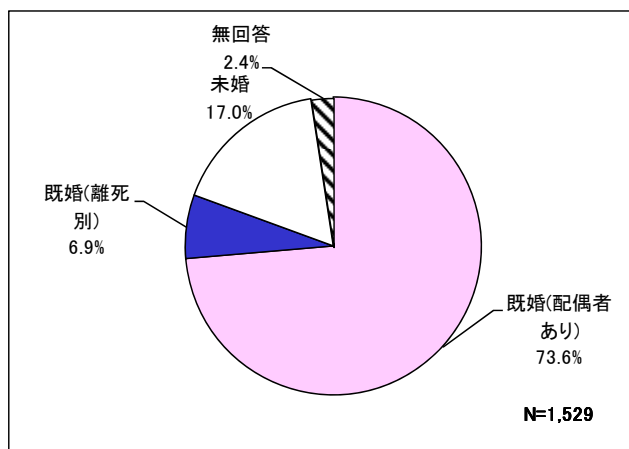
性別 (F 2)

・女性が55.3%で、男性の39.6%を15.7ポイント上回っている。



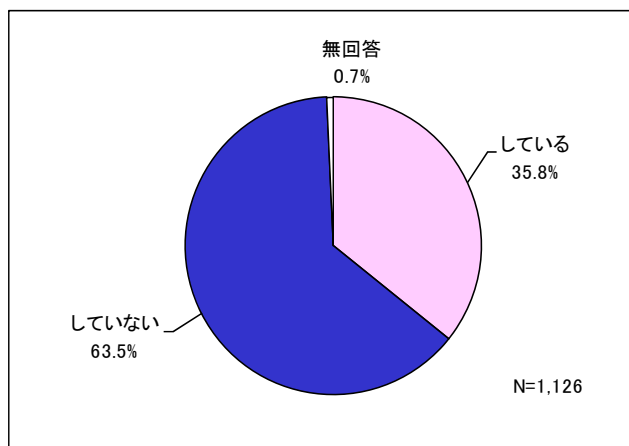
婚姻の有無（F3）

- ・「既婚（配偶者あり）」が最も多く 73.6% で、全体の 4 分の 3 近くを占める。次いで「未婚」（17.0%）が 2 割弱、「既婚（離死別）」は 6.9% となっている。



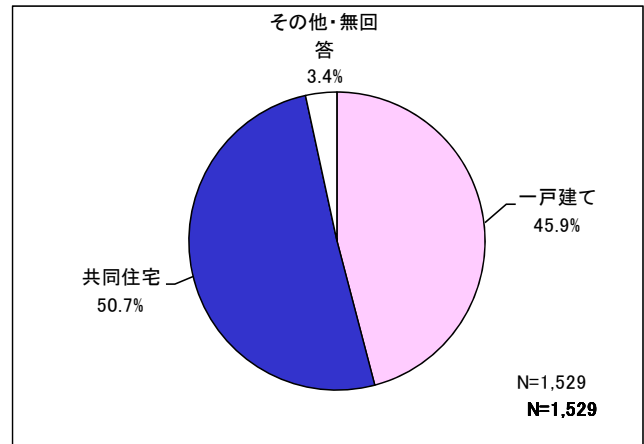
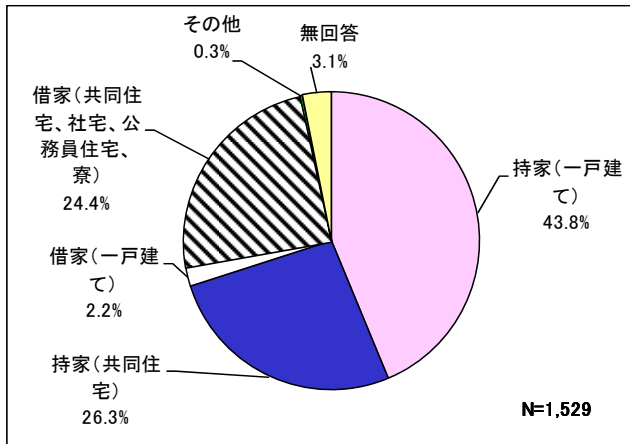
共働きの有無（F3-1）

- ・「既婚（配偶者あり）」のうち、共働きを「していない」人が 63.5% で、「している」人の 35.8% を 30 ポイント近く上回っている。



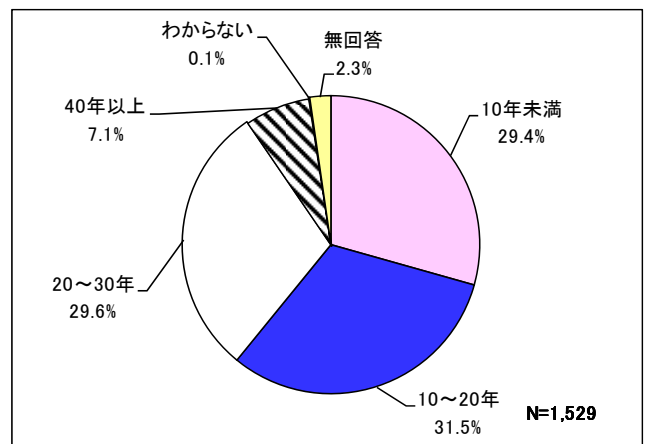
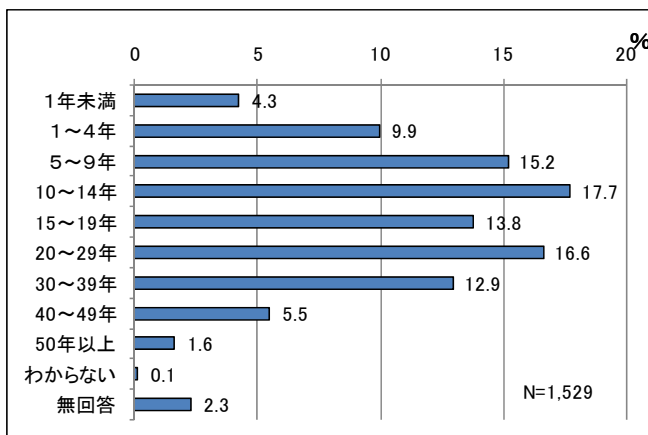
居住形態（F4）

- ・「持家（一戸建て）」が43.8%で最も多い。次いで「持家（共同住宅）」が26.3%で、この2つを合わせると70.1%と、持家率は7割である。以下「借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）」（24.4%）、「借家（一戸建て）」（2.2%）、「その他」（0.3%）となっている。
- ・「持家（共同住宅）」「借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）」を合わせると50.7%となり、共同住宅が全体の半数を超えている。「持家（一戸建て）」「借家（一戸建て）」を合わせると45.9%で、一戸建ては全体の半数弱である。



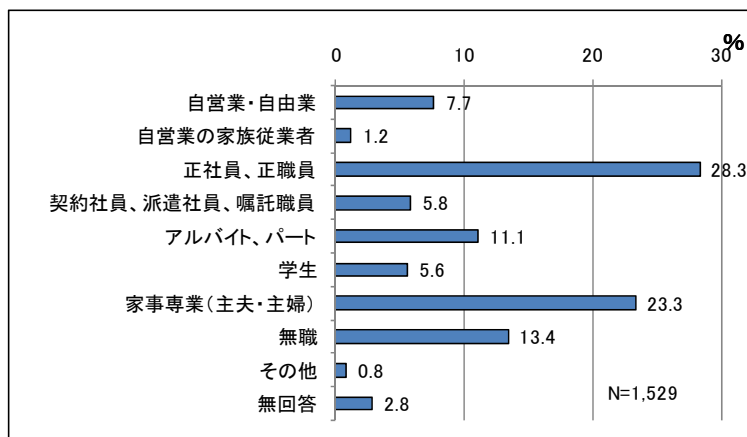
居住期間（F5）

- ・最も多いのは「10～14年」の17.7%、以下「20～29年」（16.6%）、「5～9年」（15.2%）、「15～19年」（13.8%）、「30～39年」（12.9%）、「1～4年」（9.9%）などの順となっている。
- ・10年きざみで括ってみると、「10年未満」（29.4%）、「10～20年」（31.5%）、「20～30年」（29.6%）がそれぞれ3割前後となっている。「40年以上」は7.1%である



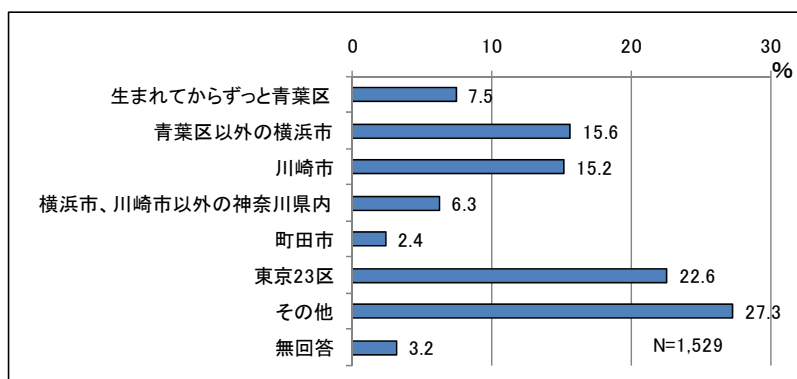
職業（F6）

- ・最も多いのは「正社員、正職員」の28.3%で、全体の3割弱である。次いで「家事専業（主夫・主婦）」（23.3%）が全体の4分の1弱となっている。以下「無職」（13.4%）、「アルバイト、パート」（11.1%）、「自営業・自由業」（7.7%）などと続く。



以前の居住地（F7）

- ・「その他」を除くと、最も多いのは「東京23区」の22.6%である。次いで「青葉区以外の横浜市」（15.6%）、「川崎市」（15.2%）がほぼ並んでいる。
- ・「その他」のうち、最も多かったのは「関東」の72件であった。次いで、大阪府を除く「東海・近畿」が70件、「大阪府」が35件、「東京都下」が30件となっている。

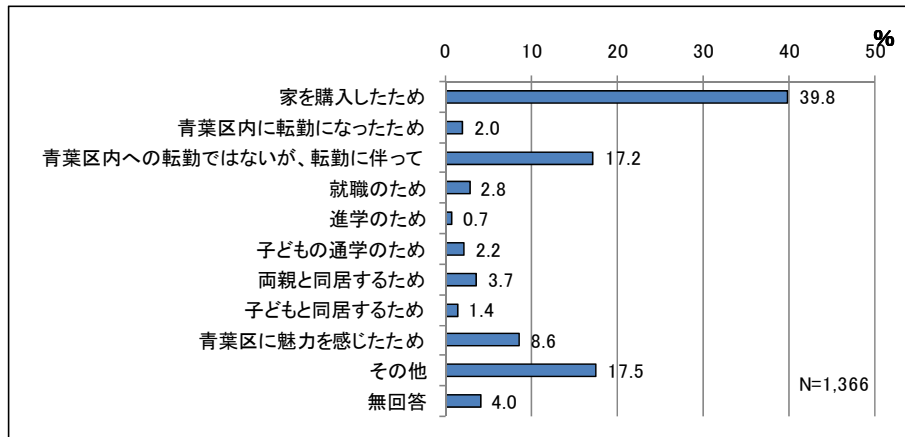


「その他」の内容

意見内容	件数
北海道	6
東北	14
関東	72
神奈川県(大和市)	1
横浜市(旭区)	1
東京都(都下)	30
甲信越・北陸	11
東海・近畿	70
東海・近畿(大阪府)	35
中国・四国	16
九州・沖縄	17
県外	5
海外	28
総数	306

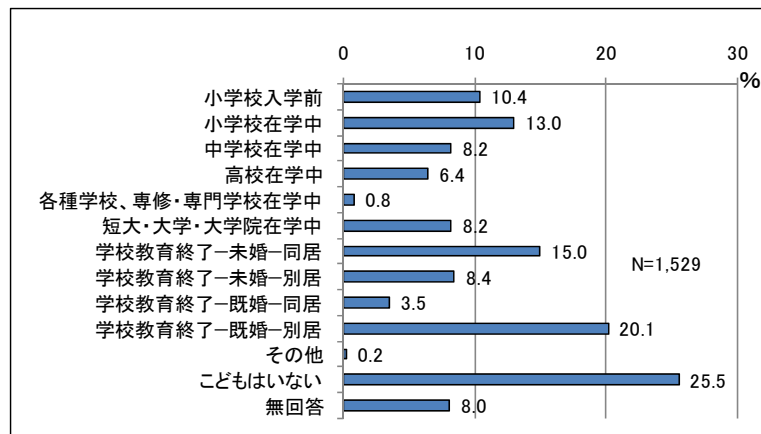
転入理由（F 7-1）

- ・「家を購入したため」が最も多く 39.8%で、全体のほぼ4割が挙げている。次いで「その他」（17.5%）、「青葉区内への転勤ではないが、転勤に伴って」（17.2%）、「青葉区に魅力を感じたため」（8.6%）などの順である。



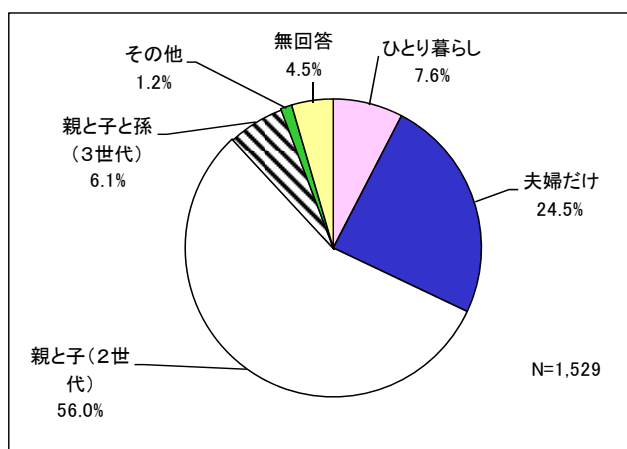
子どもの有無と段階（F 8）

- ・「こどもはいない」が 25.5%で最も多く、全体の4分の1程度である。以下「学校教育終了-既婚-別居」（20.1%）、「学校教育終了-未婚-同居」（15.0%）、「小学校在学中」（13.0%）、「小学校入学前」（10.4%）、「小学校入学前」（10.4%）などと続く。



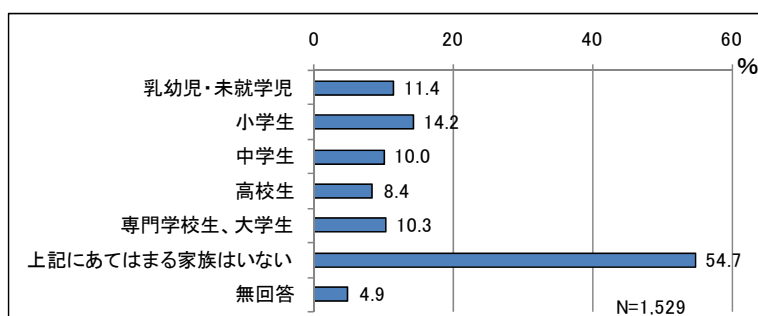
家族形態（F9）

- ・「親と子（2世代）」が最も多く 56.0%で、全体の過半数を占める。次いで「夫婦だけ」が 24.5%で、全体の4分の1弱である。



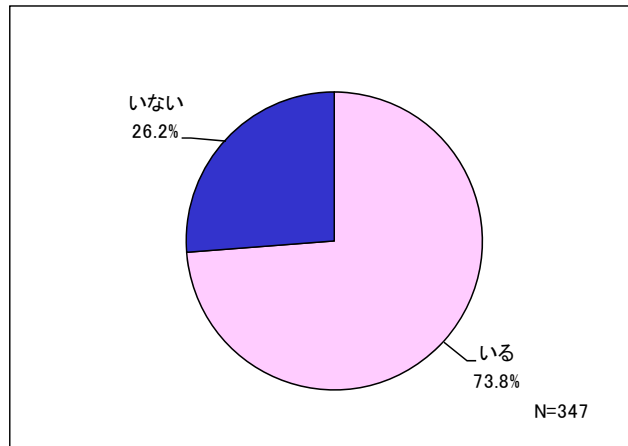
同居している子ども（F10）

- ・「上記にあてはまる家族はいない」が最多の 54.7%となっているが、これを除くと、最も多いのは「小学生」（14.2%）、以下「乳幼児・未就学児」（11.4%）、「専門学校生、大学生」（10.3%）、「中学生」（10.0%）、「高校生」（8.4%）の順である。



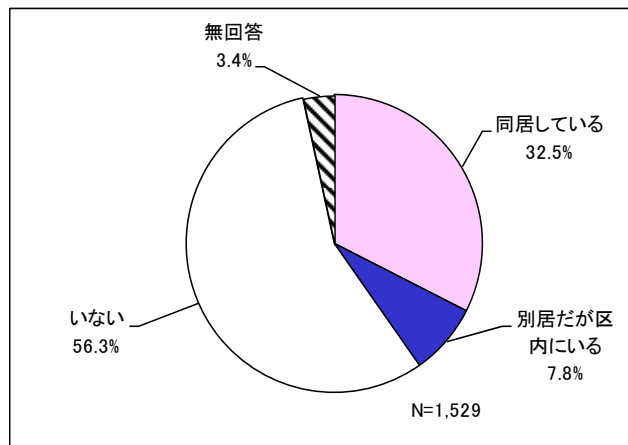
日中子どもの世話をする方の有無（F10-1）

- ・「いる」が73.8%で全体の4分の3近くを占め、「いない」（26.2%）を大きく上回っている。



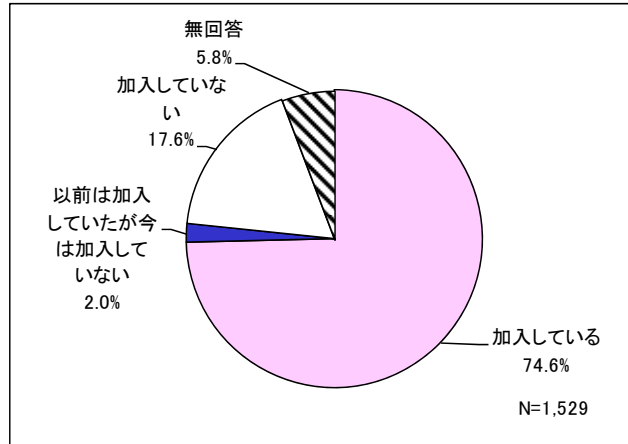
65歳以上の家族の有無（F11）

- ・「いない」が56.3%で過半数を占めている。次いで「同居している」が32.5%、「別居だが区内にいる」が7.8%となっている。



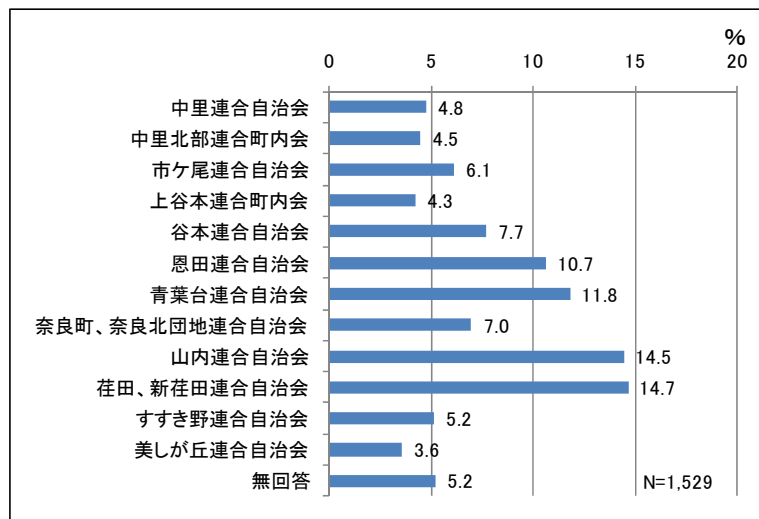
自治会・町内会の加入状況（F12）

- ・「加入している」が74.6%で、全体の4分の3弱の加入率である。次いで「加入していない」（17.6%）、「以前は加入していたが今は加入していない」（2.0%）の順となっている。



居住地区（F13）

- ・最も多いのは「荏田、新荏田連合自治会」（14.7%）で、これに僅差で「山内連合自治会」（14.5%）が続く。



青葉区地区別エリア図

- ①中里地区 ②中里北部地区 ③市ヶ尾地区
- ④上谷本地区 ⑤谷本地区 ⑥恩田地区
- ⑦青葉台地区 ⑧奈良町地区 ⑨奈良北団地地区
- ⑩山内地区 ⑪荏田地区 ⑫荏田西地区
- ⑬新荏田地区 ⑭すすき野地区 ⑮美しが丘地区

■ 居住地区別 年齢・性別・居住期間・居住形態・家族形態・同居家族

	合計	F 1 年齢 (統合1)							F 2 性別			F 4 住居形態					F 5 居住年数 (統合)						
		10代 20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	男性	女性	無回答	持家(一戸建て)	持家(共同住宅)	借家(一戸建て)	借家(共同住宅、 公務員住宅、寮、 社宅、 その他)	無回答	5年未満	5年～10年未満	10年～20年未満	20年～30年未満	30年以上	不明・無回答	
全体	1529	11.4	16.3	22.2	16.7	17.1	14.1	2.2	39.6	55.3	5.0	43.8	26.3	2.2	24.4	0.3	3.1	14.2	15.2	31.5	16.6	20.1	2.4
F13 居住地区 (連合自治会別)																							
中里連合自治会	73	12.3	6.8	27.4	12.3	26.0	15.1	0.0	46.6	50.7	2.7	79.5	4.1	2.7	12.3	0.0	1.4	5.5	13.7	39.7	11.0	28.8	1.4
中里北部連合町内会	69	7.2	17.4	20.3	20.3	23.2	10.1	1.4	47.8	47.8	4.3	44.9	23.2	2.9	27.5	0.0	1.4	11.6	10.1	33.3	23.2	18.8	2.9
市ヶ尾連合自治会	94	11.7	11.7	11.7	25.5	14.9	21.3	3.2	33.0	57.4	9.6	37.2	20.2	2.1	35.1	0.0	5.3	13.8	11.7	23.4	23.4	23.4	4.3
上谷本連合町内会	65	15.4	18.5	12.3	12.3	16.9	21.5	3.1	44.6	50.8	4.6	61.5	4.6	1.5	27.7	0.0	4.6	12.3	16.9	26.2	16.9	24.6	3.1
谷本連合自治会	118	10.2	18.6	20.3	18.6	19.5	11.9	0.8	40.7	55.1	4.2	36.4	32.2	2.5	27.1	0.0	1.7	16.9	13.6	29.7	17.8	20.3	1.7
恩田連合自治会	163	14.7	18.4	25.8	19.0	16.0	4.9	1.2	37.4	59.5	3.1	53.4	10.4	2.5	30.7	0.0	3.1	17.8	17.2	32.5	17.2	13.5	1.8
青葉台連合自治会	181	10.5	18.8	23.8	11.6	16.0	18.2	1.1	37.0	59.1	3.9	38.1	33.7	1.1	24.3	0.6	2.2	15.5	15.5	26.5	17.1	24.3	1.1
奈良町、奈良北団地連合自治会	107	14.0	14.0	29.0	12.1	14.0	15.0	1.9	37.4	58.9	3.7	39.3	34.6	0.9	23.4	0.0	1.9	9.3	9.3	50.5	15.0	14.0	1.9
山内連合自治会	221	10.0	14.9	22.6	18.6	19.5	13.6	0.9	40.3	54.8	5.0	48.4	23.5	3.2	22.6	1.4	0.9	14.5	16.3	31.2	17.6	19.5	0.9
荏田、新荏田連合自治会	224	12.9	19.6	25.4	17.9	13.4	8.5	2.2	42.0	52.7	5.4	31.3	38.4	3.6	24.1	0.0	2.7	19.6	20.1	32.6	12.5	12.9	2.2
すずき野連合自治会	79	10.1	13.9	17.7	16.5	20.3	20.3	1.3	39.2	57.0	3.8	41.8	39.2	1.3	13.9	0.0	3.8	5.1	16.5	22.8	17.7	35.4	2.5
美しが丘連合自治会	55	9.1	21.8	21.8	16.4	20.0	10.9	0.0	43.6	54.5	1.8	25.5	49.1	0.0	23.6	0.0	1.8	14.5	18.2	40.0	9.1	18.2	0.0
無回答	80	7.5	10.0	17.5	13.8	10.0	26.3	15.0	31.3	53.8	15.0	50.0	15.0	0.0	18.8	0.0	16.3	11.3	8.8	23.8	18.8	25.0	12.5

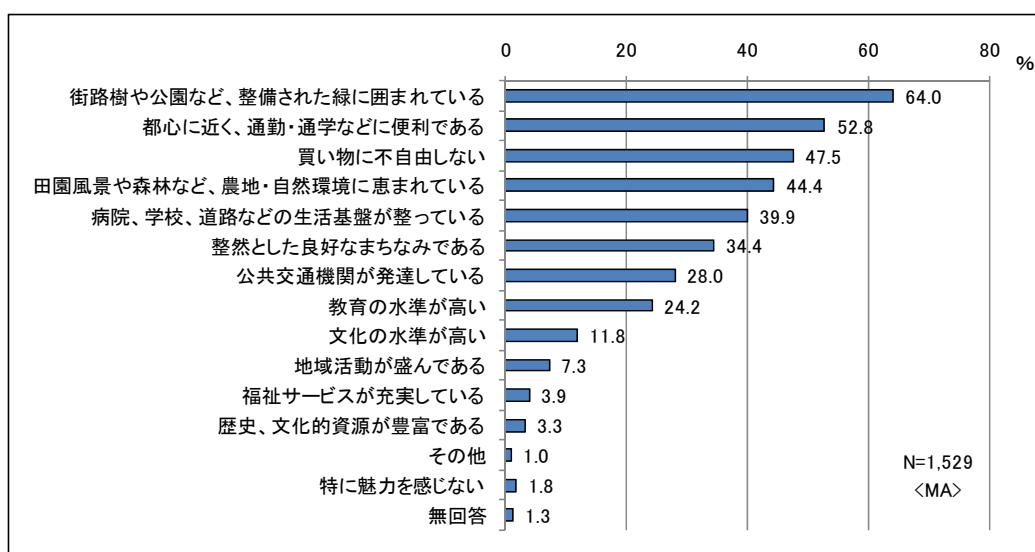
	合計	F 9 同居の家族形態						F 10 同居家族							F 11 区内に65歳以上のご家族はいますか			
		ひとり暮らし	夫婦だけ	親と子(2世代)	親と子と孫(3世代)	その他	無回答	乳幼児・未就学児	小学生	中学生	高校生	専門学校生、大学生	上記にあてはまる家族は いない	同居している	別居だが区内にいる	いない	無回答	
全体	1529	7.6	24.5	56.0	6.1	1.2	4.5	11.4	14.2	10.0	8.4	10.3	54.7	4.9	32.5	7.8	56.3	3.4
F13 居住地区 (連合自治会別)																		
中里連合自治会	73	1.4	20.5	58.9	19.2	0.0	0.0	9.6	23.3	11.0	11.0	11.0	49.3	2.7	43.8	9.6	43.8	2.7
中里北部連合町内会	69	8.7	20.3	68.1	2.9	0.0	0.0	15.9	15.9	4.3	10.1	7.2	60.9	0.0	24.6	7.2	66.7	1.4
市ヶ尾連合自治会	94	16.0	24.5	48.9	6.4	2.1	2.1	5.3	4.3	6.4	6.4	10.6	70.2	3.2	43.6	6.4	47.9	2.1
上谷本連合町内会	65	3.1	21.5	64.6	6.2	1.5	3.1	13.8	12.3	9.2	12.3	6.2	55.4	3.1	40.0	3.1	55.4	1.5
谷本連合自治会	118	6.8	28.8	56.8	6.8	0.0	0.8	11.0	12.7	9.3	8.5	11.0	61.9	0.8	28.0	7.6	61.0	3.4
恩田連合自治会	163	6.7	26.4	56.4	8.6	0.6	1.2	12.3	14.7	12.3	9.2	8.6	52.1	2.5	25.8	9.8	64.4	0.0
青葉台連合自治会	181	7.7	28.2	54.7	5.0	1.7	2.8	14.9	12.7	9.9	9.4	11.0	56.9	3.3	38.1	7.7	53.0	1.1
奈良町、奈良北団地連合自治会	107	5.6	19.6	60.7	10.3	0.0	3.7	14.0	18.7	17.8	8.4	14.0	47.7	2.8	35.5	6.5	57.9	0.0
山内連合自治会	221	10.0	26.2	56.6	3.6	2.7	0.9	9.0	16.7	9.0	6.8	10.4	57.5	1.4	32.1	7.2	58.8	1.8
荏田、新荏田連合自治会	224	6.7	24.6	61.6	4.5	1.8	0.9	13.8	14.3	12.5	9.4	11.6	52.7	1.8	22.3	8.9	66.5	2.2
すずき野連合自治会	79	6.3	26.6	60.8	3.8	1.3	1.3	7.6	16.5	8.9	7.6	16.5	54.4	1.3	40.5	11.4	46.8	1.3
美しが丘連合自治会	55	12.7	29.1	49.1	7.3	1.8	0.0	16.4	14.5	7.3	3.6	7.3	58.2	0.0	27.3	9.1	63.6	0.0
無回答	80	5.0	11.3	22.5	1.3	0.0	60.0	1.3	6.3	3.8	5.0	2.5	30.0	57.5	38.8	3.8	20.0	37.5

Ⅱ. 調査結果

1. 青葉区の生活環境について

問1 あなたは、青葉区のどのようなところに魅力を感じますか。(〇はいくつでも)

- ・「街路樹や公園など、整備された緑に囲まれている」が最も多く64.0%で、6割強の人が挙げている。次いで「都心に近く、通勤・通学などに便利である」が52.8%で続く。以下「買い物に不自由しない」(47.5%)、「田園風景や森林など、農地・自然環境に恵まれている」(44.4%)、「病院、学校、道路などの生活基盤が整っている」(39.9%)と続き、良好な自然環境と利便性の良さが共存している点が評価されている。



■ 年齢別 青葉区の魅力(問1×F1)

- ・10代20代のみ「都心に近く、通勤・通学などに便利である」が、30代以上の世代では「街路樹や公園など、整備された緑に囲まれている」が最も多くなっている。
- ・また、70代以上では「田園風景や森林など、農地・自然環境に恵まれている」「病院、学校、道路などの生活基盤が整っている」「買い物に不自由しない」の数値が区全体の数値に比べて10ポイント以上高くなっている。

		合計	問1 青葉区の魅力														
			れた街路樹や公園などに囲まれている	田園風景や森林など、農地・自然環境に恵まれている	歴史、文化的資源が豊富である	整然とした良好なまちなみ	活基盤が整っている	病院、学校、道路などの生活基盤が整っている	教育の水準が高い	文化の水準が高い	地域活動が盛んである	買い物に不自由しない	都心に近く、通勤・通学などに便利である	公共交通機関が発達している	福祉サービスが充実している	その他	特に魅力を感じない
全体		1529	64.0	44.4	3.3	34.4	39.9	24.2	11.8	7.3	47.5	52.8	28.0	3.9	1.0	1.8	1.3
F1 年齢(統合1)	10代20代	175	55.4	33.7	2.9	33.1	26.9	14.3	2.9	5.1	37.7	56.6	28.0	2.3	2.9	2.3	0.6
	30代	249	59.0	40.2	0.4	31.3	33.7	20.5	8.0	4.8	46.6	51.8	27.3	0.4	0.8	1.6	2.0
	40代	340	63.8	41.2	2.4	36.2	38.8	30.9	10.6	4.1	47.1	48.2	22.6	2.1	1.2	1.8	0.3
	50代	256	67.2	44.5	2.3	38.3	40.2	23.8	13.3	7.0	47.3	52.7	28.1	4.3	0.8	1.6	0.8
	60代	261	70.5	52.5	4.6	34.9	45.6	24.5	16.1	6.9	48.3	57.9	28.0	5.0	0.0	1.9	1.5
	70代以上	215	68.4	54.9	7.4	33.0	54.0	26.5	18.6	16.7	58.6	52.1	37.7	10.2	0.9	1.9	2.8
	無回答	33	45.5	33.3	6.1	21.2	27.3	21.2	12.1	12.1	33.3	51.5	24.2	6.1	0.0	3.0	3.0

■ 男女別 青葉区の魅力(問1×F2)

- ・男女とも「街路樹や公園など、整備された緑に囲まれている」が最も多くなっている。また、女性は男性より「教育の水準が高い」が10.1ポイント高くなっている。

		合計	問1 青葉区の魅力														
			れた街路樹や公園などに囲まれている	田園風景や森林など、農地・自然環境に恵まれている	歴史、文化的資源が豊富である	整然とした良好なまちなみ	活基盤が整っている	病院、学校、道路などの生活基盤が整っている	教育の水準が高い	文化の水準が高い	地域活動が盛んである	買い物に不自由しない	都心に近く、通勤・通学などに便利である	公共交通機関が発達している	福祉サービスが充実している	その他	特に魅力を感じない
全体		1529	64.0	44.4	3.3	34.4	39.9	24.2	11.8	7.3	47.5	52.8	28.0	3.9	1.0	1.8	1.3
F2 性別	男性	606	61.6	44.1	3.5	35.3	37.6	18.3	9.2	5.6	42.7	50.7	26.6	3.3	0.8	2.5	1.0
	女性	846	66.7	45.2	3.3	34.4	41.7	28.4	13.4	8.2	51.2	54.1	29.1	3.8	1.1	1.3	1.4
	無回答	77	54.5	39.0	1.3	27.3	37.7	24.7	15.6	10.4	44.2	54.5	27.3	10.4	1.3	2.6	2.6

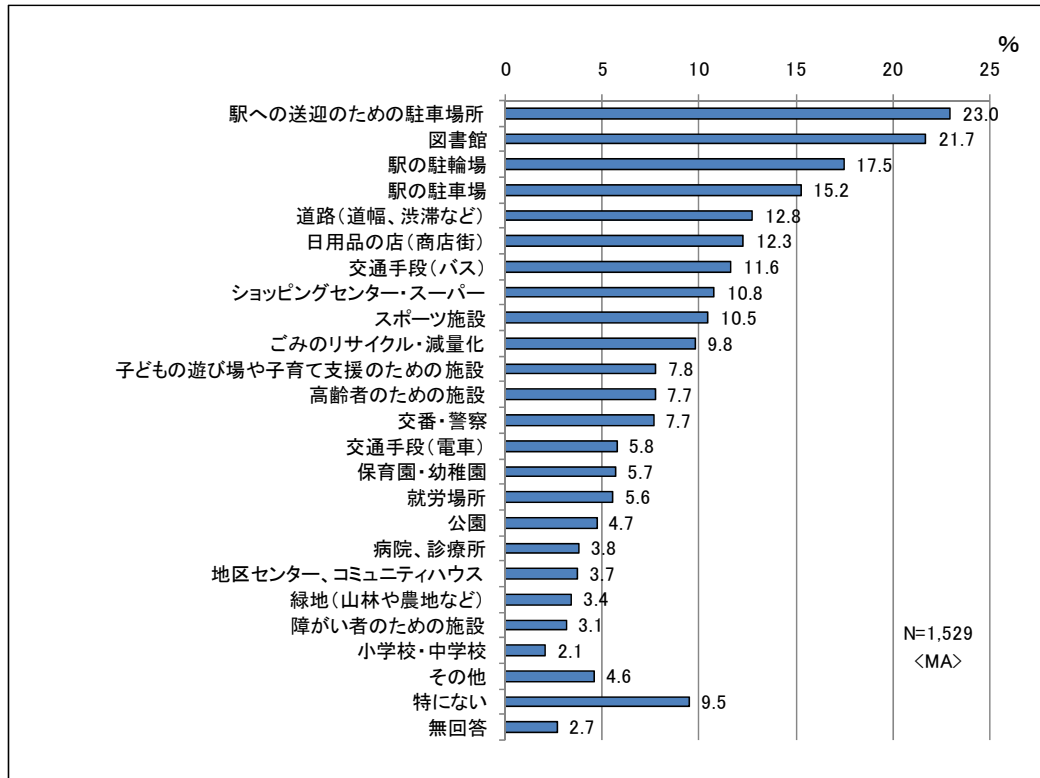
■ 居住地区別 青葉区の魅力(問1×F13)

- ・市ヶ尾連合自治会と荏田、新荏田連合自治会では「都心に近く、通勤・通学などに便利である」、奈良町、奈良北団地連合自治会では「田園風景や森林など、農地・自然環境に恵まれている」、それ以外は「街路樹や公園など、整備された緑に囲まれている」が最も多くなっている。
- ・また「田園風景や森林など、農地・自然環境に恵まれている」は中里北部連合町内会と恩田連合自治会、「都心に近く、通勤・通学などに便利である」「整然とした良好なまちなみである」「買い物に不自由しない」は美しが丘連合自治会、「病院、学校、道路などの生活基盤が整っている」はすすき野連合自治会、「公共交通機関が発達している」は中里北部連合町内会で、それぞれ区全体の数値に比べて高い数値となっている。

	合計	問1 青葉区の魅力														
		街路樹や公園などに囲まれている	田園風景や森林など、農地・自然環境に恵まれている	歴史・文化的資源が豊富である	整然とした良好なまちなみがある	活基盤が整っている	病院、学校、道路などの生活基盤が整っている	教育の水準が高い	文化の水準が高い	地域活動が盛んである	買い物に不自由しない	都心に近く、通勤・通学などに便利である	公共交通機関が発達している	福祉サービスが充実している	その他	特に魅力を感じない
全体	1529	64.0	44.4	3.3	34.4	39.9	24.2	11.8	7.3	47.5	52.8	28.0	3.9	1.0	1.8	1.3
F13 居住地区(連合自治会別)																
中里連合自治会	73	68.5	50.7	1.4	41.1	42.5	28.8	17.8	15.1	21.9	49.3	26.0	6.8	1.4	1.4	2.7
中里北部連合町内会	69	62.3	58.0	0.0	26.1	43.5	20.3	7.2	1.4	42.0	33.3	39.1	5.8	4.3	1.4	4.3
市ヶ尾連合自治会	94	52.1	50.0	3.2	19.1	39.4	21.3	9.6	6.4	46.8	55.3	25.5	6.4	1.1	5.3	4.3
上谷本連合町内会	65	72.3	43.1	6.2	41.5	46.2	23.1	13.8	9.2	56.9	49.2	32.3	4.6	0.0	0.0	0.0
谷本連合自治会	118	56.8	49.2	3.4	27.1	48.3	21.2	11.0	9.3	43.2	52.5	22.9	4.2	0.0	1.7	0.8
恩田連合自治会	163	63.8	55.8	0.6	40.5	36.2	22.7	9.8	8.0	47.2	48.5	25.2	3.7	0.0	1.2	0.6
青葉台連合自治会	181	56.9	41.4	3.3	29.8	43.1	28.2	12.7	6.6	55.2	50.3	28.7	3.3	1.7	1.7	1.7
奈良町、奈良北団地連合自治会	107	58.9	68.2	4.7	28.0	30.8	20.6	6.5	8.4	27.1	29.9	12.1	1.9	0.0	2.8	0.0
山内連合自治会	221	72.4	30.3	4.5	41.6	39.4	28.5	14.0	6.3	54.8	59.3	31.7	2.7	1.8	1.4	1.4
荏田、新荏田連合自治会	224	58.9	34.4	3.1	34.8	34.8	22.8	9.8	4.5	51.3	64.3	29.5	4.5	1.3	1.3	0.0
すすき野連合自治会	79	79.7	50.6	5.1	43.0	50.6	21.5	12.7	10.1	44.3	57.0	34.2	2.5	0.0	2.5	1.3
美しが丘連合自治会	55	89.1	21.8	0.0	47.3	40.0	23.6	21.8	5.5	72.7	69.1	34.5	1.8	0.0	0.0	0.0
無回答	80	61.3	42.5	6.3	26.3	35.0	26.3	13.8	8.8	40.0	52.5	27.5	5.0	0.0	3.8	2.5

問2 あなたが、日々の生活の中で、不足もしくは不便と思うことは何ですか。(〇は3つまで)

- ・「駅への送迎のための駐車場」が23.0%で最も多い。以下「図書館」(21.7%)、「駅の駐輪場」(17.5%)、「駅の駐車場」(15.2%)と続いており、駐輪・駐車場の不足を指摘する意見が多い。



■ 年齢別 日々の生活の中で不足もしくは不便と思うこと(問2×F1)

- ・10代20代と70代以上では「図書館」、それ以外では「駅への送迎のための駐車場」が最も多くなっている。

	合計	問2 生活で不足もしくは不便と思うこと																								
		公園	緑地(山林や農地など)	ごみのリサイクル・減量化	道路(道幅、渋滞など)	駅の駐輪場	駅の駐車場	駅への送迎のための駐車場所	交通手段(バス)	交通手段(電車)	保育園・幼稚園	小学校・中学校	子どもの遊び場や子育て支援のための施設	ショッピングセンター・スーパー	日用品の店(商店街)	就労場所	病院、診療所	図書館	スポーツ施設	地区センター、コミュニティハウス	高齢者のための施設	障がい者のための施設	交番・警察	その他	特にない	無回答
全体	1529	4.7	3.4	9.8	12.8	17.5	15.2	23.0	11.6	5.8	5.7	2.1	7.8	10.8	12.3	5.6	3.8	21.7	10.5	3.7	7.7	3.1	7.7	4.6	9.5	2.7
F1 年齢(総合1)																										
10代20代	175	8.0	5.1	9.1	11.4	20.0	11.4	11.4	14.3	4.0	1.7	4.0	14.9	6.3	6.3	3.4	29.1	12.0	4.6	1.1	2.9	2.9	6.3	10.9	1.7	
30代	249	6.8	4.0	8.8	19.3	18.5	12.0	17.3	11.2	4.8	14.9	2.8	14.5	10.8	12.0	8.4	4.0	20.9	10.8	2.8	0.4	3.2	6.4	5.2	7.2	2.8
40代	340	4.4	1.8	7.9	12.4	22.9	15.6	29.4	11.8	7.1	5.0	4.1	7.9	11.8	12.4	6.2	4.4	22.4	10.6	2.9	2.9	2.9	6.8	5.3	7.9	0.9
50代	256	5.1	3.9	10.9	12.1	19.9	18.8	27.0	14.8	6.3	3.5	1.2	7.0	11.7	13.3	6.3	2.3	24.2	13.3	2.7	6.3	2.7	6.3	4.7	8.6	3.1
60代	261	2.3	3.1	11.1	13.0	13.8	19.2	29.9	11.5	1.5	4.2	1.5	8.0	9.6	14.2	2.7	3.4	16.9	10.0	5.7	17.6	4.6	10.7	3.4	7.7	1.9
70代以上	215	2.3	4.2	10.7	8.4	7.4	13.0	16.7	9.8	2.3	2.3	0.5	3.7	6.0	13.0	4.2	3.3	18.6	6.5	4.2	16.7	2.8	12.6	1.9	16.3	6.5
無回答	33	6.1	0.0	15.2	6.1	15.2	12.1	15.2	3.0	6.1	3.0	0.0	6.1	12.1	18.2	0.0	15.2	21.2	6.1	3.0	21.2	0.0	6.1	9.1	12.1	3.0

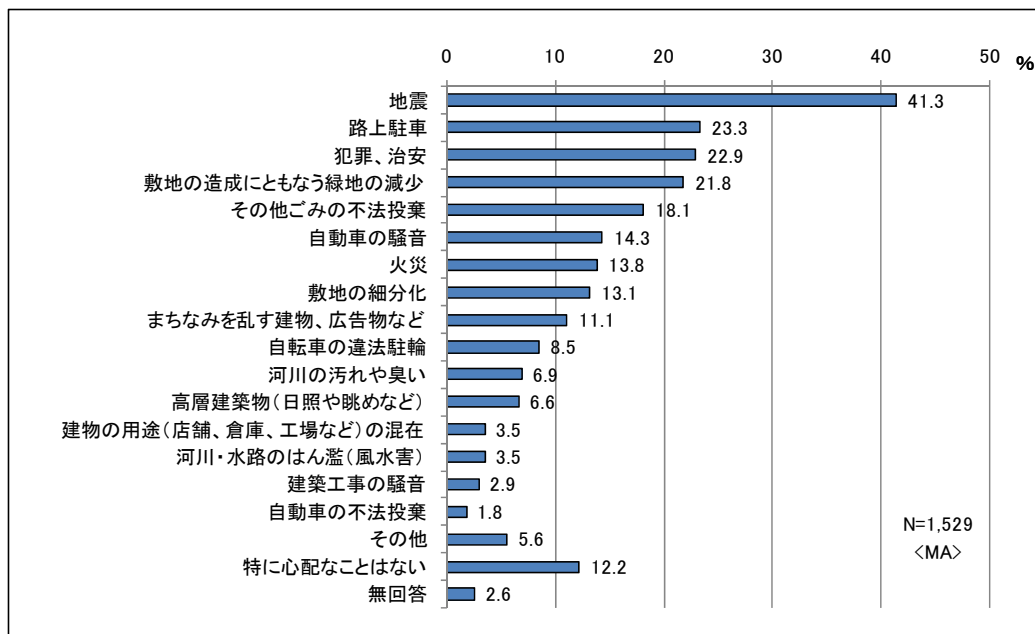
■ 居住地区別 日々の生活の中で不足もしくは不便と思うこと(問2×F13)

- ・中里連合自治会では「駅の駐輪場」、山内連合自治会、荏田、新荏田連合自治会、すすき野連合自治会では「駅への送迎のための駐車場」、それ以外は「図書館」が最も多い。
- ・また、奈良町、奈良北団地連合自治会では「交通手段(バス)」「交通手段(電車)」、美しが丘連合自治会では「子どもの遊び場や子育て支援のための施設」、中里連合自治会では「ショッピングセンター・スーパー」、すすき野連合自治会では「高齢者のための施設」が、それぞれ区全体値に比べて高くなっている。

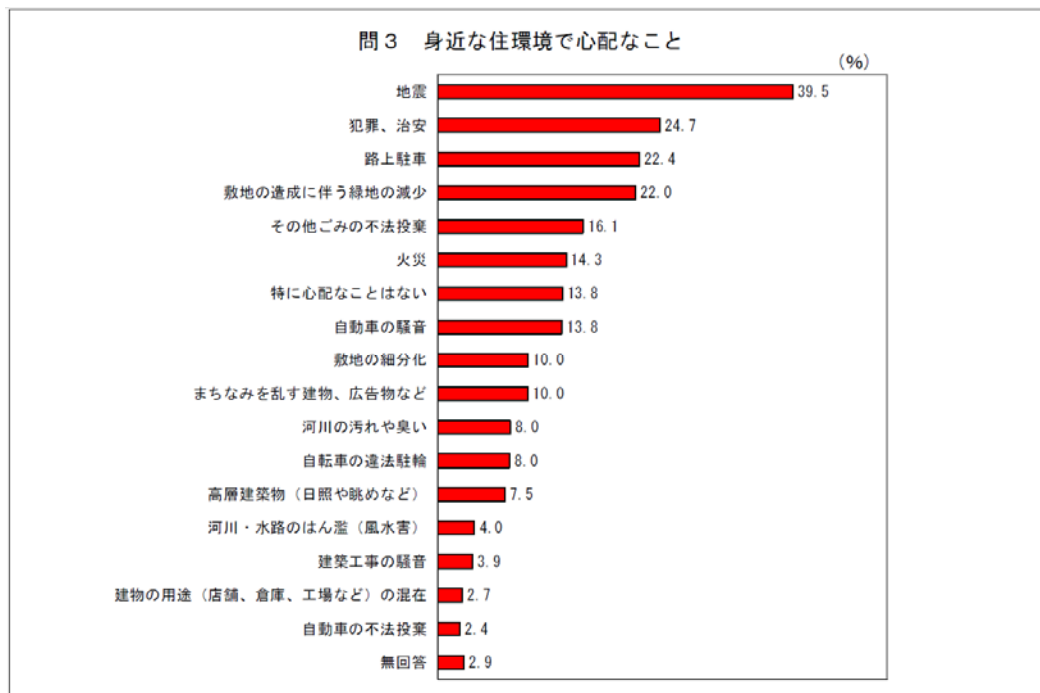
	合計	問2 生活で不足もしくは不便と思うこと																								
		公園	緑地(山林や農地など)	ごみのリサイクル・減量化	道路(道幅、渋滞など)	駅の駐輪場	駅の駐車場	所駅への送迎のための駐車場	交通手段(バス)	交通手段(電車)	保育園・幼稚園	小学校・中学校	援のための施設	子どもの遊び場や子育て支援のための施設	ショッピングセンター・スーパー	日用品の店(商店街)	就労場所	病院、診療所	図書館	スポーツ施設	地区センター、コミュニティハウス	高齢者のための施設	障がい者のための施設	交番・警察	その他	特にない
全体	1529	4.7	3.4	9.8	12.8	17.5	15.2	23.0	11.6	5.8	5.7	2.1	7.8	10.8	12.3	5.6	3.8	21.7	10.5	3.7	7.7	3.1	7.7	4.6	9.5	2.7
F13 居住地区(連合自治会別)																										
中里連合自治会	73	5.5	5.5	6.8	15.1	30.1	16.4	28.8	15.1	1.4	9.6	6.8	8.2	26.0	20.5	5.5	4.1	8.2	6.8	1.4	8.2	1.4	6.8	2.7	2.7	2.7
中里北部連合町内会	69	5.8	2.9	13.0	15.9	21.7	17.4	21.7	13.0	2.9	2.9	0.0	7.2	10.1	7.2	10.1	7.2	26.1	14.5	5.8	10.1	4.3	4.3	0.0	14.5	7.2
市ヶ尾連合自治会	94	6.4	5.3	10.6	16.0	13.8	18.1	17.0	8.5	6.4	1.1	1.1	5.3	14.9	19.1	3.2	1.1	26.6	6.4	6.4	6.4	1.1	1.1	6.4	12.8	2.1
上谷本連合町内会	65	10.8	3.1	6.2	12.3	15.4	12.3	16.9	4.6	6.2	9.2	1.5	4.6	13.8	4.6	6.2	1.5	32.3	9.2	3.1	12.3	4.6	9.2	3.1	9.2	1.5
谷本連合自治会	118	3.4	3.4	7.6	7.6	11.0	16.9	12.7	16.9	5.1	5.1	0.8	6.8	11.9	15.3	2.5	0.8	23.7	6.8	1.7	3.4	0.8	2.5	0.8	14.4	1.7
恩田連合自治会	163	3.7	2.5	10.4	14.7	17.8	15.3	32.5	16.6	9.2	2.5	3.7	6.1	11.0	7.4	3.7	3.1	35.6	14.7	5.5	3.1	4.3	11.0	5.5	5.5	0.6
青葉台連合自治会	181	5.5	4.4	11.0	21.5	16.6	14.4	21.0	3.3	4.4	8.8	1.1	9.4	13.3	12.7	5.5	4.4	24.3	8.8	3.3	6.6	2.2	8.8	2.8	10.5	3.9
奈良町、奈良北団地連合自治会	107	0.9	0.9	6.5	7.5	11.2	17.8	22.4	29.0	15.9	4.7	3.7	9.3	6.5	10.3	7.5	5.6	32.7	13.1	0.9	3.7	3.7	15.9	6.5	5.6	2.8
山内連合自治会	221	5.9	2.7	12.2	9.0	23.1	16.3	28.1	11.3	4.5	4.5	1.4	10.0	8.1	8.1	7.2	4.5	9.5	7.7	1.8	9.5	4.1	6.3	6.8	10.0	3.2
荏田、新荏田連合自治会	224	5.8	4.5	9.4	14.3	17.9	11.2	24.1	11.2	4.0	8.0	2.7	6.3	9.8	15.6	5.4	5.4	11.2	11.6	3.1	7.1	0.9	6.3	6.7	8.5	0.9
すすき野連合自治会	79	1.3	2.5	8.9	10.1	17.7	17.7	24.1	3.8	5.1	5.1	0.0	6.3	6.3	15.2	6.3	1.3	13.9	11.4	10.1	21.5	5.1	7.6	2.5	12.7	1.3
美しが丘連合自治会	55	1.8	1.8	7.3	5.5	10.9	9.1	16.4	1.8	5.5	9.1	0.0	18.2	3.6	10.9	3.6	1.8	30.9	12.7	5.5	7.3	7.3	9.1	3.6	14.5	5.5
無回答	80	2.5	3.8	12.5	8.8	15.0	17.5	17.5	11.3	3.8	3.8	3.8	5.0	7.5	15.0	6.3	5.0	28.8	15.0	5.0	10.0	6.3	11.3	5.0	6.3	6.3

問3 あなたの身近な住環境について、心配なことはありますか。(〇はいくつでも)

- ・「地震」が41.3%で最も多く、4割を超えている。次いで「路上駐車」(23.3%)、「犯罪、治安」(22.9%)、「敷地の造成にともなう緑地の減少」(21.8%)を2割以上の方が挙げている。
- ・平成23年度調査では東日本大震災の影響を受けて「地震」が大きく増加したが、今年度も僅かながら昨年よりさらに増加している。



<参考 平成23年度調査結果との比較>



■ 年齢別 身近な住環境について心配なこと(問3×F1)

- ・いずれの地区も「地震」が最も多くなっている。
- ・60代では「敷地の細分化」の数値が区全体値に比べて高くなっている。

	合計	問3 身近な住環境について心配なこと																			
		物まちなみなどを乱す建物、広告	工場の用途(店舗、倉庫、)	高層建築物(日照や眺めなど)	敷地の細分化	敷地の造成にともなう緑地の減少	地震	火災	害	河川・水路のはん濫(風水害)	河川の汚れや臭い	建築工事の騒音	自動車の騒音	路上駐車	自転車の違法駐輪	自動車の不法投棄	その他ごみの不法投棄	犯罪、治安	その他	特に心配なことはない	無回答
全体	1529	11.1	3.5	6.6	13.1	21.8	41.3	13.8	3.5	6.9	2.9	14.3	23.3	8.5	1.8	18.1	22.9	5.6	12.2	2.6	
F1 年齢(総合1)																					
10代20代	175	6.9	1.7	6.9	3.4	16.6	37.7	14.9	2.9	12.0	6.3	15.4	17.1	6.3	1.7	11.4	20.0	5.7	19.4	2.3	
30代	249	8.8	2.0	6.8	5.6	15.3	39.8	12.4	4.4	6.8	2.4	18.1	22.9	5.2	1.2	14.1	24.1	6.0	15.3	2.4	
40代	340	14.7	4.4	7.9	9.4	20.9	42.6	11.5	4.7	9.4	3.2	13.5	23.8	9.4	1.2	18.8	26.5	6.8	10.9	1.2	
50代	256	12.5	6.6	7.8	12.5	23.0	44.1	14.1	4.7	4.7	3.1	12.5	30.1	9.8	2.7	23.0	27.3	5.5	7.4	1.2	
60代	261	11.9	3.1	3.8	26.1	31.0	42.5	14.2	1.1	3.8	1.9	14.2	26.4	11.1	1.9	22.2	21.5	3.4	6.9	2.7	
70代以上	215	8.4	2.3	6.0	20.9	23.3	39.1	16.3	1.4	6.0	0.9	14.9	15.8	8.8	2.3	16.7	16.7	5.6	16.7	6.0	
無回答	33	12.1	0.0	6.1	12.1	15.2	42.4	21.2	9.1	0.0	6.1	0.0	24.2	3.0	0.0	15.2	9.1	6.1	12.1	6.1	

■ 居住地区別 身近な住環境について心配なこと(問3×F13)

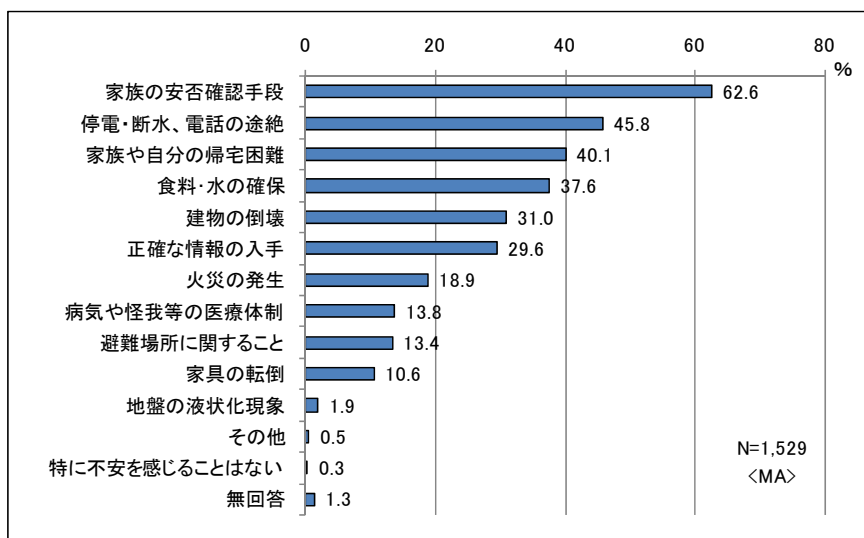
- ・いずれの地区も「地震」が最も多くなっている。
- ・上谷本連合町内会では「火災」の数値が区全体値に比べて高くなっている。

	合計	問3 身近な住環境について心配なこと																			
		物まちなみなどを乱す建物、広告	工場の用途(店舗、倉庫、)	高層建築物(日照や眺めなど)	敷地の細分化	敷地の造成にともなう緑地の減少	地震	火災	害	河川・水路のはん濫(風水害)	河川の汚れや臭い	建築工事の騒音	自動車の騒音	路上駐車	自転車の違法駐輪	自動車の不法投棄	その他ごみの不法投棄	犯罪、治安	その他	特に心配なことはない	無回答
全体	1529	11.1	3.5	6.6	13.1	21.8	41.3	13.8	3.5	6.9	2.9	14.3	23.3	8.5	1.8	18.1	22.9	5.6	12.2	2.6	
F13 居住地区(連合自治会別)																					
中里連合自治会	73	9.6	8.2	2.7	16.4	27.4	45.2	16.4	4.1	6.8	4.1	9.6	17.8	5.5	2.7	23.3	20.5	2.7	9.6	4.1	
中里北部連合町内会	69	8.7	4.3	2.9	11.6	13.0	39.1	17.4	4.3	5.8	2.9	4.3	26.1	7.2	1.4	21.7	21.7	1.4	13.0	4.3	
市ヶ尾連合自治会	94	12.8	3.2	6.4	8.5	17.0	46.8	12.8	11.7	6.4	4.3	23.4	19.1	11.7	4.3	22.3	20.2	6.4	12.8	1.1	
上谷本連合町内会	65	12.3	1.5	6.2	20.0	20.0	56.9	24.6	3.1	4.6	1.5	18.5	24.6	10.8	1.5	12.3	29.2	4.6	9.2	0.0	
谷本連合自治会	118	5.1	2.5	4.2	8.5	19.5	42.4	15.3	1.7	2.5	6.8	9.3	22.0	4.2	3.4	22.9	22.9	6.8	16.1	1.7	
恩田連合自治会	163	12.3	3.7	9.2	12.9	22.7	32.5	9.8	5.5	6.7	3.1	14.7	30.7	11.7	0.0	17.2	24.5	6.7	11.0	1.8	
青葉台連合自治会	181	11.6	3.9	9.9	17.1	21.5	41.4	12.7	3.3	6.1	3.3	19.3	25.4	13.3	1.7	23.2	21.5	6.1	11.0	1.7	
奈良町、奈良北団地連合自治会	107	4.7	0.9	4.7	9.3	16.8	39.3	10.3	0.9	4.7	1.9	9.3	17.8	4.7	2.8	15.9	23.4	0.9	21.5	0.9	
山内連合自治会	221	14.9	3.2	5.9	14.5	24.0	41.2	13.6	2.7	6.8	1.4	14.9	20.8	8.6	1.8	14.0	22.2	8.1	9.5	5.4	
荏田、新荏田連合自治会	224	9.8	3.1	8.5	8.5	21.4	38.8	10.7	2.2	10.3	4.0	16.1	24.1	5.8	0.9	17.4	26.8	4.5	12.5	2.2	
すずき野連合自治会	79	11.4	5.1	5.1	15.2	31.6	40.5	15.2	3.8	16.5	1.3	11.4	26.6	5.1	1.3	16.5	25.3	6.3	6.3	1.3	
美しが丘連合自治会	55	14.5	5.5	9.1	21.8	21.8	47.3	21.8	1.8	1.8	1.8	10.9	25.5	5.5	1.8	14.5	5.5	5.5	18.2	0.0	
無回答	80	15.0	2.5	3.8	16.3	25.0	43.8	16.3	1.3	6.3	0.0	13.8	18.8	13.8	1.3	13.8	23.8	7.5	10.0	6.3	

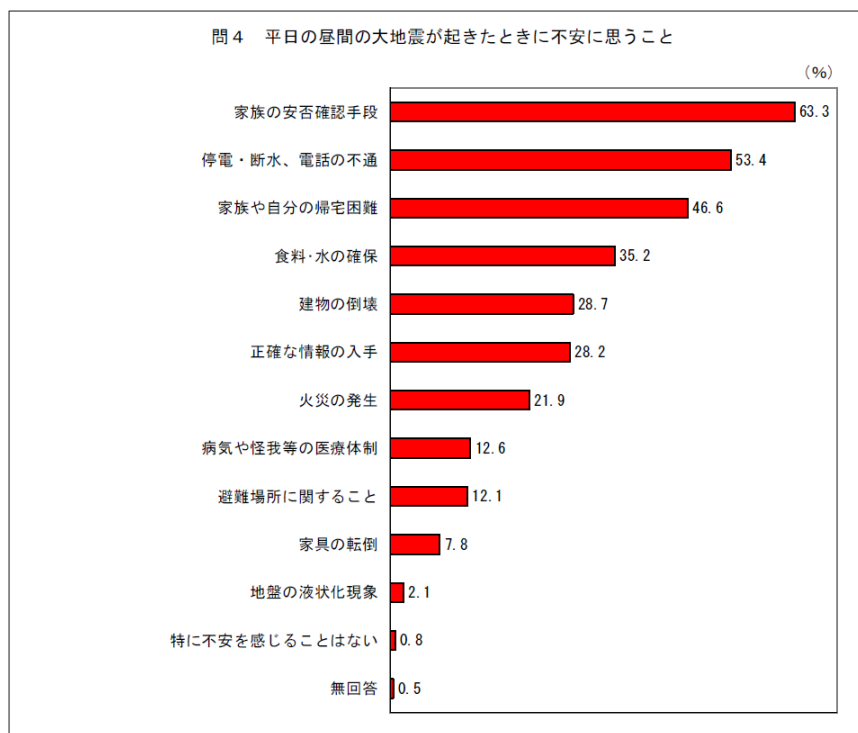
2. 災害対策について

問4 首都圏で平日の昼間に大地震が起きた場合、あなたが特に不安に思うことは何ですか。(〇は3つまで)

- ・「家族の安否確認手段」が最も多く 62.6%で、6割以上の方が不安だとしている。次いで「停電・断水、電話の途絶」が 45.8%で半数弱、「家族や自分の帰宅困難」(40.1%)、「食料・水の確保」(37.6%)、「建物の倒壊」(31.0%)を3割以上の方が挙げている。
- ・平成23年度調査でも「家族の安否確認手段」が最も多く、次いで「停電・断水、電話の途絶」となっており、傾向に変化は見られない。



<参考 平成23年度調査結果との比較>



■ 年齢別 平日の昼間の地震で不安に思うこと(問4×F1)

- ・ 60代までは「家族の安否確認手段」、70代以上では「停電・断水、電話の途絶」が最も多くなっている。
- ・ 40代では「家族や自分の帰宅困難」の数値が区全体値に比べて高くなっている。

	合計	問4 平日の昼間の地震で不安に思うこと														
		家族の安否確認手段	建物の倒壊	家具の転倒	食料・水の確保	停電・断水、電話の途絶	家族や自分の帰宅困難	病気や怪我等の医療体制	正確な情報の入手	避難場所に関する事	火災の発生	地盤の液状化現象	その他	特に不安を感じることはな	無回答	
全体	1529	62.6	31.0	10.6	37.6	45.8	40.1	13.8	29.6	13.4	18.9	1.9	0.5	0.3	1.3	
F1 年齢(統合1)	10代20代	175	56.6	30.9	10.9	45.7	41.7	42.3	9.1	22.3	14.3	14.9	2.3	1.7	0.6	0.6
	30代	249	67.1	30.9	9.6	39.8	41.4	47.4	12.9	26.9	10.8	17.3	2.0	0.4	0.0	0.4
	40代	340	69.4	27.1	6.5	41.5	40.3	54.1	13.2	25.0	11.8	14.7	2.1	0.3	0.3	1.2
	50代	256	67.6	32.0	11.7	38.7	47.3	41.4	12.5	32.0	15.2	21.5	0.4	0.4	0.0	1.2
	60代	261	64.0	31.4	13.4	31.4	52.1	31.4	16.9	36.4	12.6	20.7	3.4	0.4	0.4	0.8
	70代以上	215	46.5	34.9	12.1	28.8	55.3	17.7	16.3	35.3	16.7	24.2	0.9	0.5	0.9	3.3
	無回答	33	45.5	36.4	18.2	36.4	36.4	33.3	21.2	24.2	15.2	27.3	3.0	0.0	0.0	6.1

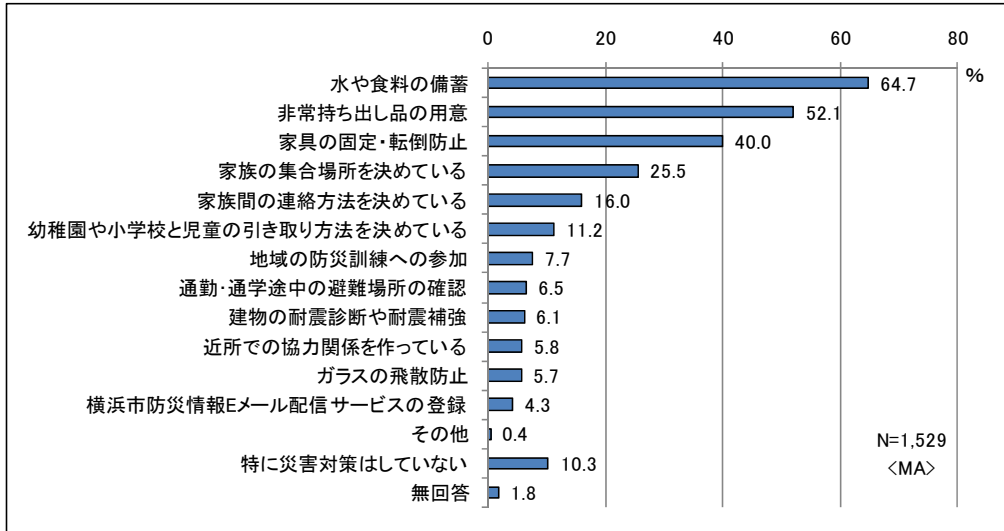
■ 居住地区別 平日の昼間の地震で不安に思うこと(問4×F13)

- ・ いずれも「家族の安否確認手段」が最も多くなっている。
- ・ 中里連合自治会では「正確な情報の入手」、市が尾連合自治会では「建物の倒壊」の数値が区全体値に比べて高くなっている。

	合計	問4 平日の昼間の地震で不安に思うこと														
		家族の安否確認手段	建物の倒壊	家具の転倒	食料・水の確保	停電・断水、電話の途絶	家族や自分の帰宅困難	病気や怪我等の医療体制	正確な情報の入手	避難場所に関する事	火災の発生	地盤の液状化現象	その他	特に不安を感じることはな	無回答	
全体	1529	62.6	31.0	10.6	37.6	45.8	40.1	13.8	29.6	13.4	18.9	1.9	0.5	0.3	1.3	
F13 居住地区(連合自治会別)	中里連合自治会	73	64.4	34.2	11.0	39.7	38.4	42.5	15.1	39.7	11.0	21.9	1.4	0.0	0.0	1.4
	中里北部連合町内会	69	76.8	31.9	13.0	46.4	37.7	36.2	11.6	21.7	8.7	17.4	2.9	0.0	0.0	0.0
	市ヶ尾連合自治会	94	55.3	43.6	11.7	28.7	47.9	38.3	19.1	36.2	12.8	16.0	2.1	0.0	0.0	0.0
	上谷本連合町内会	65	53.8	30.8	10.8	33.8	43.1	29.2	21.5	30.8	16.9	27.7	3.1	4.6	1.5	0.0
	谷本連合自治会	118	69.5	33.9	8.5	33.9	39.0	38.1	14.4	33.9	15.3	19.5	0.0	0.0	0.0	0.8
	恩田連合自治会	163	63.2	25.8	12.3	39.3	46.0	44.8	14.7	28.8	9.2	16.6	1.2	1.2	0.6	0.6
	青葉台連合自治会	181	67.4	30.9	11.0	39.2	45.3	39.2	10.5	28.7	10.5	22.1	1.7	0.0	0.0	0.6
	奈良町、奈良北団地連合自治会	107	65.4	31.8	10.3	36.4	47.7	39.3	10.3	28.0	10.3	19.6	1.9	0.0	0.0	0.0
	山内連合自治会	221	58.4	29.4	13.1	35.7	52.9	41.2	14.5	32.1	16.7	17.6	1.4	0.5	0.5	2.3
	荏田、新荏田連合自治会	224	61.6	25.9	7.1	36.6	49.6	46.4	12.9	23.2	13.4	17.0	4.0	0.4	0.0	2.2
	すすき野連合自治会	79	59.5	38.0	12.7	46.8	55.7	27.8	12.7	32.9	15.2	15.2	1.3	0.0	0.0	0.0
	美しが丘連合自治会	55	65.5	29.1	9.1	41.8	40.0	47.3	10.9	23.6	12.7	18.2	0.0	0.0	0.0	1.8
	無回答	80	53.8	31.3	7.5	37.5	32.5	35.0	15.0	28.8	23.8	22.5	2.5	1.3	2.5	6.3

問5 あなたのご家庭で行っている災害対策は何ですか。(〇はいくつでも)

- ・「水や食料の備蓄」が64.7%で最も多く、6割以上の人が行っている。次いで「非常持ち出し品の用意」(52.1%)を半数以上の人、「家具の固定・転倒防止」(40.0%)を4割の人が挙げている。



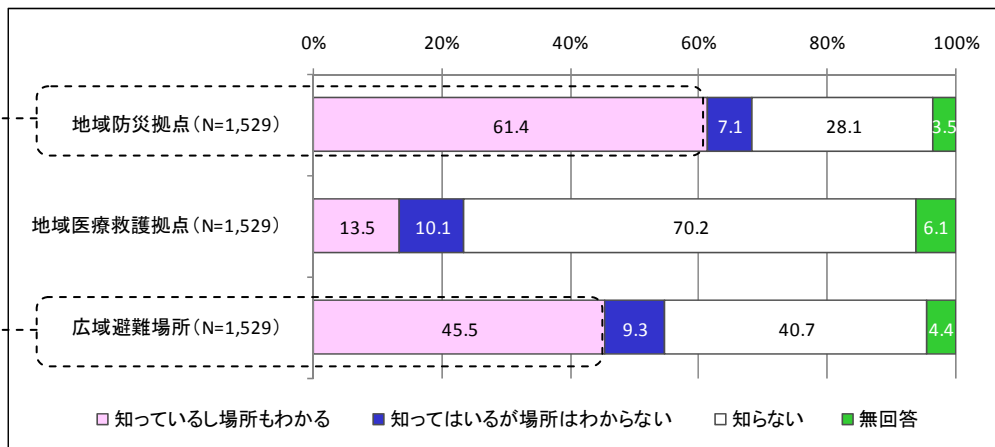
■ 年齢別 家庭で行っている災害対策(問5×F1)

- ・いずれも「水や食料の備蓄」が最も多い。
- ・子育て世代である30代、40代で「幼稚園や小学校と児童の引き取り方法を決めている」の数値が、区全体値や他世代に比べて高くなっている。

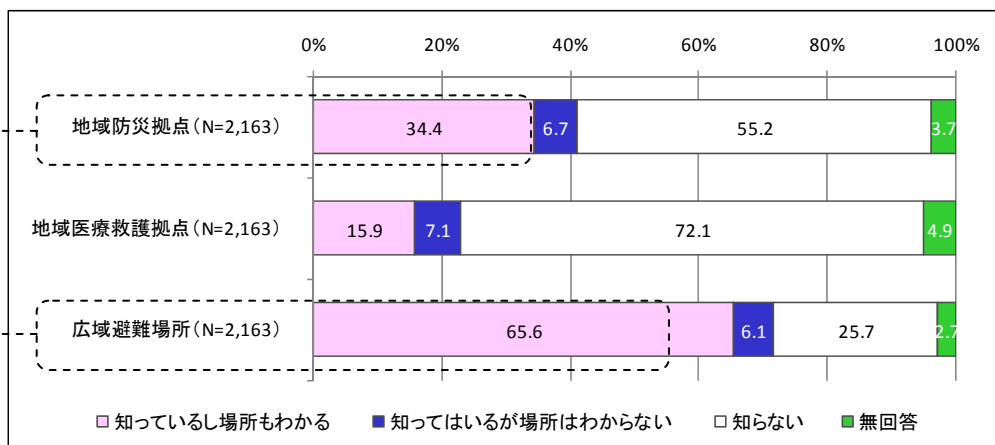
	合計	問5 家庭で行っている災害対策															
		非常持ち出し品の用意	水や食料の備蓄	家具の固定・転倒防止	家族の集合場所を決めている	家族間の連絡方法を決めている	建物の耐震診断や耐震補強	通勤・通学途中の避難場所の確認	地域の防災訓練への参加	幼稚園や小学校と児童の引き取り方法を決めている	ガラスの飛散防止	横浜市防災情報Eメール配信サービスの登録	近所での協力関係を作っている	その他	特に災害対策はしていない	無回答	
全体	1529	52.1	64.7	40.0	25.5	16.0	6.1	6.5	7.7	11.2	5.7	4.3	5.8	0.4	10.3	1.8	
F1 年齢(統合1)	10代20代	175	38.3	58.3	33.1	24.6	14.3	3.4	9.1	1.1	2.3	5.1	2.9	1.7	0.6	17.7	0.6
	30代	249	53.4	65.1	34.5	26.1	15.3	2.0	5.6	3.2	26.5	2.0	4.8	4.8	0.4	8.8	1.2
	40代	340	56.2	67.1	42.6	32.1	15.6	5.3	10.6	8.5	27.1	3.8	7.6	6.2	0.6	6.8	0.9
	50代	256	51.6	65.6	44.1	25.4	16.8	5.5	7.0	5.5	1.6	4.7	3.9	3.9	0.0	9.8	1.6
	60代	261	55.2	69.3	43.7	23.4	18.4	9.2	3.8	12.6	1.5	9.2	4.2	8.4	0.4	10.7	1.1
	70代以上	215	53.5	59.5	40.0	18.6	15.8	11.6	2.8	13.0	0.5	10.7	0.0	9.3	0.5	12.1	5.1
	無回答	33	42.4	63.6	27.3	21.2	9.1	6.1	0.0	9.1	3.0	3.0	3.0	3.0	0.0	6.1	9.1

問 6 あなたは、ご自分の地域防災拠点、地域医療救護拠点、広域避難場所について知っていますか。（それぞれに○は1つ）

- ・地域防災拠点については「知っているし場所もわかる」が最も多く 61.4%で、この3つの中では最も認知度が高いが、「知らない」も 28.1%おり、3割弱に達している。「知っているが場所はわからない」は 7.1%である。
- ・地域医療救護拠点については、「知らない」が 70.2%と約 7 割に達し、認知度は低い。「知っているし場所もわかる」は 13.5%、「知っているが場所はわからない」は 10.1%となっている。
- ・広域避難場所については、「知っているし場所もわかる」が 45.5%、「知らない」が 40.7%でほぼ拮抗している。「知っているが場所はわからない」は 9.3%である。
- ・平成 23 年度横浜市民意識調査と比較すると、地域医療救護拠点の認知度に大きな差はないが、地域防災拠点の認知度が高く、広域避難場所は低くなっている。



< 参考 平成 23 年度横浜市民意識調査との比較 >



横浜市民意識調査の結果と比較すると、地域防災拠点の認知度が 27 ポイント高く、広域避難場所の認知度は 20 ポイント低くなっている。

■ 居住地区別 地域防災拠点、地域医療救護拠点、広域避難場所の認知度(問6×F13)

- ・ 地域防災拠点については、いずれも「知っているし場所がわかる」が最も多く、特にすすき野連合自治会、美しが丘連合自治会では7割を超えている。
- ・ 地域医療救護拠点については、いずれも「知らない」が最も多くなっている。
- ・ 広域避難場所については、中里連合自治会、上谷本連合町内会、谷本連合自治会、青葉台連合自治会、奈良町、奈良北団地連合自治会、山内連合自治会、すすき野連合自治会、美しが丘連合自治会では「知っているし場所がわかる」が最も多くなっている。

	合計	問6 地域防災拠点				
		知っているし場所もわかる	知っているが場所はわからない	知らない	無回答	
全体	1529	61.4	7.1	28.1	3.5	
F13 居住地区 (連合自治会別)	中里連合自治会	73	63.0	11.0	21.9	4.1
	中里北部連合町内会	69	58.0	4.3	30.4	7.2
	市ヶ尾連合自治会	94	50.0	9.6	39.4	1.1
	上谷本連合町内会	65	55.4	4.6	38.5	1.5
	谷本連合自治会	118	56.8	8.5	29.7	5.1
	恩田連合自治会	163	63.8	7.4	26.4	2.5
	青葉台連合自治会	181	63.0	5.5	27.1	4.4
	奈良町、奈良北団地連合自治会	107	69.2	10.3	19.6	0.9
	山内連合自治会	221	60.6	6.3	29.4	3.6
	荏田、新荏田連合自治会	224	59.8	7.1	30.4	2.7
	すすき野連合自治会	79	72.2	6.3	20.3	1.3
	美しが丘連合自治会	55	70.9	1.8	23.6	3.6
	無回答	80	58.8	7.5	25.0	8.8

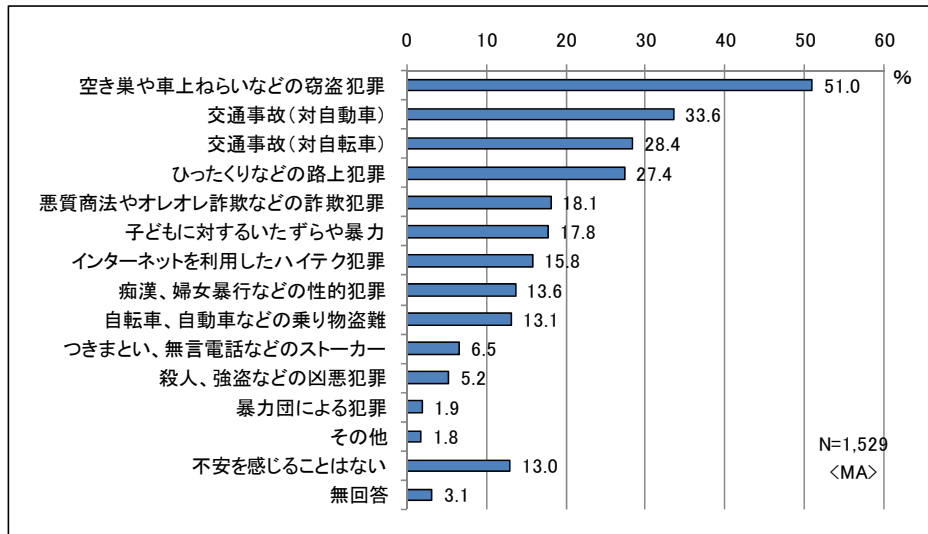
	合計	問6 地域医療救護拠点				
		知っているし場所もわかる	知っているが場所はわからない	知らない	無回答	
全体	1529	13.5	10.1	70.2	6.1	
F13 居住地区 (連合自治会別)	中里連合自治会	73	20.5	12.3	60.3	6.8
	中里北部連合町内会	69	14.5	10.1	66.7	8.7
	市ヶ尾連合自治会	94	10.6	9.6	73.4	6.4
	上谷本連合町内会	65	15.4	7.7	69.2	7.7
	谷本連合自治会	118	17.8	8.5	67.8	5.9
	恩田連合自治会	163	11.0	11.0	75.5	2.5
	青葉台連合自治会	181	13.3	8.8	70.7	7.2
	奈良町、奈良北団地連合自治会	107	21.5	11.2	64.5	2.8
	山内連合自治会	221	12.2	8.1	71.9	7.7
	荏田、新荏田連合自治会	224	6.7	11.6	77.2	4.5
	すすき野連合自治会	79	19.0	11.4	65.8	3.8
	美しが丘連合自治会	55	16.4	12.7	61.8	9.1
	無回答	80	12.5	10.0	65.0	12.5

	合計	問6 広域避難場所				
		知っているし場所もわかる	知っているが場所はわからない	知らない	無回答	
全体	1529	45.5	9.3	40.7	4.4	
F13 居住地区 (連合自治会別)	中里連合自治会	73	52.1	5.5	38.4	4.1
	中里北部連合町内会	69	39.1	11.6	43.5	5.8
	市ヶ尾連合自治会	94	36.2	11.7	47.9	4.3
	上谷本連合町内会	65	43.1	13.8	40.0	3.1
	谷本連合自治会	118	45.8	11.0	39.0	4.2
	恩田連合自治会	163	42.9	5.5	49.7	1.8
	青葉台連合自治会	181	44.8	9.4	38.7	7.2
	奈良町、奈良北団地連合自治会	107	63.6	5.6	28.0	2.8
	山内連合自治会	221	45.7	10.0	38.5	5.9
	荏田、新荏田連合自治会	224	39.7	8.9	48.2	3.1
	すすき野連合自治会	79	54.4	10.1	34.2	1.3
	美しが丘連合自治会	55	52.7	12.7	30.9	3.6
	無回答	80	42.5	10.0	37.5	10.0

3. 防犯について

問7 あなたが現在住んでいる地域では、犯罪や事故など安全について心配なことはありますか。(〇はいくつでも)

- ・「空き巣や車上ねらいなどの窃盗犯罪」が51.0%で最も多く、半数以上の人不安だとしている。次いで「交通事故(対自動車)」(33.6%)、「交通事故(対自転車)」(28.4%)、「ひったくりなどの路上犯罪」(27.4%)が3割前後で続く。一方「不安を感じることはない」との回答も13.0%あった。



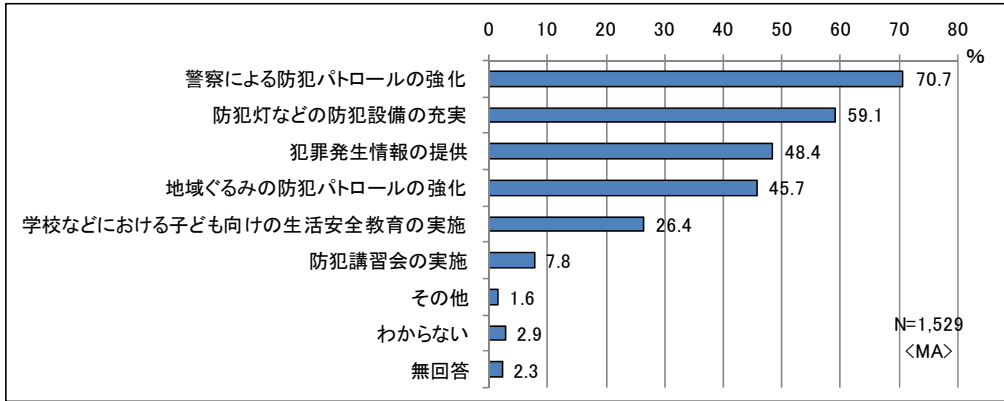
■ 年齢別 犯罪や事故など安全について心配なこと(問7×F1)

- ・10代20代は「交通事故(対自動車)」、30代は「空き巣や車上ねらいなどの窃盗犯罪」と「交通事故(対自動車)」が同率、40代以上の世代では「空き巣や車上ねらいなどの窃盗犯罪」が最も多くなっており、30代を境に傾向が分かれた。
- ・10代20代では「不安を感じることはない」、40代では「子どもに対するいたずらや暴力」、60代では「悪質商法やオレオレ詐欺などの詐欺犯罪」の数値が、それぞれ区全体値や他世代に比べて高くなっている。

	合計	問7 犯罪や事故など安全について心配なこと															
		ひったくりなどの路上犯罪	窃盗犯罪	空き巣や車上ねらいなどの窃盗犯罪	物盗難	自転車、自動車などの乗り物盗難	暴力子どもに対するいたずらや暴力	つきまとい、無言電話などのストーカー	痴漢、婦女暴行などの性的犯罪	殺人、強盗などの凶悪犯罪	悪質商法やオレオレ詐欺などの詐欺犯罪	インターネットを利用したハイテク犯罪	コンピュータへの不正アクセスやインターネットを利用したハイテク犯罪	暴力団による犯罪	交通事故(対自動車)	交通事故(対自転車)	その他
全体	1529	27.4	51.0	13.1	17.8	6.5	13.6	5.2	18.1	15.8	1.9	33.6	28.4	1.8	13.0	3.1	
F1 年齢(統合1)																	
10代20代	175	20.0	28.6	8.0	9.1	9.1	18.3	5.1	8.6	13.7	3.4	33.7	23.4	5.1	27.4	1.1	
30代	249	31.3	46.2	14.9	26.5	4.8	14.5	4.8	11.2	12.9	1.6	46.2	26.9	2.0	13.7	1.6	
40代	340	22.6	57.6	16.5	35.0	7.9	16.5	4.4	12.9	19.7	1.8	37.4	30.6	1.8	8.5	1.8	
50代	256	28.9	60.9	17.6	12.1	7.0	16.8	3.5	18.4	19.1	1.2	28.5	32.4	1.6	12.5	2.3	
60代	261	32.6	59.4	12.3	10.0	3.8	10.3	7.3	29.1	18.8	2.7	28.0	31.0	0.4	8.4	3.4	
70代以上	215	29.8	42.3	7.4	5.1	7.0	5.1	7.0	27.9	8.4	1.4	26.5	24.7	0.5	15.3	8.8	
無回答	33	18.2	51.5	3.0	9.1	6.1	9.1	3.0	21.2	9.1	0.0	27.3	18.2	3.0	3.0	6.1	

問8 あなたは、犯罪を未然に防ぐため、どのような取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- ・「警察による防犯パトロールの強化」が70.7%で最も多く、約7割の人が挙げている。次いで「防犯灯などの防犯設備の充実」(59.1%)、「犯罪発生情報の提供」(48.4%)、「地域ぐるみの防犯パトロールの強化」(45.7%)と続く。



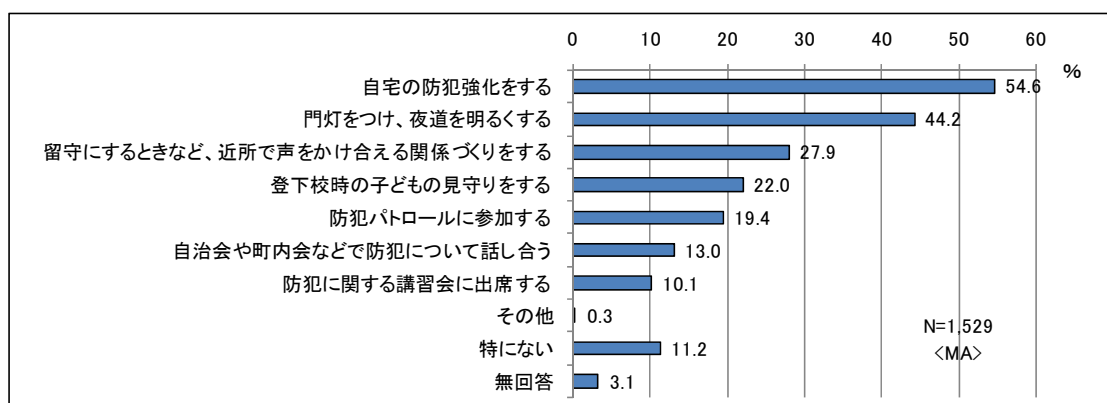
■ 居住地区別 地域の防犯で実行できそうな取組(問8×F13)

- ・いずれも「警察による防犯パトロールの強化」が最も多くなっている。
- ・すすき野連合自治会では「地域ぐるみの防犯パトロールの強化」、美しが丘連合自治会では「防犯灯などの防犯設備の充実」の数値が区全体値に比べて高くなっている。

	合計	問8 犯罪を未然に防ぐために必要な取組								
		犯罪発生情報の提供	防犯灯などの防犯設備の充実	学校など生活安全における子ども向けの生活安全教育の実施	防犯講習会の実施	警察による防犯パトロールの強化	地域ぐるみの防犯パトロールの強化	その他	わからない	無回答
全体	1529	48.4	59.1	26.4	7.8	70.7	45.7	1.6	2.9	2.3
F13 居住地区(連合自治会別)										
中里連合自治会	73	50.7	60.3	26.0	5.5	74.0	50.7	1.4	2.7	2.7
中里北部連合町内会	69	42.0	55.1	27.5	7.2	69.6	34.8	1.4	2.9	1.4
市ヶ尾連合自治会	94	54.3	50.0	22.3	7.4	73.4	48.9	2.1	1.1	0.0
上谷本連合町内会	65	52.3	64.6	21.5	6.2	76.9	49.2	1.5	3.1	0.0
谷本連合自治会	118	50.0	53.4	30.5	6.8	66.9	41.5	0.0	3.4	1.7
恩田連合自治会	163	51.5	65.6	30.1	11.7	74.2	42.9	1.2	1.8	1.2
青葉台連合自治会	181	48.1	60.2	22.7	6.6	75.7	46.4	3.3	2.2	3.3
奈良町、奈良北団地連合自治会	107	51.4	55.1	27.1	10.3	73.8	50.5	0.0	3.7	0.9
山内連合自治会	221	45.7	59.7	29.0	6.8	70.1	48.4	0.9	2.7	1.8
荏田、新荏田連合自治会	224	43.3	62.1	21.9	8.9	65.6	42.4	2.2	3.6	3.6
すすき野連合自治会	79	55.7	54.4	35.4	10.1	65.8	57.0	3.8	3.8	0.0
美しが丘連合自治会	55	49.1	70.9	30.9	1.8	72.7	41.8	1.8	0.0	1.8
無回答	80	43.8	51.3	22.5	6.3	62.5	40.0	1.3	6.3	10.0

問9 地域の防犯に対して、あなたが実行できそうな取組はありますか。(〇はいくつでも)

- ・「自宅の防犯強化をする」(54.6%)、「門灯をつけ、夜道を明るくする」(44.2%)の2点が多くなっている。次いで「留守にするときなど、近所で声をかけ合える関係づくりをする」(27.9%)、「登下校時の子どもの見守りをする」(22.0%)と続く。



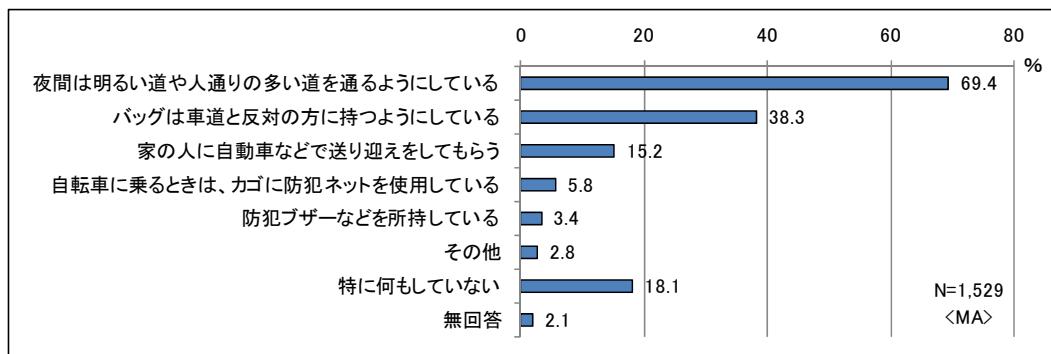
■ 年齢別 地域の防犯で実行できそうな取組(問9×F1)

- ・いずれも「自宅の防犯強化をする(玄関やドアの鍵を増やす、防犯カメラを設置するなど)」が最も多くなっている。
- ・子育て世代の30代、40代では「登下校時の子どもの見守りをする」、60代では「門灯をつけ、夜道を明るくする」「留守にするときなど、近所で声をかけ合える関係づくりをする」の数値が、それぞれ区全体値や他世代に比べて高い数値となっている。

	合計	問9 地域の防犯で実行できそうな取組										
		自宅の防犯強化をする(玄関やドアの鍵を増やす、防犯カメラを設置するなど)	門灯をつけ、夜道を明るくする	留守にするときなど、近所で声をかけ合える関係づくりをする	登下校時の子どもの見守りをする	自治会や町内会などで防犯について話し合う	防犯に関する講習会に出席する	防犯パトロールに参加する	その他	特にない	無回答	
全体	1529	54.6	44.2	27.9	22.0	13.0	10.1	22.0	19.4	0.3	11.2	3.1
F1 年齢(統合1)	10代20代	175	57.7	39.4	14.3	2.3	3.4	8.0	8.6	0.0	16.6	2.3
	30代	249	47.0	28.1	25.3	6.4	8.8	36.5	19.7	0.4	13.7	1.2
	40代	340	53.5	42.1	27.6	11.5	12.4	32.1	25.3	0.0	10.3	1.5
	50代	256	53.1	48.0	28.5	15.6	9.0	14.5	15.6	0.4	12.9	4.3
	60代	261	62.5	56.7	37.9	19.2	11.5	17.6	23.0	0.8	5.7	1.1
	70代以上	215	54.0	48.8	29.8	20.9	13.0	15.3	19.5	0.0	11.2	8.8
	無回答	33	60.6	54.5	27.3	15.2	12.1	18.2	15.2	0.0	6.1	9.1

問 10 あなたは、ひったくり、強盗などの街頭の犯罪に遭わないため、どのようなことに気をつけていますか。(〇はいくつでも)

- ・「夜間は明るい道や人通りの多い道を通るようにしている」が 69.4%と、突出して多くなっている。次いで「バッグは車道と反対の方に持つようにしている」が 38.3%で続く。一方「特に何もしていない」(18.1%)も2割弱となっている。



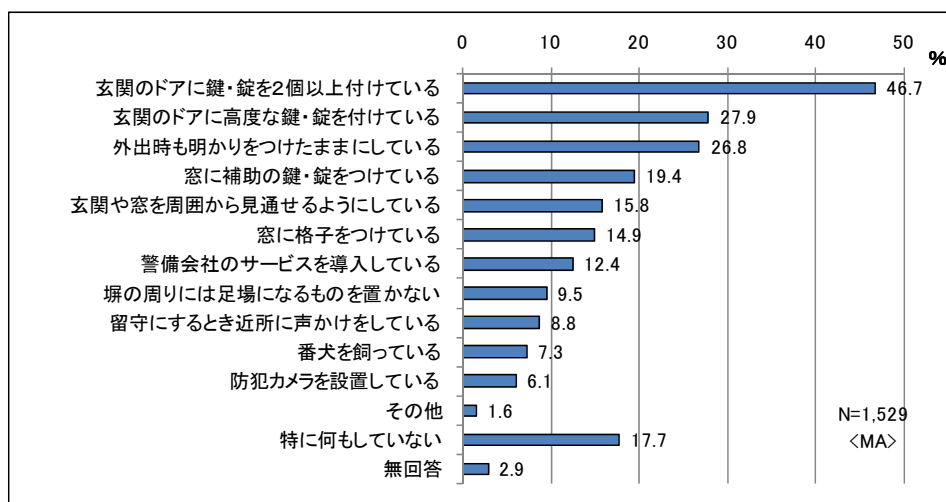
■ 男女別 街頭の犯罪に対して気をつけていること(問 10×F2)

- ・男女とも「夜間は明るい道や人通りの多い道を通るようにしている」が最も多いが、女性は男性を 25 ポイント上回っている。
- ・また、女性は男性より「バッグは車道と反対の方に持つようにしている」が 30.7 ポイント高く、男性は「特に何もしていない」が女性より 26.7 ポイント高くなっている。

	合計	問10 街頭の犯罪に対して気をつけていること							
		夜間は明るい道や人通りの多い道を通るようにしている	自転車に乗るときは、カゴに防犯ネットを使用している	バッグは車道と反対の方に持つようにしている	防犯ブザーなどを所持している	家の人に自動車などで送り迎えをもらう	その他	特に何もしていない	無回答
全体	1529	69.4	5.8	38.3	3.4	15.2	2.8	18.1	2.1
F 2 性別	男性	55.0	2.6	20.0	1.5	10.4	2.1	33.7	3.5
	女性	79.9	7.6	50.7	5.0	19.0	3.2	7.0	1.1
	無回答	77	67.5	10.4	45.5	1.3	11.7	3.9	18.2

問 11 あなたは、空き巣狙いなどの被害に遭わないため、どのようなことをしていますか。(〇はいくつでも)

- ・「玄関のドアに鍵・錠を2個以上付けている」が46.7%で最も多く、半数弱の人が挙げている。次いで「関のドアに高度な鍵・錠を付けている」(27.9%)、「外出時も明かりをつけたままにしている」(26.8%)が3割弱で並ぶ。



■ 居住形態別 空き巣狙いなどに対して気をつけていること(問11×F4)

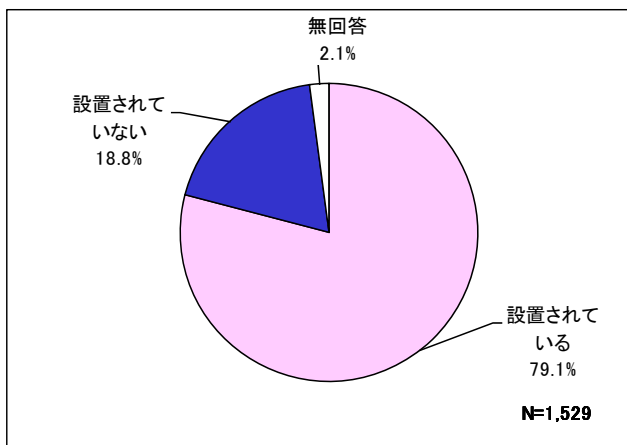
- ・持家(一戸建て)、持家(共同住宅)、借家(一戸建て)では「玄関のドアに鍵・錠を2個以上付けている」が最も多くなっている。
- ・持家(一戸建て)、借家(一戸建て)では「垣根や生垣を低くして、玄関や窓を周囲から見通せるようにしている」「外出時も明かりをつけたままにしている」の数値が他に比べて高い。

	合計	問11 空き巣狙いなどに対して気をつけていること													
		を玄関のドアに高度な鍵・錠	を玄関のドアに付けている鍵・錠を2個	防犯カメラを設置している	留守にするとき近所に声をかけている	番犬を飼っている	窓に補助の鍵・錠をつけている	窓に格子をつけている	にや窓を周囲から見通せるようにしている	垣根や生垣を低くして、玄関	の塀の周りには足場になるものを置かない	外出時も明かりをつけたままにしている	警備会社のサービスを導入している	その他	特に何もしていない
全体	1529	27.9	46.7	6.1	8.8	7.3	19.4	14.9	15.8	9.5	26.8	12.4	1.6	17.7	2.9
F 4 住居形態															
持家(一戸建て)	669	29.3	64.0	3.4	13.5	12.6	27.2	22.9	30.3	18.1	39.5	14.1	1.6	6.3	2.2
持家(共同住宅)	402	34.8	41.0	14.4	4.5	2.7	13.2	7.5	1.2	2.7	14.4	20.9	2.0	17.7	3.0
借家(一戸建て)	33	21.2	51.5	0.0	12.1	9.1	12.1	18.2	33.3	6.1	39.4	0.0	0.0	9.1	0.0
借家(共同住宅、社宅、公務員住宅、寮)	373	19.8	21.2	2.9	5.1	2.9	13.1	7.8	3.2	1.3	17.4	1.9	1.3	37.5	3.8
その他	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
無回答	48	18.8	52.1	2.1	6.3	4.2	18.8	20.8	20.8	12.5	20.8	10.4	0.0	22.9	6.3

4. 住宅用火災警報器について

問 12 あなたのお住まいはすでに、住宅用火災警報器などの自動で火災を感知する機器（感知器）が設置されていますか。（アパートやマンションなどで、入居時からすでに自動火災報知設備が設置されている場合も「1」を選択してください。）
（○は1つだけ）

- ・「設置されている」が79.1%で、全体の8割近くを占める。一方「設置されていない」（18.8%）は2割弱である。



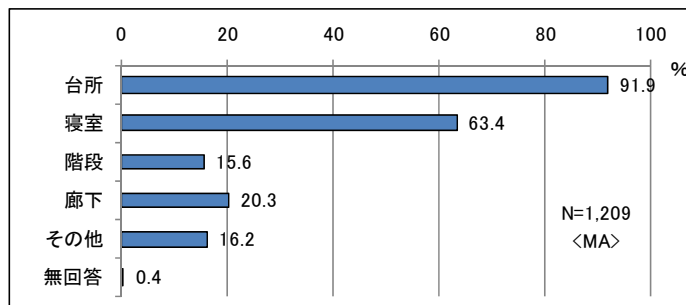
■ 居住形態別 感知器の設置(問 12×F4)

- ・いずれも「設置されている」の方が高い数値となっており、特に持家（共同住宅）では9割を超えているなど、一戸建てより共同住宅の方が設置率が高くなっている。一方、持家（一戸建て）では「設置されていない」が区全体の数値に比べて高く、3割近くにのぼっている。

	合計	問12 感知器の設置		
		設置されている	設置されていない	無回答
全体	1529	79.1	18.8	2.1
F 4 住居形態				
持家（一戸建て）	669	67.9	29.7	2.4
持家（共同住宅）	402	90.5	8.7	0.7
借家（一戸建て）	33	66.7	27.3	6.1
借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）	373	88.7	9.7	1.6
その他	4	75.0	25.0	0.0
無回答	48	72.9	16.7	10.4

問 12-1 住宅用火災警報器などは、あなたの住宅のどの場所に設置されていますか。(設置している人のみ、○はいくつでも)

- ・「台所」が 91.9%で、9 割以上の人々が設置している。次いで「寝室」が 63.4%である。



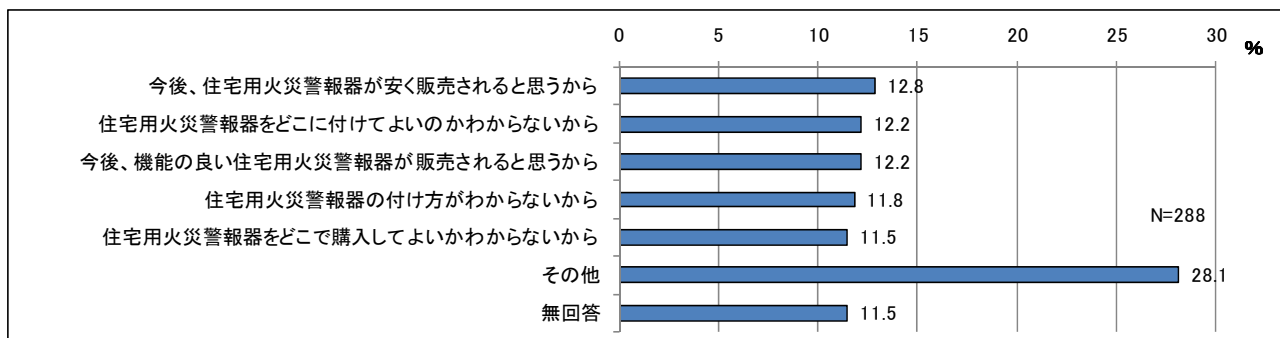
■ 居住形態別 住宅用火災警報器の設置場所(問 12-1×F4)

- ・いずれも「台所」が最も多く、持家（一戸建て）、持家（共同住宅）、借家（一戸建て）では9 割を超えている。また持家（一戸建て）では「階段」の数値が区全体値や他に比べて高い。

	合計	問12-1 住宅用火災警報器の設置場所					
		台所	寝室	階段	廊下	その他	無回答
全体	1209	91.9	63.4	15.6	20.3	16.2	0.4
F 4 住居形態							
持家（一戸建て）	454	94.9	52.4	31.5	24.2	8.1	0.2
持家（共同住宅）	364	93.1	72.0	5.5	17.6	24.2	0.3
借家（一戸建て）	22	90.9	63.6	13.6	18.2	22.7	0.0
借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）	331	87.3	69.2	5.1	17.2	19.3	0.9
その他	3	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
無回答	35	85.7	62.9	17.1	28.6	5.7	0.0

問 12-2 あなたのお住まいで、住宅用火災警報器などが設置されていないのはなぜですか。（設置していない人のみ、○は1つだけ）

- ・「その他」（28.1%）を除くと、「今後、住宅用火災警報器が安く販売されると思うから」が12.8%で僅かに多いが、それ以外の選択肢についてもいずれも1割強で拮抗しており、回答は分散した。
- ・「その他」のうち、最も多かったのは「借家だから」の19件、次いで「設置準備中」の12件、「必要と思わない」の11件となっている。



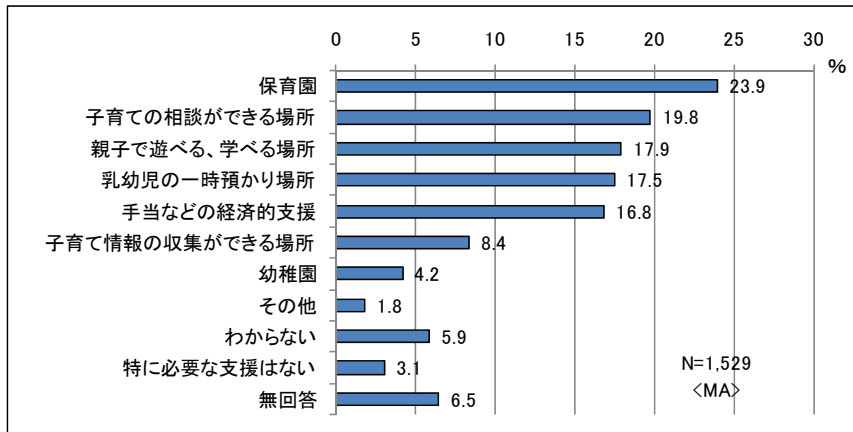
「その他」の内容

意見内容	件数
借家だから	19
設置準備中	12
必要と思わない	11
お金がかかる	8
つい先延ばしにしている	5
忘れていた	3
転居、建て替え予定	3
不在時、誤作動の不安	1
家が古い	1
知らなかった	1
総数	64

5. 子育てについて

問 13 あなたは、子育て中の家庭を支援するためには、どのようなことを充実する必要があると考えますか。(〇は1つだけ)

- ・「保育園」が 23.9% で最も多くなっている。次いで「子育ての相談ができる場所」(19.8%)、「親子で遊べる、学べる場所」(17.9%)、「乳幼児の一時預かり場所」(17.5%)、「手当などの経済的支援」(16.8%) がそれぞれ 2 割弱で続いている。



■ 年齢別 子育て中の家庭を支援するために必要なこと(問 13×F1)

- ・10代 20代、30代、60代では「保育園」、40代では「手当などの経済的支援」、50代では「子育ての相談ができる場所」が最も多く、70代では「保育園」「子育ての相談ができる場所」が同率となっており、年代で傾向が分かれた。また 30代では「手当などの経済的支援」の数値も高い。

	合計	問13 子育て中の家庭の支援に必要なこと											
		親子で遊べる、学べる場所	子育ての相談ができる場所	子育て情報の収集ができる場所	保育園	幼稚園	乳幼児の一時預かり場所	手当などの経済的支援	その他	わからない	特に必要な支援はない	無回答	
全体	1529	17.9	19.8	8.4	23.9	4.2	17.5	16.8	1.8	5.9	3.1	6.5	
F1 年齢(統合1)	10代20代	175	25.7	11.4	7.4	28.6	6.9	13.1	21.1	0.6	10.3	0.6	1.7
	30代	249	22.5	14.5	8.8	29.7	5.2	18.1	28.1	2.4	2.8	1.2	1.2
	40代	340	20.6	18.5	7.9	18.8	4.1	19.1	23.2	4.1	5.0	2.6	2.6
	50代	256	12.5	28.9	8.2	25.4	3.5	16.8	11.3	1.2	5.5	4.3	3.5
	60代	261	14.6	21.8	10.3	24.5	4.2	21.8	8.4	1.1	5.0	3.8	8.0
	70代以上	215	14.0	20.5	7.4	20.5	1.9	14.0	7.0	0.0	9.3	6.0	21.4
	無回答	33	9.1	24.2	6.1	15.2	3.0	12.1	15.2	3.0	3.0	0.0	24.2

■ 子どもの段階別 子育て中の家庭を支援するために必要なこと(問8×F8)

- ・子どもが中学生まで（小学校入学前、小学校在学中、中学校在学中）では「手当などの経済的支援」、子どもが高校在学中では「親子で遊べる、学べる場所」「子育ての相談ができる場所」が同率、子どもが学校教育終了-未婚-別居のケースとこどもはいない場合は「保育園」、子どもが学校教育終了-既婚-同居のケースは「子育ての相談ができる場所」「保育園」が同率、それ以外は「子育ての相談ができる場所」が最多となっている。

		問13 子育て中の家庭の支援に必要なこと											
		合計	親子で遊べる、学べる場所	子育ての相談ができる場所	場所以て情報の収集ができる	保育園	幼稚園	乳幼児の一時預かり場所	手当などの経済的支援	その他	わからない	特に必要な支援はない	無回答
F 8 お子さんの段階	全体	1529	17.9	19.8	8.4	23.9	4.2	17.5	16.8	1.8	5.9	3.1	6.5
	小学校入学前	159	24.5	4.4	6.3	25.8	3.8	17.6	36.5	3.8	0.6	0.0	0.6
	小学校在学中	199	25.1	12.1	8.0	19.6	3.5	21.1	37.7	6.0	1.0	0.5	0.5
	中学校在学中	125	23.2	16.0	12.0	19.2	3.2	19.2	34.4	5.6	2.4	0.0	1.6
	高校在学中	98	22.4	22.4	10.2	17.3	5.1	13.3	21.4	3.1	4.1	5.1	2.0
	各種学校、専修・専門学校在学中	12	0.0	33.3	8.3	16.7	8.3	8.3	25.0	0.0	8.3	0.0	0.0
	短大・大学・大学院在学中	125	19.2	26.4	6.4	24.8	4.0	18.4	8.8	0.8	4.0	4.0	1.6
	学校教育終了-未婚-同居	229	14.4	27.9	9.6	22.7	0.9	17.5	7.4	0.4	4.4	3.5	7.4
	学校教育終了-未婚-別居	129	17.8	24.8	10.1	26.4	3.1	19.4	9.3	2.3	7.0	3.1	5.4
	学校教育終了-既婚-同居	53	11.3	20.8	13.2	20.8	3.8	17.0	13.2	1.9	11.3	5.7	15.1
	学校教育終了-既婚-別居	308	13.6	26.3	9.1	25.3	3.2	18.8	10.1	0.6	4.9	4.5	9.1
	その他	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7
	こどもはいない	390	17.2	18.5	7.9	28.7	7.4	15.6	13.1	0.5	11.3	3.3	4.4
無回答	123	15.4	22.8	8.1	19.5	3.3	20.3	8.1	1.6	4.9	4.1	21.1	

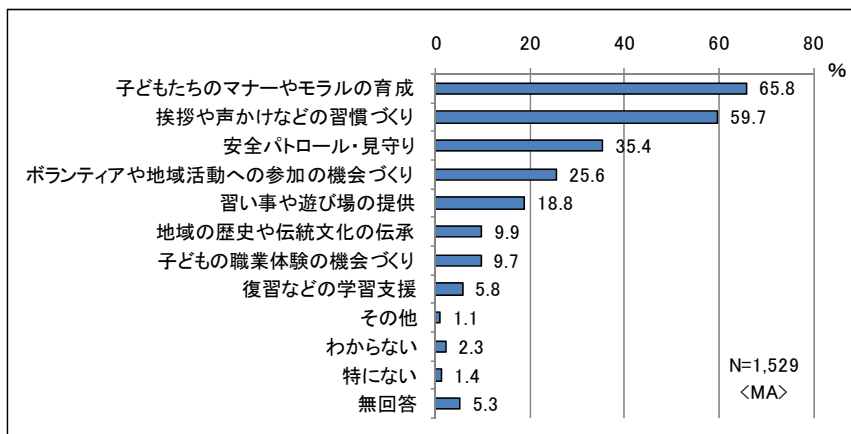
■ 同居している子ども別 子育て中の家庭を支援するために必要なこと(問8×F10)

- ・子どもが中学生まで（乳幼児・未就学児、小学生、中学生）では「手当などの経済的支援」、子どもが高校生では「親子で遊べる、学べる場所」、子どもが専門学校生、大学生では「子育ての相談ができる場所」、あてはまる家族がない場合は「保育園」が最も多くなっている。

		問13 子育て中の家庭の支援に必要なこと											
		合計	親子で遊べる、学べる場所	子育ての相談ができる場所	場所以て情報の収集ができる	保育園	幼稚園	乳幼児の一時預かり場所	手当などの経済的支援	その他	わからない	特に必要な支援はない	無回答
F 10 同居家族	全体	1529	17.9	19.8	8.4	23.9	4.2	17.5	16.8	1.8	5.9	3.1	6.5
	乳幼児・未就学児	174	23.0	5.2	6.3	25.9	3.4	17.8	36.2	4.0	1.1	1.1	1.7
	小学生	217	24.4	12.9	7.8	20.3	3.2	20.3	36.4	5.5	0.9	0.9	1.4
	中学生	153	22.9	16.3	11.8	19.6	4.6	17.6	32.7	4.6	3.9	0.7	2.6
	高校生	128	22.7	21.9	10.2	17.2	3.9	13.3	21.1	2.3	5.5	3.9	3.9
	専門学校生、大学生	157	18.5	26.1	7.0	25.5	5.1	14.6	12.7	0.6	3.8	3.2	1.3
	上記にあてはまる家族はない	836	14.7	22.6	8.5	26.0	4.3	17.6	9.1	0.7	7.9	4.1	8.9
	無回答	75	13.3	18.7	9.3	22.7	5.3	21.3	13.3	2.7	5.3	1.3	20.0

問 14 子どもたちが健やかに成長するために、地域が担う役割として、あなたが特に重要だと思うものは何ですか。(〇は3つまで)

- ・「子どもたちのマナーやモラルの育成」が 65.8% で最も多く、次いで「挨拶や声かけなどの習慣づくり」が 59.7% で、この 2 点に回答が集中している。「安全パトロール・見守り」(35.4%)、「ボランティアや地域活動への参加の機会づくり」(25.6%) にも 2 割以上の回答が得られている。



■ 年齢別 子どもたちが健やかに成長するために地域が担う役割(問 14×F1)

- ・いずれも「子どもたちのマナーやモラルの育成」が最も多くなっている。また、10代 20代、30代の若い世代では「習い事や遊び場の提供」の数値が他の世代に比べて高い。

	合計	問14 子どもたちが健やかに成長するために地域が担う役割											
		子どもたちのマナーやモラルの育成	挨拶や声かけなどの習慣づくり	安全パトロール・見守り	ボランティアや地域活動への参加の機会づくり	子どもの職業体験の機会づくり	復習などの学習支援	習い事や遊び場の提供	地域の歴史や伝統文化の伝承	その他	わからない	特になし	無回答
全体	1529	65.8	59.7	35.4	25.6	9.7	5.8	18.8	9.9	1.1	2.3	1.4	5.3
F1 年齢(統合1)													
10代20代	175	59.4	50.9	29.7	26.9	15.4	6.9	33.1	6.9	1.1	7.4	1.1	2.3
30代	249	67.9	61.4	41.0	27.3	12.4	4.8	30.5	6.8	0.8	0.8	0.8	2.0
40代	340	64.4	59.1	35.0	28.2	14.1	7.1	22.1	9.4	1.5	2.1	0.9	2.6
50代	256	71.5	58.6	36.7	25.4	7.0	5.5	11.7	12.5	1.2	1.6	1.6	3.9
60代	261	69.3	65.5	38.7	28.0	4.6	5.4	10.3	13.0	0.8	1.5	0.4	6.5
70代以上	215	61.9	61.4	31.2	17.2	4.7	6.0	8.4	9.8	0.5	2.3	3.7	14.4
無回答	33	51.5	51.5	18.2	15.2	6.1	0.0	12.1	9.1	6.1	0.0	3.0	15.2

■ 同居している子ども別 子どもたちが健やかに成長するために地域が担う役割(問 14×F10)

- ・子どもが小学生・中学生の場合は「子どもたちのマナーやモラルの育成」「挨拶や声かけなどの習慣づくり」が同率、それ以外は「子どもたちのマナーやモラルの育成」が最も多くなっている。
- ・子どもが乳幼児・未就学児では「習い事や遊び場の提供」の数値が他に比べて高い。

	合計	問14 子どもたちが健やかに成長するために地域が担う役割											
		子どもの育成	挨拶や声かけなどの習慣づくり	安全パトロール・見守り	の参加の機会づくり	ボランティアや地域活動へ	子どもの職業体験の機会づくり	復習などの学習支援	習い事や遊び場の提供	地域の歴史や伝統文化の伝	その他	わからない	特にな
全体	1529	65.8	59.7	35.4	25.6	9.7	5.8	18.8	9.9	1.1	2.3	1.4	5.3
F10 同居家族													
乳幼児・未就学児	174	66.7	66.1	44.8	27.6	13.8	6.3	32.8	6.9	1.1	0.6	0.0	1.1
小学生	217	65.9	65.9	41.9	28.1	14.7	7.8	26.7	10.1	2.3	0.5	0.0	2.3
中学生	153	62.1	62.1	37.3	31.4	15.0	9.8	23.5	7.8	1.3	2.6	0.0	3.3
高校生	128	62.5	59.4	35.2	25.0	14.1	6.3	18.0	10.2	2.3	2.3	0.0	7.8
専門学校生、大学生	157	72.0	59.2	38.9	30.6	8.3	8.3	19.7	12.1	1.9	1.3	0.6	1.9
上記にあてはまる家族はいない	836	65.6	58.5	33.4	24.0	6.9	4.4	14.4	10.6	0.7	2.8	2.2	6.6
無回答	75	61.3	48.0	29.3	25.3	10.7	8.0	18.7	5.3	1.3	2.7	2.7	13.3

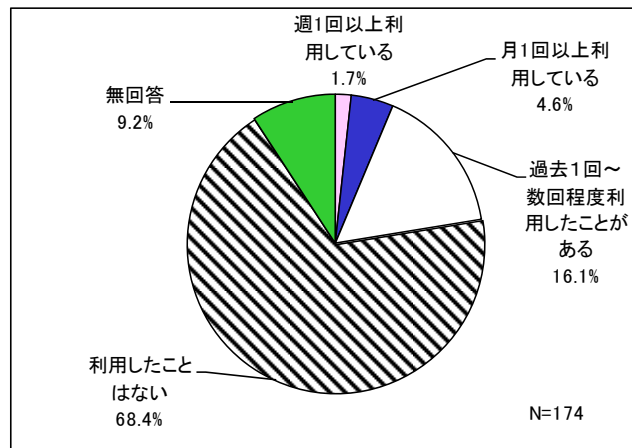
■ 居住地区別 子どもたちが健やかに成長するために地域が担う役割(問 14×F13)

- ・中里北部連合町内会、青葉台連合自治会では「挨拶や声かけなどの習慣づくり」、荏田、新荏田連合自治会では「挨拶や声かけなどの習慣づくり」「子どもたちのマナーやモラルの育成」が同率、それ以外の地区では「子どもたちのマナーやモラルの育成」が最も多くなっている。

	合計	問14 子どもたちが健やかに成長するために地域が担う役割											
		子どもの育成	挨拶や声かけなどの習慣づくり	安全パトロール・見守り	の参加の機会づくり	ボランティアや地域活動へ	子どもの職業体験の機会づくり	復習などの学習支援	習い事や遊び場の提供	地域の歴史や伝統文化の伝	その他	わからない	特にな
全体	1529	65.8	59.7	35.4	25.6	9.7	5.8	18.8	9.9	1.1	2.3	1.4	5.3
F13 居住地区(連合自治会別)													
中里連合自治会	73	65.8	63.0	34.2	19.2	6.8	9.6	15.1	11.0	2.7	1.4	2.7	2.7
中里北部連合町内会	69	59.4	60.9	31.9	30.4	8.7	1.4	17.4	7.2	1.4	0.0	1.4	10.1
市ヶ尾連合自治会	94	68.1	52.1	31.9	25.5	11.7	5.3	9.6	9.6	0.0	3.2	4.3	6.4
上谷本連合町内会	65	66.2	60.0	30.8	26.2	10.8	9.2	16.9	9.2	3.1	0.0	0.0	4.6
谷本連合自治会	118	71.2	63.6	37.3	28.8	8.5	5.1	16.9	8.5	0.0	1.7	0.8	5.1
恩田連合自治会	163	73.6	59.5	37.4	25.2	9.8	4.9	23.9	3.1	0.6	4.3	0.0	3.1
青葉台連合自治会	181	61.9	63.5	37.0	23.8	8.3	5.0	18.8	11.6	1.7	1.7	1.1	8.3
奈良町、奈良北団地連合自治会	107	68.2	58.9	42.1	26.2	11.2	6.5	22.4	11.2	0.9	0.9	0.0	3.7
山内連合自治会	221	66.1	60.6	36.7	22.6	8.6	7.2	17.2	13.6	1.8	1.8	1.8	3.6
荏田、新荏田連合自治会	224	62.9	62.9	36.2	25.0	11.2	4.5	24.6	11.2	0.9	3.1	0.4	3.1
すずき野連合自治会	79	68.4	54.4	29.1	34.2	12.7	6.3	16.5	12.7	0.0	2.5	1.3	5.1
美しが丘連合自治会	55	67.3	61.8	32.7	29.1	7.3	5.5	14.5	7.3	0.0	5.5	1.8	5.5
無回答	80	53.8	43.8	30.0	25.0	10.0	7.5	17.5	7.5	1.3	2.5	5.0	13.8

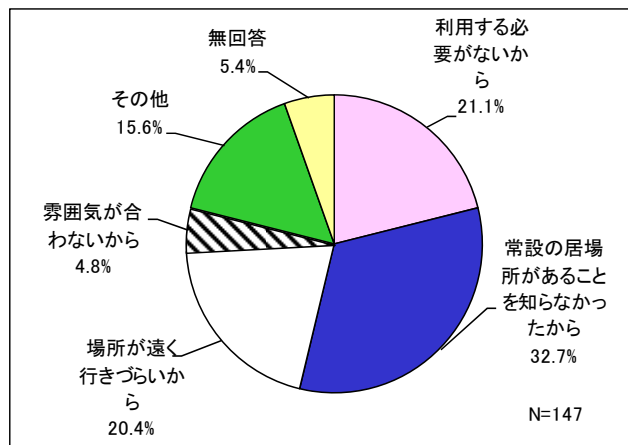
問 15 青葉区内には、常設の親子の居場所として「青葉区地域子育て支援拠点」が1か所（ラフル）と「親と子のつどいの広場」が3か所（ぴよぴよ・はっぴい・ぶーぶーしえすた）の計4か所設置されています。これら4か所の常設の居場所では、子どもが遊べる広場の開催を行っているほか、子育て相談や子育て関連情報の提供などを行っていますが、利用されたことはありますか。あなたの利用頻度について教えてください。（同居家族に未就学児がいる場合のみ、○は1つだけ）

- ・「利用したことはない」が68.4%で最も多く、7割近くに達している。「過去1回～数回程度利用したことがある」（16.1%）、「月1回以上利用している」（4.6%）、「週1回以上利用している」（1.7%）を合わせると22.4%で、利用率は2割強となっている。



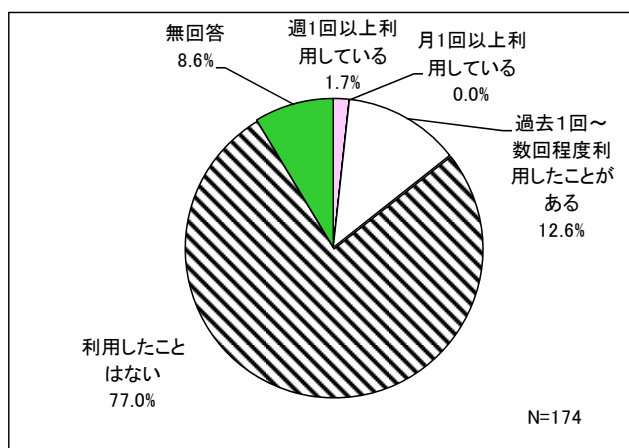
問 15-1 あなたが現在利用されていない理由は何ですか。（同居家族に未就学児がいる場合のみ、○は1つだけ）

- ・前項で「利用したことはない」と回答した人に利用しない理由を尋ねると、「常設の居場所があることを知らなかったから」が32.7%で最も多くなっている。次いで「利用する必要がないから」（21.1%）、「場所が遠く行きづらいから」（20.4%）が共に2割程度である。



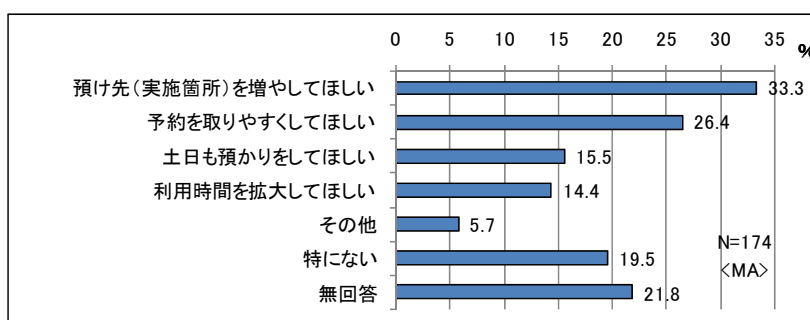
問 16 子ども（利用対象：未就学児）を一時的に預けることができる「一時保育」「一時預かり」についてお伺いします。青葉区内では、保育園で行う「一時保育」を認可保育園で20か所行っているほか、「一時預かり」を行う横浜市乳幼児一時預かり事業を行う事業者が2か所（市が尾・まーぶる、藤が丘・ピノキオ）ありますが、利用されたことはありますか。あなたの利用頻度について教えてください。（同居家族に未就学児がいる場合のみ、○は1つだけ）

- ・「利用したことはない」が77.0%で圧倒的に多く、全体の4分の3以上となっている。「過去1回～数回程度利用したことがある」（12.6%）、「週1回以上利用している」（1.7%）を合わせると14.4%で、利用率は15%に満たない。



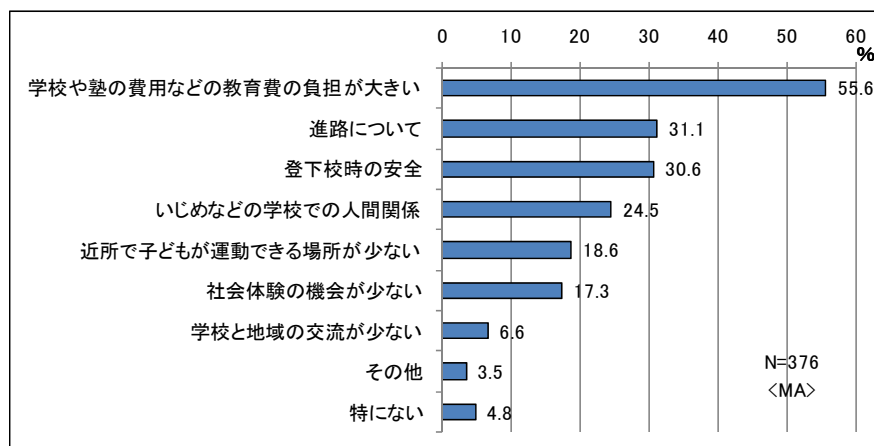
問 16-1 「一時預かり」における改善点がありますか。（同居家族に未就学児がいる場合のみ、○はいくつでも）

- ・最も多いのは「預け先（実施箇所）を増やしてほしい」の33.3%で、3割以上の人々が挙げている。次いで「予約を取りやすくしてほしい」（26.4%）となっている。「特にない」は19.5%である。



問 17 あなたが、子育てをしている中で不安、不満に思われていることは何ですか。(同居家族に小学生から高校生までの子供(回答者を除く)がいる場合のみ、〇はいくつでも)

- ・「学校や塾の費用などの教育費の負担が大きい」が最も多く 55.6%で突出しており、経済的負担を挙げる声が過半数を占める。次いで「進路について」(31.1%)、「登下校時の安全」(30.6%)を共に2割程度が挙げている。



■ 同居している子ども別 子育てで不安、不満に思うこと(問 17×F10)

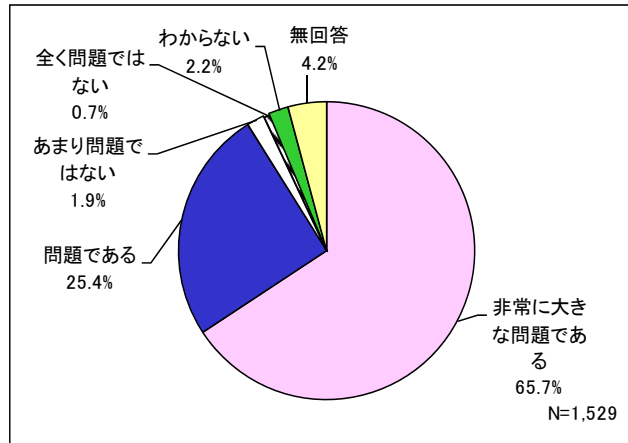
- ・いずれも「学校や塾の費用などの教育費の負担が大きい」が最も多い。また、子どもが乳幼児・未就学児では「登下校時の安全」の数値が他に比べて高い。

	合計	問17 子育てで不安、不満に思うこと									
		近所 で少 子 も が 運 動 で き る 場 所 が 少 な い	社 会 体 験 の 機 会 が 少 な い	学 校 と 地 域 の 交 流 が 少 な い	登 下 校 時 の 安 全	学 校 や 塾 の 費 用 な ど の 教 育 費 の 負 担 が 大 き い	進 路 に つ い て	い じ め な ど の 学 校 で の 人 間 関 係	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体	376	18.6	17.3	6.6	30.6	55.6	31.1	24.5	3.5	4.8	14.9
F10 同居家族											
乳幼児・未就学児	44	22.7	15.9	9.1	43.2	45.5	15.9	13.6	2.3	6.8	11.4
小学生	217	23.0	17.1	7.8	35.5	58.1	33.2	29.5	3.2	3.7	10.1
中学生	153	16.3	15.0	6.5	24.8	62.1	37.9	22.9	4.6	5.9	18.3
高校生	128	13.3	21.1	6.3	25.0	57.0	32.8	23.4	3.9	3.1	15.6
専門学校生、大学生	45	17.8	20.0	6.7	20.0	62.2	33.3	17.8	4.4	2.2	11.1
上記にあてはまる家族はいない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

6. 若者の就労について

問 18 就学をせず、就業・職業訓練をしていない若者（ニート）について、あなたはどのように思いますか。（〇はいくつでも）

- ・「非常に大きな問題である」が 65.7% で、6 割以上を占めている。「問題である」の 25.4% と合わせると 9 割強が問題であると考えており、「あまり問題ではない」（1.9%）、「全く問題ではない」（0.7%）と考えている人はごく僅かである。



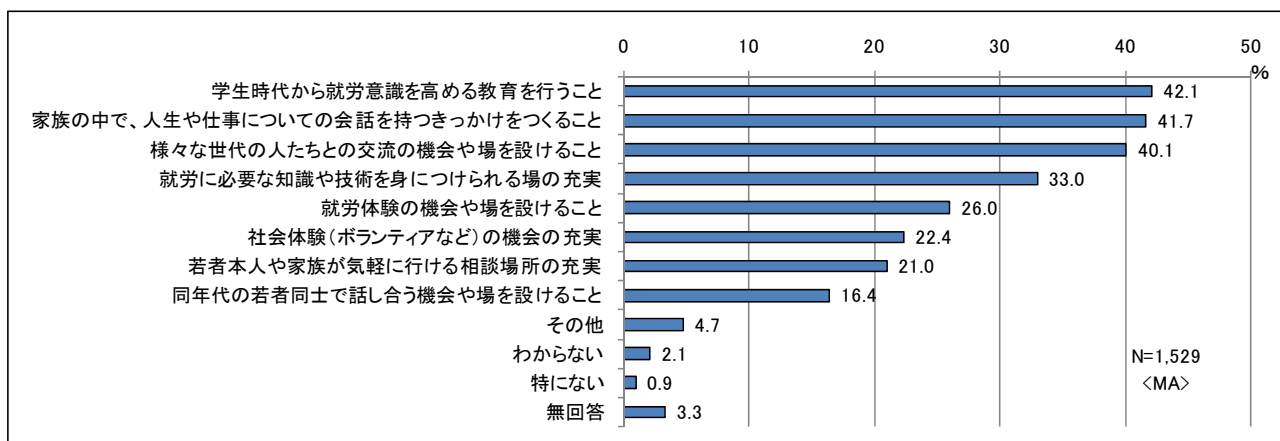
■ 年齢別 ニートについてどう思うか(問 18×F1)

- ・いずれも「非常に大きな問題である」が最も多くなっているが、10代20代では数値が低く「問題である」の数値が全体に比べて高くなっている。若い世代より高齢世代で問題を大きく捉えている傾向にある。

		合計	問18 ニートについてどう思うか					わからない	無回答
			非常に大きな問題である	問題である	あまり問題ではない	全く問題ではない			
全体		1529	65.7	25.4	1.9	0.7	2.2	4.2	
F1 年齢(統合1)	10代20代	175	45.1	44.6	4.0	1.1	3.4	1.7	
	30代	249	59.8	32.5	2.8	0.8	2.0	2.0	
	40代	340	68.5	26.8	1.5	0.9	2.1	0.3	
	50代	256	71.1	20.7	2.0	0.0	2.7	3.5	
	60代	261	73.6	17.6	0.8	0.8	1.9	5.4	
	70代以上	215	70.2	16.3	1.4	0.0	1.4	10.7	
	無回答	33	57.6	12.1	0.0	3.0	0.0	27.3	

問 19 あなたは、若者が学ぶことや働くことに、より積極的になるために、どのようなことが有効だと思いますか。(〇は3つまで)

- ・「学生時代から就労意識を高める教育を行うこと」(42.1%)、「家族の中で、人生や仕事についての会話を持つきっかけをつくること」(41.7%)、「様々な世代の人たちとの交流の機会や場を設けること」(40.1%)がいずれも4割強でほぼ並んでいる。



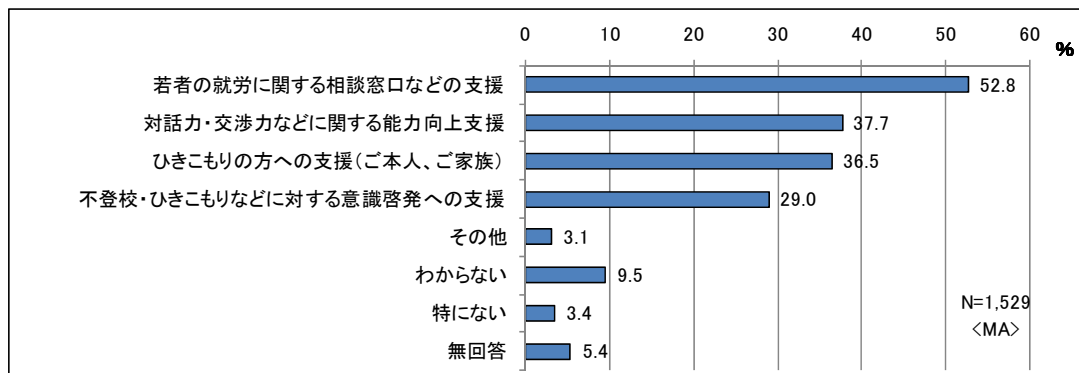
■ 年齢別 若者が学ぶことや働くことに積極的になるために有効なこと(問 19×F1)

- ・10代20代と40代、50代では「学生時代から就労意識を高める教育を行うこと」、30代、60代、70代以上では「家族の中で、人生や仕事についての会話を持つきっかけをつくること」が最も多くなっている。

	合計	問19 若者が学ぶことや働くことに積極的になるために有効なこと											
		家族の中で、人生や仕事についての会話を持つきっかけをつくること	同年代の若者同士で話し合う機会や場を設けること	流々の機会や場を設けること	様々な世代の人たちとの交流の機会や場を設けること	学生時代から就労意識を高める教育を行うこと	就労体験の機会や場を設けること	社会体験(ボランティアなど)の機会の充実	若者本人や家族が気軽に行ける相談場所の充実	就労に必要な知識や技術を身につけられる場の充実	その他	わからない	特にない
全体	1529	41.7	16.4	40.1	42.1	26.0	22.4	21.0	33.0	4.7	2.1	0.9	3.3
F1 年齢(統合1)													
10代20代	175	30.3	25.7	35.4	36.0	34.3	16.0	21.7	34.9	8.6	2.9	2.3	0.6
30代	249	43.0	13.7	41.0	41.4	29.3	15.7	18.5	38.6	6.8	2.4	1.2	2.8
40代	340	40.0	11.8	45.6	49.1	29.4	25.0	21.8	32.9	3.5	0.9	0.9	0.6
50代	256	43.4	14.8	39.5	45.3	24.2	23.0	21.1	30.9	7.0	1.6	0.8	2.7
60代	261	46.0	20.3	42.1	36.0	24.9	29.1	21.5	30.3	2.3	1.1	0.0	4.2
70代以上	215	46.0	15.3	33.5	42.3	15.8	22.8	19.5	31.6	1.4	5.1	0.9	7.9
無回答	33	33.3	24.2	33.3	30.3	12.1	18.2	33.3	27.3	3.0	0.0	0.0	15.2

問 20 青葉区では若者キャリア相談や対話力・交渉力養成講座など青少年の自立支援のための事業を行っていますが、あなたは、今後、どのような点を重視していきべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

- ・「若者の就労に関する相談窓口などの支援」が 52.8%で最も多く、半数強の人が挙げている。以下「対話力・交渉力などに関する能力向上支援」(37.7%)、「ひきこもりの方への支援(ご本人、ご家族)」(36.5%)が4割弱となっている。



■ 年齢別 青少年の自立支援のための事業で重視すべき点(問 20×F1)

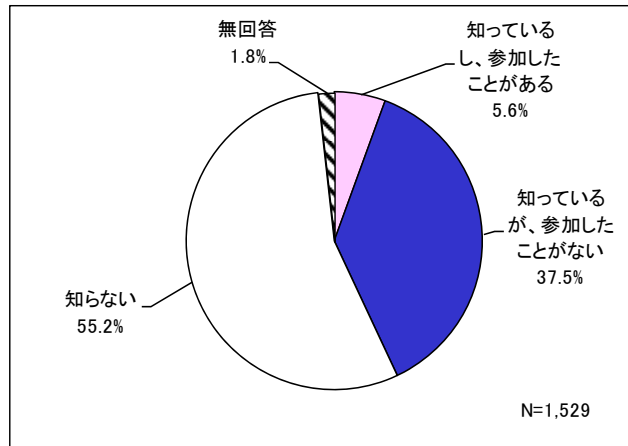
- ・いずれの世代も「若者の就労に関する相談窓口などの支援」が最も多い。また、10代 20代では「対話力・交渉力などに関する能力向上支援」の数値が他に比べて高くなっている。

	合計	問20 青少年の自立支援のための事業で重視すべき点								
		若者の就労に関する相談窓口などの支援	対話力・交渉力などに関する能力向上支援	ひきこもりの方への支援(ご本人、ご家族)	不登校・ひきこもりなどに対する意識啓発への支援	その他	わからない	特になし	無回答	
全体	1529	52.8	37.7	36.5	29.0	3.1	9.5	3.4	5.4	
F1 年齢(統合1)	10代20代	49.7	48.0	28.0	24.0	4.6	9.7	4.0	1.1	
	30代	45.8	33.7	36.1	23.3	4.4	11.6	4.4	3.6	
	40代	340	50.6	40.9	38.5	29.4	4.1	8.8	2.9	2.4
	50代	256	60.2	34.4	43.0	28.1	2.3	9.4	3.9	2.3
	60代	261	56.7	37.2	42.1	37.5	1.1	8.0	2.3	7.3
	70代以上	215	52.6	35.3	28.8	31.2	1.9	10.7	3.7	14.0
	無回答	33	57.6	24.2	18.2	18.2	3.0	3.0	0.0	24.2

7. 介護予防について

問 21 あなたは、区役所や地域ケアプラザ（包括支援センター）が、介護予防（寝たきりを予防し、いつまでも元気でいるための健康づくり）の講座やプログラムを開催していることを知っていますか。（○は1つだけ）

- ・「知らない」が 55.2%で最も多く、過半数を占める。次いで「知っているが、参加したことがない」が 37.5%、「知っているし、参加したことがある」は 5.6%で、これらを合わせると認知度は4割に達しているが、参加率は低くなっている。



■ 年齢別 介護予防の講座やプログラムの認知度(問 21×F1)

- ・50代までの世代では「知らない」、60代、80代以上では「知っているが、参加したことがない」が最も多く、60代を境に傾向が分かれた。70代以上では「知っているし、参加したことがある」の数値が区全体の数値に比べて高くなっている。

	合計	問21 介護予防の講座やプログラムの認知度			
		知っているし、参加したことがある	知っているが、参加したことがない	知らない	無回答
全体	1529	5.6	37.5	55.2	1.8
F11 年齢(統合1)					
10代20代	175	2.3	14.3	82.9	0.6
30代	249	1.2	32.1	65.5	1.2
40代	340	1.8	35.0	62.4	0.9
50代	256	3.5	46.9	48.0	1.6
60代	261	8.4	46.4	42.1	3.1
70代以上	215	17.7	45.6	34.4	2.3
無回答	33	9.1	30.3	51.5	9.1

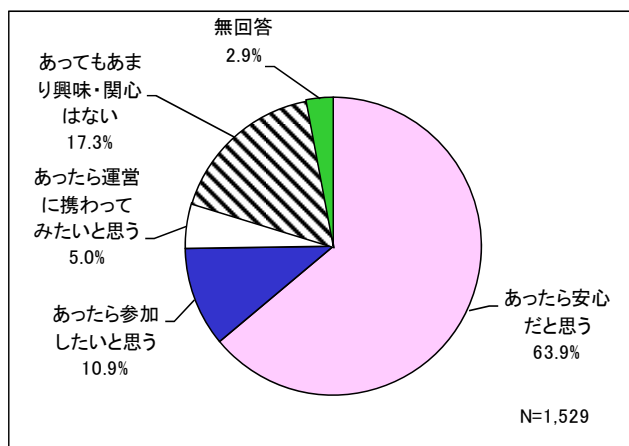
■ 65歳以上の家族の有無別 介護予防の講座やプログラムの認知度(問 21×F11)

- ・同居家族に65歳以上がいる場合は「知っているが、参加したことがない」が最も多く、それ以外は「知らない」が多くなっている。

	合計	問21 介護予防の講座やプログラムの認知度			
		知っているし、参加したことがある	知っているが、参加したことがない	知らない	無回答
全体	1529	5.6	37.5	55.2	1.8
F11 区内に65歳以上の家族はいますか					
同居している	497	11.7	45.9	40.0	2.4
別居だが区内にいる	119	0.8	43.7	53.8	1.7
いない	861	2.7	32.2	63.8	1.4
無回答	52	5.8	30.8	61.5	1.9

問 22 あなたのお住まいの近くに、地域の方が運営する、健康づくり・介護予防・仲間づくりを進めるための高齢者向けのグループがあったらどう思いますか。(〇は1つだけ)

- ・「あったら安心だと思う」が63.9%と、6割以上に達している。「あったら参加したいと思う」(10.9%)、「あったら運営に携わってみたいと思う」(5.0%)を合わせると79.7%で、肯定的な意見が8割近くにのぼる。



■ 年齢別 近くに高齢者向けのグループがあったらどう思うか(問22×F1)

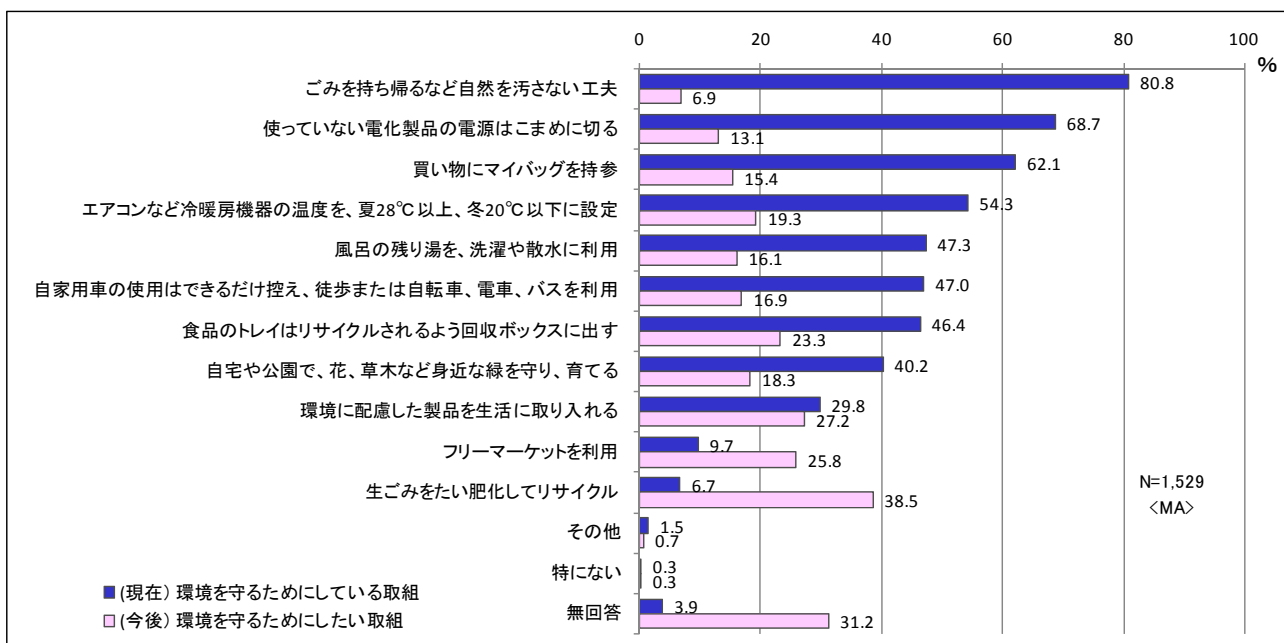
- ・いずれの世代も「あったら安心だと思う」が最も多く、40代までの若い世代では7割を超えている。また60代、70代以上の高齢者世代では「あったら参加したいと思う」の数値が2割を超え、50代以下に比べて高くなっている。

	合計	問22 近くに高齢者向けのグループがあったらどう思うか				
		あったら安心だと思う	あったら参加したいと思う	あったら運営に携わってみたいと思う	あってもあまり興味・関心はない	無回答
全体	1529	63.9	10.9	5.0	17.3	2.9
F1 年齢(統合1)						
10代20代	175	72.0	2.9	1.1	23.4	0.6
30代	249	72.7	4.4	4.0	17.7	1.2
40代	340	73.2	4.1	4.4	16.5	1.8
50代	256	65.2	9.4	7.0	15.6	2.7
60代	261	51.0	21.8	6.9	16.1	4.2
70代以上	215	47.0	23.3	6.0	18.1	5.6
無回答	33	60.6	15.2	0.0	9.1	15.2

8. 環境について

問 23 あなたは、現在、環境を守るための取り組みをしていますか。また、今後取り組みたいことは何ですか。（「現在取り組んでいる」「今後取り組みたい」それぞれに○はいくつでも）

- ・ 現在取り組んでいることとしては「ごみを持ち帰るなど自然を汚さない工夫」が最も多く 80.8%で、全体の8割以上の人に取り組んでいるとしている。次いで「使っていない電化製品の電源はこまめに切る」が 68.7%で7割弱、以下「買い物にマイバッグを持参」（62.1%）、「エアコンなど冷暖房機器の温度を、夏 28℃以上、冬 20℃以下に設定」（54.3%）については半数以上の人に取り組んでいるとしている。
- ・ 一方、今後取り組みたいこととしては「生ごみをたい肥化してリサイクル」が 38.5%で最も多くなっている。以下「環境に配慮した製品を生活に取り入れる」（27.2%）、「フリーマーケットを利用」（25.8%）、「食品のトレイはリサイクルされるよう回収ボックスに出す」（23.3%）を4分の1前後の人が挙げており、現在の取り組み状況において下位にあるものが上位に上がってきている。

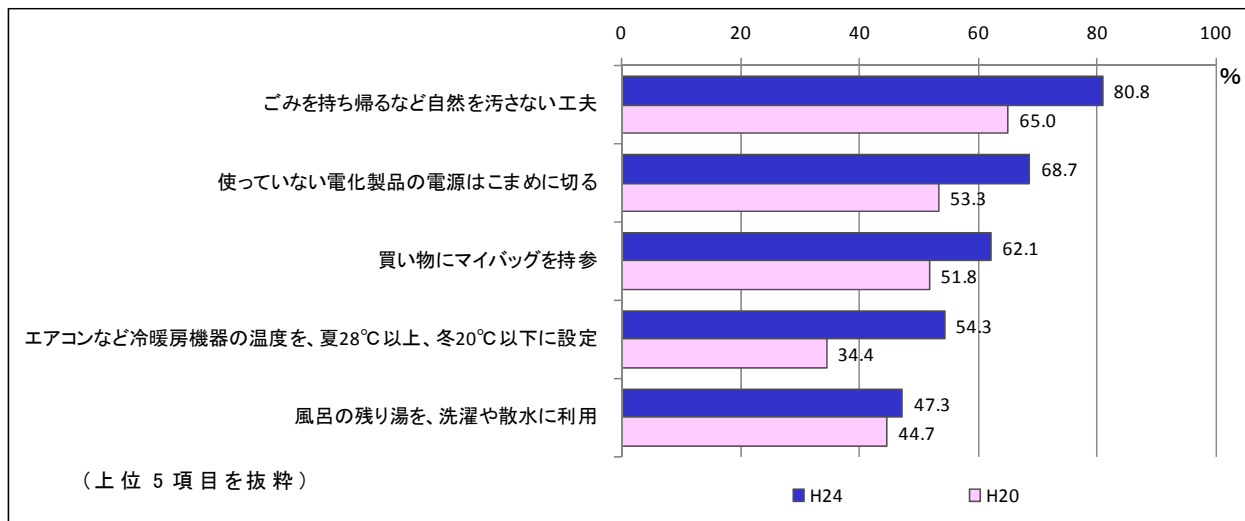


(現在) 環境を守るためにしている取組	
ごみを持ち帰るなど自然を汚さない工夫	80.8
使っていない電化製品の電源はこまめに切る	68.7
買い物にマイバッグを持参	62.1
エアコンなど冷暖房機器の温度を、夏28℃以上、冬20℃以下に設定	54.3
風呂の残り湯を、洗濯や散水に利用	47.3
自家用車の使用はできるだけ控え、徒歩または自転車、電車、バスを利用	47.0
食品のトレイはリサイクルされるよう回収ボックスに出す	46.4
自宅や公園で、花、草木など身近な緑を守り、育てる	40.2
環境に配慮した製品を生活に取り入れる	29.8
フリーマーケットを利用	9.7
生ごみをたい肥化してリサイクル	6.7

(今後) 環境を守るためにしたい取組	
生ごみをたい肥化してリサイクル	38.5
環境に配慮した製品を生活に取り入れる	27.2
フリーマーケットを利用	25.8
食品のトレイはリサイクルされるよう回収ボックスに出す	23.3
エアコンなど冷暖房機器の温度を、夏28℃以上、冬20℃以下に設定	19.3
自宅や公園で、花、草木など身近な緑を守り、育てる	18.3
自家用車の使用はできるだけ控え、徒歩または自転車、電車、バスを利用	16.9
風呂の残り湯を、洗濯や散水に利用	16.1
買い物にマイバッグを持参	15.4
使っていない電化製品の電源はこまめに切る	13.1
ごみを持ち帰るなど自然を汚さない工夫	6.9

- ・なお、上位5項目について平成20年度調査と比較すると、いずれも平成20年度の数値を上回っており、特に「エアコンなど冷暖房機器の温度を、夏28℃以上、冬20℃以下に設定」では19.9ポイント大きく増加し、「ゴミを持ち帰るなど自然を汚さない工夫」でも15.8ポイント増加して8割に達しているなど、環境に対する意識の向上が伺える。

＜参考 平成20年度調査結果との比較＞



■ 年齢別 現在環境を守るためにしている取組(問 23×F1)

- ・いずれの世代も「ごみを持ち帰るなど自然を汚さない工夫」が最も多くなっている。
- ・40代では「風呂の残り湯を、洗濯や散水に利用」、60代では「自宅や公園で、花、草木など身近な緑を守り、育てる」の数値が区全体値に比べて高い。

	合計	問23(現在) 環境を守るためにしている取組																
		汚さない工夫	イクル	生ごみ	食品のトレイ	買い物	環境に配慮	フリー	車控	自家	エ	源はこま	使っ	水に利	ど身	自	そ	特
全体	1529	80.8	6.7	46.4	62.1	29.8	9.7	47.0	54.3	68.7	47.3	40.2	1.5	0.3	3.9			
F1 年齢(統																		
合1)																		
10代20代	175	83.4	7.4	36.0	53.7	28.6	9.7	49.1	48.6	65.7	44.0	29.1	1.7	1.1	4.6			
30代	249	79.1	3.2	36.5	63.5	28.5	10.8	41.0	51.0	74.7	48.2	33.7	3.2	0.0	1.2			
40代	340	83.5	3.8	47.1	67.4	30.3	11.2	47.9	60.3	71.8	57.6	43.2	1.8	0.0	1.5			
50代	256	84.8	4.3	49.2	66.8	34.0	8.6	45.3	55.1	69.5	48.0	36.7	0.4	0.4	2.7			
60代	261	82.4	9.2	53.3	63.2	29.9	12.3	44.4	55.9	66.3	42.5	55.6	1.5	0.0	3.8			
70代以上	215	71.6	15.3	53.5	54.0	27.9	5.6	54.0	50.7	60.5	38.6	37.2	0.5	0.9	10.2			
無回答	33	69.7	3.0	45.5	51.5	18.2	3.0	57.6	51.5	72.7	39.4	42.4	0.0	0.0	12.1			

■ 居住地区別 現在環境を守るためにしている取組(問 23×F13)

- ・谷本連合自治会では「使っていない電化製品の電源はこまめに切る」、それ以外では「ごみを持ち帰るなど自然を汚さない工夫」が最も多くなっている。
- ・中里連合自治会では「自宅や公園で、花、草木など身近な緑を守り、育てる」、上谷本連合町内会では「環境に配慮した製品を生活に取り入れる」の数値が区全体値に比べて高い。

	合計	問23(現在) 環境を守るためにしている取組																
		汚さない工夫	イクル	生ごみ	食品のトレイ	買い物	環境に配慮	フリー	車控	自家	エ	源はこま	使っ	水に利	ど身	自	そ	特
全体	1529	80.8	6.7	46.4	62.1	29.8	9.7	47.0	54.3	68.7	47.3	40.2	1.5	0.3	3.9			
F13 居住地区																		
(連合自治会																		
別)																		
中里連合自治会	73	93.2	13.7	49.3	68.5	23.3	13.7	41.1	63.0	68.5	45.2	53.4	1.4	0.0	1.4			
中里北部連合町内会	69	88.4	5.8	50.7	52.2	21.7	13.0	49.3	52.2	62.3	46.4	39.1	0.0	0.0	4.3			
市ヶ尾連合自治会	94	73.4	10.6	45.7	68.1	29.8	12.8	48.9	59.6	70.2	45.7	41.5	5.3	1.1	3.2			
上谷本連合町内会	65	83.1	10.8	44.6	58.5	40.0	15.4	47.7	50.8	66.2	46.2	44.6	1.5	1.5	3.1			
谷本連合自治会	118	69.5	7.6	43.2	61.9	25.4	8.5	48.3	49.2	72.0	44.9	39.0	2.5	0.8	3.4			
恩田連合自治会	163	84.0	4.9	48.5	63.2	33.7	5.5	42.3	55.2	69.3	52.1	49.1	0.6	0.0	4.3			
青葉台連合自治会	181	81.8	7.7	48.1	61.3	32.0	10.5	54.7	55.8	70.7	50.8	35.4	1.7	1.1	3.3			
奈良町、奈良北団地連合自治会	107	77.6	8.4	46.7	46.7	26.2	9.3	36.4	57.0	61.7	57.0	38.3	0.0	0.0	3.7			
山内連合自治会	221	76.9	3.6	42.1	63.3	26.2	9.0	44.3	51.6	72.9	44.8	37.1	0.5	0.0	4.5			
窪田、新窪田連合自治会	224	85.3	5.4	46.9	65.6	33.0	6.3	46.9	50.9	69.2	46.4	39.3	0.9	0.0	3.1			
すずき野連合自治会	79	82.3	10.1	53.2	67.1	26.6	13.9	49.4	57.0	63.3	44.3	36.7	2.5	0.0	2.5			
美しが丘連合自治会	55	89.1	5.5	43.6	69.1	38.2	9.1	54.5	56.4	67.3	49.1	43.6	5.5	0.0	0.0			
無回答	80	73.8	1.3	43.8	58.8	30.0	12.5	51.3	56.3	66.3	36.3	33.8	1.3	0.0	12.5			

■ 年齢別 今後環境を守るためにしたい取組(問 23×F1)

- ・いずれの世代も「生ごみをたい肥化してリサイクル」が最も多くなっている。
- ・10代20代では「フリーマーケットを利用」、30代では「食品のトレイはリサイクルされるよう回収ボックスに出す」の数値が区全体値に比べて高い。

	合計	問23(今後) 環境を守るためにしたい取組																			
		汚さない工夫	イクル	生ごみをたい肥化してリサ	れるよう回収ボックスに出す	食品のトレイはリサイクルさ	買い物にマイバッグを持参	環境に配慮した製品を生活	フリーマーケットを利用	車控え	20度以下に設定	エアコンなど冷暖房機器の温	源はこまめに切る	使っていない電化製品の電	水に利用	風呂の残り湯を、洗濯や散	ど身近な緑を守り、育てる	自宅や公園で、花、草木な	その他	特にな	無回答
全体	1529	6.9	38.5	23.3	15.4	27.2	25.8	16.9	19.3	13.1	16.1	18.3	0.7	0.3	31.2						
F1 年齢(統 合1)	10代20代	175	6.9	48.0	30.3	24.0	34.9	38.3	15.4	24.6	16.0	20.0	27.4	1.1	1.1	20.6					
	30代	249	7.6	49.8	34.1	20.5	31.7	34.5	18.1	23.3	10.8	20.9	26.5	2.4	0.4	22.9					
	40代	340	9.1	41.8	25.0	12.6	30.0	25.9	18.8	16.5	11.2	12.1	18.2	0.6	0.3	25.9					
	50代	256	6.3	34.4	22.7	14.1	23.8	22.3	16.8	20.3	14.5	15.2	16.4	0.0	0.4	32.0					
	60代	261	5.4	38.7	16.1	12.6	26.4	21.5	20.7	17.6	15.7	17.6	13.8	0.0	0.0	34.1					
	70代以上	215	5.1	19.1	13.0	11.6	18.1	16.3	11.6	17.2	12.1	14.0	11.2	0.0	0.0	50.2					
	無回答	33	6.1	27.3	15.2	15.2	18.2	3.0	9.1	9.1	9.1	6.1	3.0	0.0	0.0	51.5					

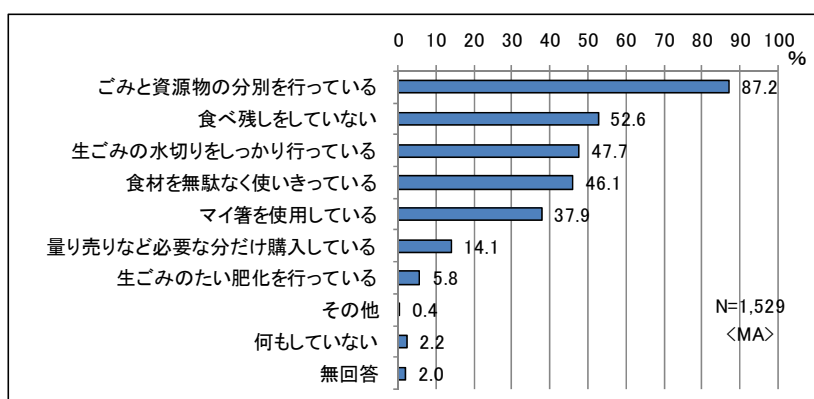
■ 居住地区別 今後環境を守るためにしたい取組(問 23×F13)

- ・いずれの地区も「生ごみをたい肥化してリサイクル」が最も多くなっている。
- ・中里連合自治会では「環境に配慮した製品を生活に取り入れる」「自家用車の使用はできるだけ控え、徒歩または自転車、電車、バスを利用」、中里北部連合町内会では「自宅や公園で、花、草木など身近な緑を守り、育てる」の数値が区全体値に比べて高い。

	合計	問23(今後) 環境を守るためにしたい取組																			
		汚さない工夫	イクル	生ごみをたい肥化してリサ	れるよう回収ボックスに出す	食品のトレイはリサイクルさ	買い物にマイバッグを持参	環境に配慮した製品を生活	フリーマーケットを利用	車控え	20度以下に設定	エアコンなど冷暖房機器の温	源はこまめに切る	使っていない電化製品の電	水に利用	風呂の残り湯を、洗濯や散	ど身近な緑を守り、育てる	自宅や公園で、花、草木な	その他	特にな	無回答
全体	1529	6.9	38.5	23.3	15.4	27.2	25.8	16.9	19.3	13.1	16.1	18.3	0.7	0.3	31.2						
F13 居住地区 (連合自治会 別)	中里連合自治会	73	8.2	49.3	23.3	13.7	38.4	27.4	28.8	19.2	21.9	24.7	16.4	0.0	0.0	24.7					
	中里北部連合町内会	69	2.9	34.8	21.7	15.9	31.9	20.3	20.3	21.7	20.3	14.5	31.9	4.3	1.4	23.2					
	市ヶ尾連合自治会	94	12.8	31.9	25.5	17.0	21.3	23.4	19.1	17.0	16.0	17.0	20.2	2.1	1.1	28.7					
	上谷本連合町内会	65	6.2	38.5	18.5	15.4	20.0	18.5	12.3	21.5	10.8	13.8	9.2	0.0	0.0	29.2					
	谷本連合自治会	118	12.7	35.6	26.3	13.6	33.1	22.9	12.7	26.3	10.2	16.9	20.3	0.0	1.7	28.8					
	恩田連合自治会	163	6.1	43.6	27.6	13.5	27.6	31.9	19.0	16.0	14.7	17.8	14.1	1.2	0.0	31.3					
	青葉台連合自治会	181	7.2	43.1	24.3	16.0	28.2	30.4	15.5	22.1	12.2	16.0	21.0	1.1	0.0	26.5					
	奈良町、奈良北団地連合自治会	107	8.4	32.7	27.1	24.3	30.8	25.2	20.6	16.8	15.9	12.1	20.6	0.0	0.0	32.7					
	山内連合自治会	221	5.0	38.5	20.8	15.4	29.9	24.4	17.6	21.7	10.4	14.5	17.2	0.5	0.0	34.8					
	荏田、新荏田連合自治会	224	5.8	40.6	22.8	17.0	23.7	29.5	17.0	17.9	12.5	16.5	19.2	0.0	0.0	32.6					
	すすき野連合自治会	79	6.3	35.4	19.0	10.1	27.8	24.1	20.3	15.2	10.1	19.0	21.5	1.3	0.0	35.4					
	美しが丘連合自治会	55	3.6	32.7	23.6	16.4	20.0	18.2	9.1	12.7	12.7	10.9	12.7	0.0	1.8	32.7					
	無回答	80	3.8	32.5	17.5	7.5	16.3	21.3	5.0	17.5	8.8	15.0	11.3	0.0	0.0	41.3					

問 24 青葉区の今年の3R夢（スリム）プランでは、アクションの年として、燃やすごみの削減に重点を置いて取り組んでいます。あなたが現在、燃やすごみを削減するためにやっているものがありましたら教えてください。（〇はいくつでも）

- ・「ごみと資源物の分別を行っている」が87.2%で突出して多く、9割近くの人が挙げている。次いで「食べ残しをしていない」（52.6%）、「生ごみの水切りをしっかりとやっている」（47.7%）、「食材を無駄なく使いきっている」（46.1%）を5割前後の人が挙げている。



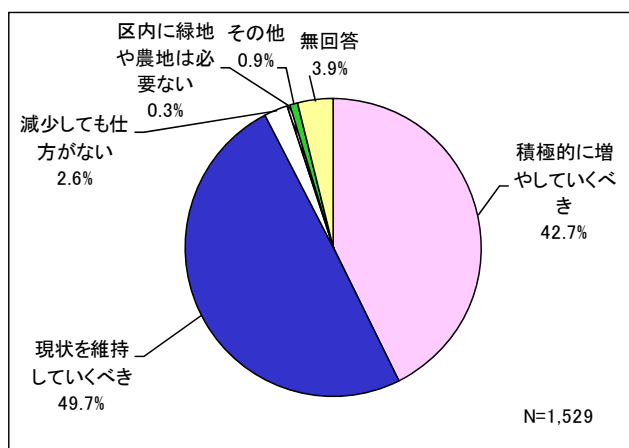
■ 年齢別 燃やすごみを削減するためにやっていること（問24×F1）

- ・いずれの世代も「ごみと資源物の分別を行っている」が最も多く、40代と60代では9割を超えている。
- ・60代、70代以上の高齢者世代では「生ごみの水切りをしっかりとやっている」の数値が区全体値に比べて高い。また世代を問わず「何もしていない」の数値は低くなっている。

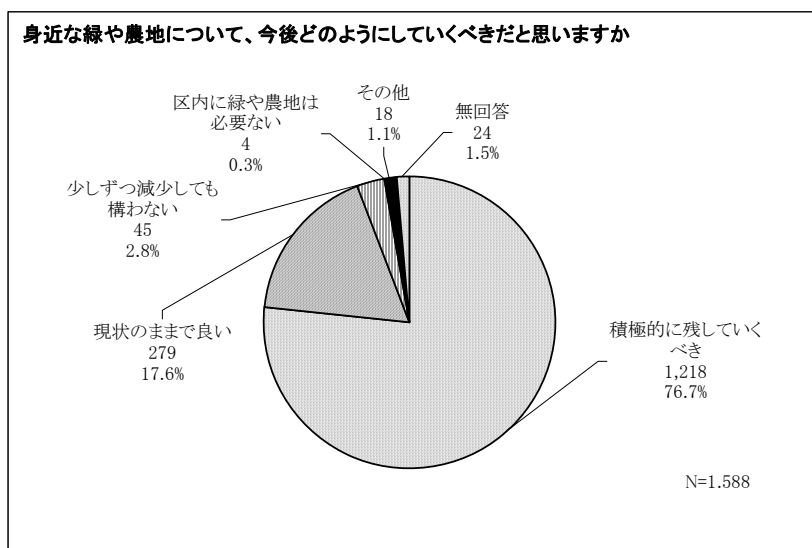
	合計	問24 燃やすごみを削減するためにやっていること										
		ごみと資源物の分別を行っている	生ごみの水切りをしっかりとやっている	食材を無駄なく使いきっている	食べ残しをしていない	量り売りなど必要な分だけ購入している	生ごみのたい肥化を行っている	マイ箸を使用している	コンビニ等で箸やプラスチック等を使用している	その他	何もしていない	無回答
全体	1529	87.2	47.7	46.1	52.6	14.1	5.8	37.9	0.4	2.2	2.0	
F1 年齢（統合1）	10代20代	175	72.0	20.0	32.6	55.4	8.0	4.0	24.6	0.0	6.9	1.1
	30代	249	86.7	37.3	44.2	46.2	15.3	2.0	41.0	0.4	1.6	1.2
	40代	340	90.6	46.2	44.4	52.4	14.1	3.5	40.9	0.9	1.2	0.9
	50代	256	89.1	53.1	50.8	53.5	19.1	4.3	39.8	0.0	2.0	1.6
	60代	261	90.8	64.0	49.0	51.7	12.6	8.0	35.2	0.0	2.7	3.1
	70代以上	215	88.4	58.6	54.4	59.5	14.9	14.4	40.5	0.9	0.5	3.7
	無回答	33	84.8	48.5	36.4	45.5	3.0	3.0	42.4	0.0	3.0	6.1

問 25 あなたは、区内の緑地や農地などの保全について、どのように考えますか。(〇は1つだけ)

- ・「現状を維持していくべき」が49.7%で約半数、「積極的に増やしていくべき」も42.7%と4割以上を占めており、これらを合わせると9割以上の方が緑地や農地の保全に前向きな意見を持っている。「減少しても仕方がない」(2.6%)、「区内に緑地や農地は必要ない」(0.3%)はいずれも僅かな数値に留まっている。
- ・なお平成19年度調査と比較すると、9割以上の方が緑地・農地保全に前向きであることに変化はなく、「積極的に残していくべき」は34ポイント減少しているが、「現状のままでよい」が32ポイント増加している。



<参考 平成19年度調査結果との比較>



■ 年齢別 区内の緑地や農地などの保全をどう考えるか(問 25×F1)

- ・10代20代では「積極的に増やしていくべき」が最も多く、若い世代ほど数値が高い。30代以上の世代では「現状を維持していくべき」が最も多くなっている。

		合計	問25 区内の緑地や農地などの保全をどう考えるか					無回答
			積極的に増やしていくべき	現状を維持していくべき	減少しても仕方がない	区内に緑地や農地は必要ない	その他	
全体		1529	42.7	49.7	2.6	0.3	0.9	3.9
F1 年齢(統合1)	10代20代	175	52.6	41.1	2.9	1.1	0.0	2.3
	30代	249	46.6	48.6	2.4	0.0	0.4	2.0
	40代	340	46.5	48.2	2.1	0.3	1.2	1.8
	50代	256	37.1	54.3	3.1	0.0	1.2	4.3
	60代	261	40.2	52.9	2.7	0.0	0.8	3.4
	70代以上	215	33.5	53.5	2.3	0.9	1.4	8.4
	無回答	33	45.5	33.3	3.0	0.0	0.0	18.2

■ 男女別 区内の緑地や農地などの保全をどう考えるか(問 25×F2)

- ・男性は「積極的に増やしていくべき」、女性は「現状を維持していくべき」が最も多く、男女で傾向が分かれた。

		合計	問25 区内の緑地や農地などの保全をどう考えるか					無回答
			積極的に増やしていくべき	現状を維持していくべき	減少しても仕方がない	区内に緑地や農地は必要ない	その他	
全体		1529	42.7	49.7	2.6	0.3	0.9	3.9
F2 性別	男性	606	48.5	43.6	3.3	0.5	0.8	3.3
	女性	846	38.3	55.0	2.1	0.1	0.8	3.7
	無回答	77	45.5	40.3	1.3	1.3	1.3	10.4

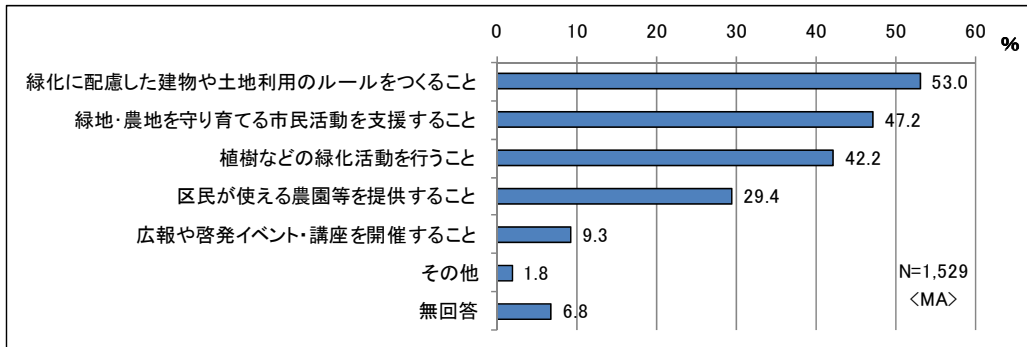
■ 居住地区別 区内の緑地や農地などの保全をどう考えるか(問 25×F13)

- ・山内連合自治会、荏田、新荏田連合自治会では「積極的に増やしていくべき」が最も多く、上谷本連合町内会では「積極的に増やしていくべき」「現状を維持していくべき」が同率、それ以外は「現状を維持していくべき」が最も多くなっている。

		合計	問25 区内の緑地や農地などの保全をどう考えるか					無回答
			積極的に増やしていくべき	現状を維持していくべき	減少しても仕方がない	区内に緑地や農地は必要ない	その他	
全体		1529	42.7	49.7	2.6	0.3	0.9	3.9
F13 居住地区(連合自治会別)	中里連合自治会	73	41.1	56.2	2.7	0.0	0.0	0.0
	中里北部連合町内会	69	37.7	49.3	8.7	1.4	0.0	2.9
	市ヶ尾連合自治会	94	37.2	51.1	4.3	0.0	1.1	6.4
	上谷本連合町内会	65	46.2	46.2	0.0	0.0	3.1	4.6
	谷本連合自治会	118	41.5	49.2	3.4	1.7	0.0	4.2
	恩田連合自治会	163	35.0	58.9	0.6	0.0	1.2	4.3
	青葉台連合自治会	181	44.2	50.3	1.1	0.0	1.1	3.3
	奈良町、奈良北団地連合自治会	107	40.2	52.3	1.9	0.0	0.9	4.7
	山内連合自治会	221	49.3	44.3	1.4	0.5	0.9	3.6
	荏田、新荏田連合自治会	224	47.3	45.5	4.0	0.4	0.4	2.2
	すずき野連合自治会	79	39.2	54.4	3.8	0.0	1.3	1.3
	美しが丘連合自治会	55	43.6	52.7	0.0	0.0	0.0	3.6
	無回答	80	41.3	42.5	3.8	0.0	1.3	11.3

問 26 あなたは、緑地・農地の保全などのために、行政は何に力を入れるべきだと思いますか。（○は3つまで）

- ・「緑化に配慮した建物や土地利用のルールをつくること」が最も多く 53.0%である。次いで「緑地・農地を守り育てる市民活動を支援すること」（47.2%）、「植樹などの緑化活動を行うこと」（42.2%）となっている。



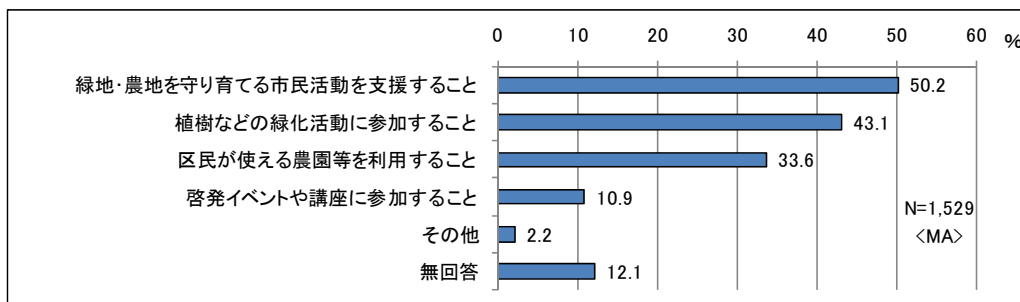
■ 年齢別 緑地・農地保全に関する行政の役割(問 26×F1)

- ・10代20代では「植樹などの緑化活動を行うこと」、30代から50代までの世代では「緑化に配慮した建物や土地利用のルールをつくること」、60代、70代以上では「緑地・農地を守り育てる市民活動を支援すること」が最も多く、世代で回答が分かれた。

	合計	問26 緑地・農地保全に関する行政の役割						
		民 活 動 ・ 農 地 を 支 援 す る 市 民 活 動 を 支 援 す る こ と	を 開 催 す る こ と	広 報 や 啓 発 イ ベ ン ト ・ 講 座	区 民 が 使 え る 農 園 等 を 提 供 す る こ と	植 樹 な ど の 緑 化 活 動 を 行 う こ と	利 用 に 配 慮 し た 建 物 や 土 地 の ル ー ル を つ く る こ と	そ の 他
全体	1529	47.2	9.3	29.4	42.2	53.0	1.8	6.8
F1 年齢(統 合1)								
10代20代	175	41.7	9.7	23.4	51.4	45.7	1.7	2.9
30代	249	45.8	8.0	32.1	48.6	51.0	2.0	1.6
40代	340	44.4	10.9	31.8	38.2	55.9	1.8	5.0
50代	256	45.3	5.5	27.0	43.4	58.2	1.2	7.0
60代	261	55.6	12.6	30.7	41.0	54.0	2.3	6.1
70代以上	215	52.1	7.9	31.2	36.3	51.2	2.3	15.8
無回答	33	30.3	12.1	15.2	24.2	42.4	0.0	30.3

問 27 あなたは、緑地・農地の保全などのために、区民は何に力を入れるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

- ・「緑地・農地を守り育てる市民活動を支援すること」が 50.2%と、約半数の人が挙げている。次いで「植樹などの緑化活動に参加すること」(43.1%)が4割強である。



■ 年齢別 緑地・農地保全に関する区民の役割(問 27×F1)

- ・10代20代では「植樹などの緑化活動に参加すること」が最も多く、前項と合わせてみると若い世代では緑化活動に関心が深い傾向がうかがえる。30代以上の世代では「緑地・農地を守り育てる市民活動を支援すること」が最も多くなっている。

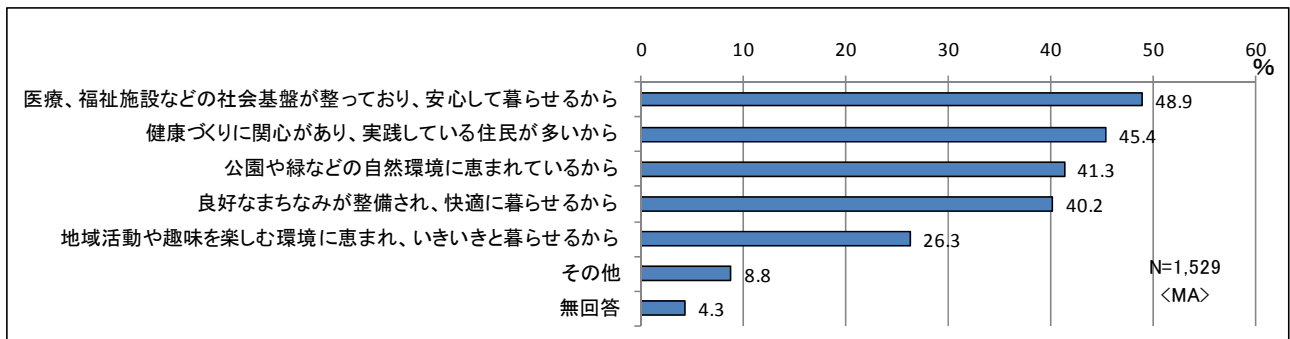
	合計	問27 緑地・農地保全に関する区民の役割						
		植樹などの緑化活動に参加	啓発イベントや講座に参加	緑地・農地を支援する市	区民が使える農園等を利用	その他	無回答	
全体	1529	43.1	10.9	50.2	33.6	2.2	12.1	
F1 年齢(統合1)	10代20代	175	48.6	12.6	44.0	34.3	1.7	6.3
	30代	249	45.0	10.0	47.0	35.7	3.2	7.6
	40代	340	40.9	10.9	47.1	32.4	2.6	12.4
	50代	256	39.5	9.8	53.1	28.9	2.0	12.9
	60代	261	47.1	11.9	57.1	36.0	1.1	10.3
	70代以上	215	39.5	11.6	54.0	35.8	1.9	20.5
	無回答	33	42.4	3.0	36.4	30.3	3.0	27.3

9. 健康について

問 28 青葉区は、厚生労働省が発表した「平成 17 年（2005 年）市区町村別平均寿命」によると、男性が全国 1 位（81.7 才）、女性が全国 7 位（88.0 才）という長寿のまちであることがわかりました。あなたは、この要因をどのように考えますか。

（○はいくつでも）

- ・「医療、福祉施設などの社会基盤が整っており、安心して暮らせるから」が 48.9% で最も多い。また「健康づくりに関心があり、実践している住民が多いから」（45.4%）、「公園や緑などの自然環境に恵まれているから」（41.3%）、「良好なまちなみが整備され、快適に暮らせるから」（40.2%）も 4 割を超える人が挙げており、回答は比較的分散した。



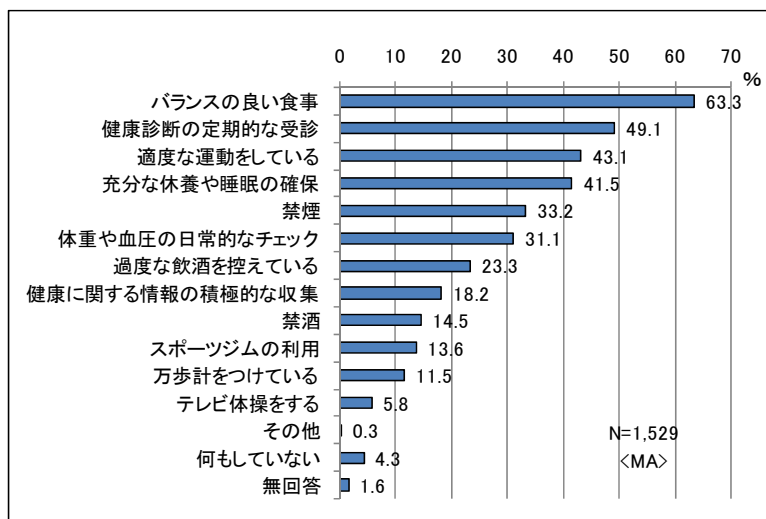
■ 年齢別 青葉区が長寿である要因(問 28×F1)

- ・ 10 代 20 代、30 代では「医療、福祉施設などの社会基盤が整っており、安心して暮らせるから」、40 代から 60 代までの世代では「健康づくりに関心があり、実践している住民が多いから」、70 代以上では「公園や緑などの自然環境に恵まれているから」が最も多くなっている。
- ・ 10 代 20 代では「良好なまちなみが整備され、快適に暮らせるから」、70 代以上では「地域活動や趣味を楽しむ環境に恵まれ、いきいきと暮らせるから」の数値が区全体の数値に比べて高くなっている。

	合計	問28 青葉区が長寿である要因							
		公園や緑などの自然環境に恵まれているから	良好なまちなみが整備されているから	医療、福祉施設などの社会基盤が整っており、安心して暮らせるから	地域活動や趣味を楽しむ環境に恵まれ、いきいきと暮らせるから	健康づくりに関心があり、実践している住民が多いから	その他	無回答	
全体	1529	41.3	40.2	48.9	26.3	45.4	8.8	4.3	
F1 年齢(統合1)	10代20代	175	41.1	51.4	52.6	27.4	28.0	5.7	3.4
	30代	249	34.5	37.8	47.4	23.3	29.3	10.4	3.6
	40代	340	33.5	37.4	45.6	24.1	47.4	10.9	3.8
	50代	256	41.8	38.3	49.6	24.2	54.7	10.9	2.0
	60代	261	47.9	38.7	52.5	25.7	56.3	7.7	4.6
	70代以上	215	54.9	43.7	50.7	37.2	53.5	5.6	6.5
	無回答	33	30.3	33.3	30.3	15.2	27.3	3.0	18.2

問 29 あなたは、健康づくりのために取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも) ※印の項目は 20 歳以上の方のみ

- ・「バランスの良い食事」が 63.3%で最も多く、6 割強となっている。次いで「健康診断の定期的な受診」(49.1%)が 5 割弱である。「適度な運動をしている」(43.1%)、「十分な休養や睡眠の確保」(41.5%)も 4 割を超えている。「一方「何もしていない」は 4.3%に留まっており、多くの人々が健康づくりについて何らかの取り組みを行っている。



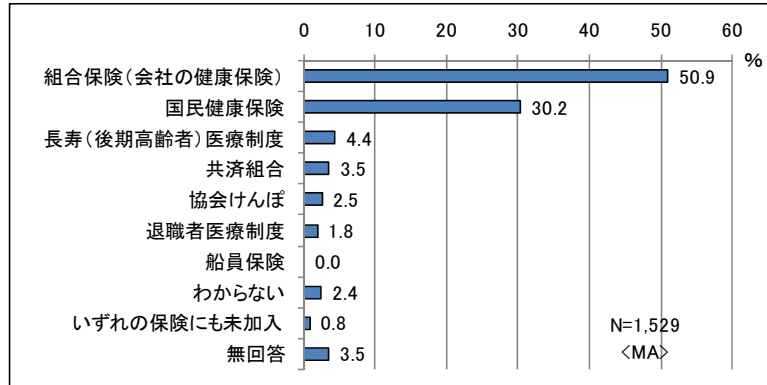
■ 年齢別 健康づくりのために取り組んでいること(問 29×F1)

- ・いずれの世代も「バランスの良い食事」が最も多く、60代、70代以上の高齢者世代では7割前後の高い数値となっている。
- ・また、60代、70代以上では「健康診断の定期的な受診」「体重や血圧の日常的なチェック」「適度な運動をしている(ジョギング、ウォーキングなど)」の数値が区全体に比べて高いほか、60代で「禁煙」、70代以上で「十分な休養や睡眠の確保」「テレビ体操をする」の数値も高く、高齢者世代ほど多岐にわたった取り組みをしていることがわかる。

	合計	問29 健康づくりのために取り組んでいること														
		バランスの良い食事	健康診断の定期的な受診	体重や血圧の日常的なチェック	十分な休養や睡眠の確保	健康に関する情報の積極的な収集	適度な運動をしている(ジョギング、ウォーキングなど)	スポーツジムの利用	テレビ体操をする	禁煙	禁酒	過度な飲酒を控えている(ビール大瓶1本程度)	万歩計をつけている	その他	何もしていない	無回答
全体	1529	63.3	49.1	31.1	41.5	18.2	43.1	13.6	5.8	33.2	14.5	23.3	11.5	0.3	4.3	1.6
F1 年齢(統合1)	175	50.9	21.1	17.7	40.0	12.6	33.1	8.0	2.3	20.0	6.9	19.4	5.7	0.0	9.7	4.6
10代	249	61.8	33.7	16.5	41.0	11.6	32.5	8.0	0.8	26.9	12.0	20.5	4.8	0.8	6.8	0.4
20代	340	57.9	53.2	20.6	36.8	16.5	39.4	12.1	0.9	32.9	10.9	23.8	10.0	0.6	5.9	0.9
30代	256	65.6	55.9	32.8	37.5	20.3	42.6	18.8	4.7	32.8	13.7	23.4	13.7	0.0	1.6	1.2
40代	261	69.3	60.9	45.6	44.1	23.0	56.7	21.5	10.0	43.3	19.9	27.6	13.4	0.0	1.5	0.8
50代	215	74.0	62.8	56.3	52.6	25.6	55.8	11.6	16.7	41.4	22.8	25.1	20.9	0.5	1.9	1.4
60代	33	60.6	36.4	27.3	42.4	12.1	27.3	12.1	15.2	24.2	18.2	12.1	15.2	0.0	0.0	12.1
70代以上																
無回答																

問 30 あなたが、ご加入されている医療保険は何ですか。(〇は1つだけ)

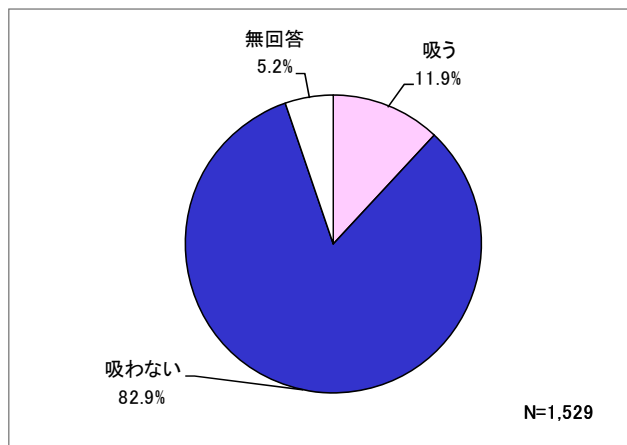
- ・「組合保険（会社の健康保険）」が 50.9%で最も多く、半数強の人が挙げている。次いで「国民健康保険」（30.2%）を挙げた人が3割強で、この2つに回答は集中している。



《喫煙について》

問 31 あなたはたばこを吸いますか。(〇は1つだけ) ※20歳以上の方のみ

- ・「吸わない」が82.9%で、8割強を占める。「吸う」(11.9%)は1割程度である。



■ 年齢別 喫煙の有無(問 31×F1)

- ・いずれも「吸わない」の方が多く、70代以上で9割近くに達している。

	合計	問31 喫煙の有無		
		吸う	吸わない	無回答
全体	1529	11.9	82.9	5.2
F 1 年齢 (統 合1)				
20代	175	5.1	63.4	31.4
30代	249	14.1	84.7	1.2
40代	340	11.5	87.6	0.9
50代	256	18.8	80.5	0.8
60代	261	13.0	85.8	1.1
70代以上	215	7.4	88.4	4.2
無回答	33	3.0	81.8	15.2

■ 男女別 喫煙の有無(問 31×F2)

- ・男女とも「吸わない」の方が多く、特に女性はほぼ9割である。一方男性は「吸う」の数値が女性より14.9ポイント高く2割を超えている。

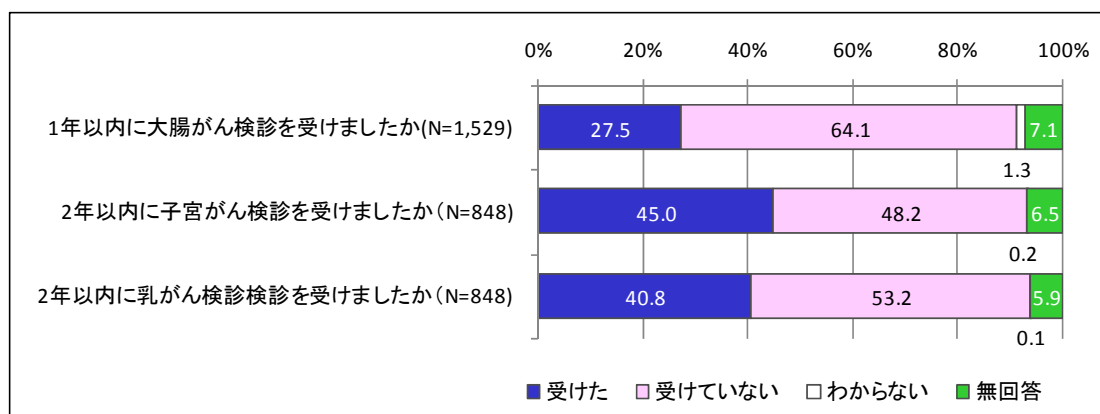
	合計	問31 喫煙の有無		
		吸う	吸わない	無回答
全体	1529	11.9	82.9	5.2
F 2 性別				
男性	606	20.8	73.8	5.4
女性	846	5.9	89.5	4.6
無回答	77	7.8	81.8	10.4

《大腸がん、子宮がん、乳がん検診について》

※男性は大腸がんのみ、女性は3つのがん全てに回答

問 32 あなたは、1年以内に大腸がん、2年以内に子宮がん、乳がん検診を受けましたか。(大腸がん、子宮がん、乳がん それぞれに○は1つ)

- ・いずれも「受けていない」が「受けた」より高い割合となっている。
- ・大腸がんについては「受けていない」(64.1%)の方が「受けた」(27.5%)を36.6ポイント大きく上回っており、受診率が低い。
- ・子宮がん検診については、「受けていない」(48.2%)が「受けた」(45.0%)を3.2ポイント上回っているが、ほぼ拮抗している。
- ・乳がん検診については、「受けていない」(53.2%)が「受けた」(40.8%)を12.4ポイント上回っている



■ 年齢別 1年以内に大腸がん健診を受けたか (問 32×F1)

- ・いずれも「受けていない」が最も多く、30代までの世代では8割以上となっている。
- 一方「受けた」は60代、70代以上で区全体値に比べて高く、4割前後となっている。

	合計	問32(大腸がん) 1年以内に検診を受けたか			
		受けた	受けていない	わからない	無回答
全体	1529	27.5	64.1	1.3	7.1
F1 年齢 (統合1)					
10代	175	0.6	88.6	2.9	8.0
20代	249	11.6	83.9	1.6	2.8
30代	340	31.2	62.9	2.1	3.8
40代	256	35.5	60.9	0.4	3.1
50代	261	40.6	50.2	0.4	8.8
60代	215	38.1	44.7	0.9	16.3
70代以上	33	15.2	57.6	0.0	27.3
無回答					

■ 年齢別 2年以内に子宮がん健診を受けたか(問 32×F1)

- ・30代、40代では「受けた」、10代20代と50代以上の世代では「受けていない」が最も多くなっている。

		合計	問32(子宮がん) 2年以内に検診を受けたか			
			受けた	受けていない	わからない	無回答
全体		846	45.0	48.2	0.2	6.5
F1 年齢(統合1)	10代20代	100	22.0	74.0	1.0	3.0
	30代	154	57.8	40.3	0.6	1.3
	40代	205	65.9	33.2	0.0	1.0
	50代	151	44.4	53.0	0.0	2.6
	60代	133	35.3	54.9	0.0	9.8
	70代以上	100	20.0	50.0	0.0	30.0
	無回答	3	33.3	33.3	0.0	33.3

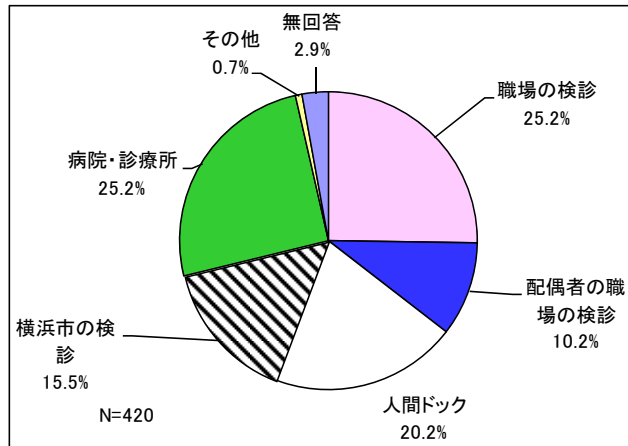
■ 年齢別 2年以内に乳がん健診を受けたか(問 32×F1)

- ・40代のみ「受けた」が最も多く、他の世代に比べて突出して受診率が高い。それ以外では「受けていない」が最も多くなっている。

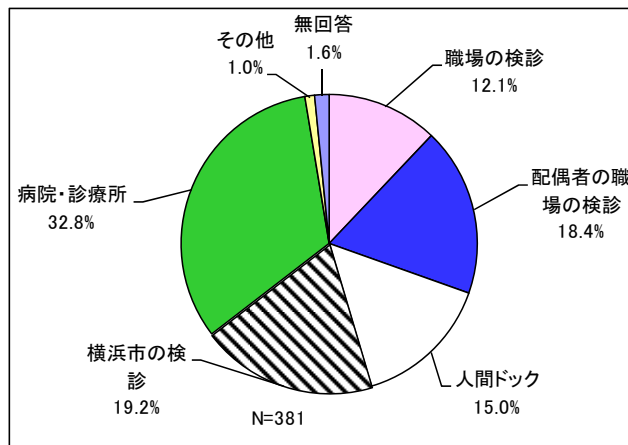
		合計	問32(乳がん) 2年以内に検診を受けたか			
			受けた	受けていない	わからない	無回答
全体		846	40.8	53.2	0.1	5.9
F1 年齢(統合1)	10代20代	100	10.0	86.0	1.0	3.0
	30代	154	37.0	61.0	0.0	1.9
	40代	205	63.9	35.6	0.0	0.5
	50代	151	45.7	52.3	0.0	2.0
	60代	133	42.9	48.9	0.0	8.3
	70代以上	100	20.0	52.0	0.0	28.0
	無回答	3	33.3	33.3	0.0	33.3

問 33 あなたは、1年以内に大腸がん、2年以内に子宮がん、乳がん検診をどこで受けましたか。(大腸がん、子宮がん、乳がん それぞれに○は1つ)

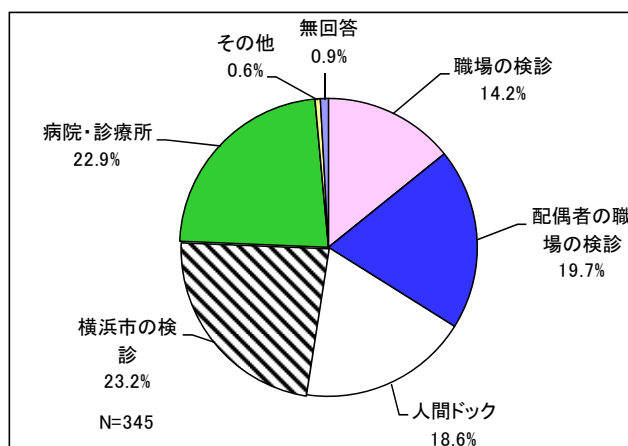
- ・大腸がん検診については、「職場の検診」「病院・診療所」が共に25.2%で最も多くなっている。次いで「人間ドック」が20.2%で、これら3つは2割以上となっている。



- ・子宮がん検診については、「病院・診療所」が32.8%で全体の3分の1を占める。次いで「横浜市の検診」(19.2%)、「配偶者の職場の検診」(18.4%)が2割弱である。



- ・乳がん検診については、「横浜市の検診」(23.2%)、「病院・診療所」(22.9%)が2割強でほぼ並ぶ。



■ 年齢別 大腸がん健診を受けた場所(問 33×F1)

- ・10代から50代までは「職場の検診」、60代、70代以上では「病院・診療所」が最も多くなっている。また70代以上では「横浜市の検診(保健センター、横浜市指定医療機関)」の数値が区全体値に比べて高くなっている。

	合計	問33(大腸がん) 検診を受けた場所							受けていない	無回答
		職場の検診	配偶者の職場の検診	人間ドック	横浜市の検診(保健センター、横浜市指定医療機関)	病院・診療所	その他			
全体	420	25.2	10.2	20.2	15.5	25.2	0.7	0.0	2.9	
F1 年齢(統合1)										
10代20代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
30代	29	41.4	13.8	20.7	0.0	20.7	0.0	0.0	3.4	
40代	106	37.7	16.0	20.8	9.4	13.2	0.9	0.0	1.9	
50代	91	39.6	15.4	17.6	8.8	17.6	0.0	0.0	1.1	
60代	106	16.0	4.7	26.4	18.9	28.3	1.9	0.0	3.8	
70代以上	82	0.0	2.4	15.9	30.5	47.6	0.0	0.0	3.7	
無回答	5	0.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	

■ 年齢別 子宮がん健診を受けた場所(問 33×F1)

- ・10代から40代までと70代以上では「病院・診療所」、50代では「配偶者の職場の検診」、60代では「横浜市の検診(保健センター、横浜市指定医療機関)」が最も多くなっている。
- ・また、10代20代で「職場の検診」、60代で「人間ドック」、70代以上で「横浜市の検診(保健センター、横浜市指定医療機関)」の数値が区全体値に比べて高くなっている。

	合計	問33(子宮がん) 検診を受けた場所							受けていない	無回答
		職場の検診	配偶者の職場の検診	人間ドック	横浜市の検診(保健センター、横浜市指定医療機関)	病院・診療所	その他			
全体	381	12.1	18.4	15.0	19.2	32.8	1.0	0.0	1.6	
F1 年齢(統合1)										
10代20代	22	27.3	0.0	0.0	9.1	59.1	4.5	0.0	0.0	
30代	89	16.9	11.2	9.0	14.6	47.2	1.1	0.0	0.0	
40代	135	12.6	23.0	18.5	19.3	24.4	0.0	0.0	2.2	
50代	67	10.4	31.3	10.4	14.9	28.4	1.5	0.0	3.0	
60代	47	2.1	12.8	27.7	31.9	21.3	2.1	0.0	2.1	
70代以上	20	0.0	10.0	15.0	35.0	40.0	0.0	0.0	0.0	
無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

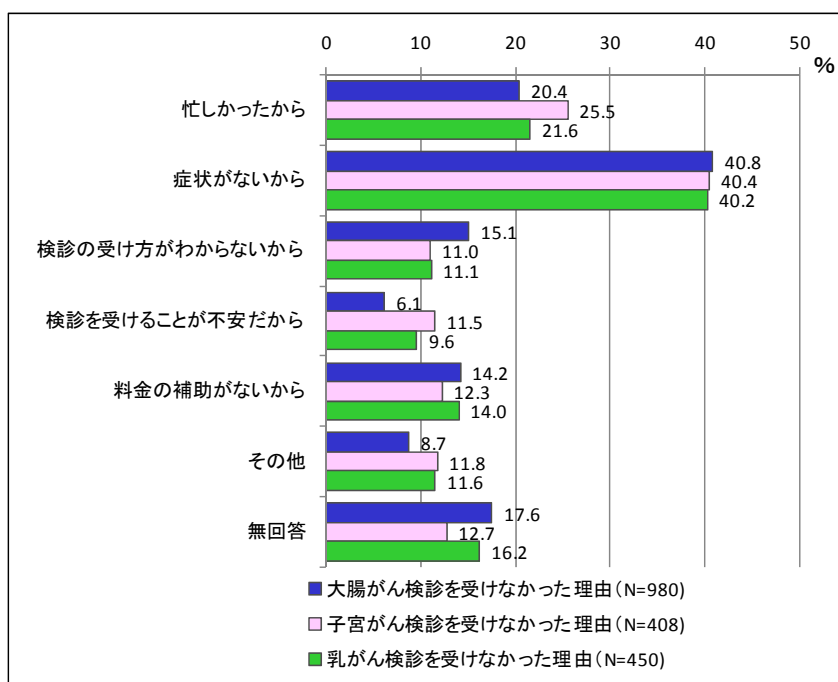
■ 年齢別 乳がん健診を受けた場所(問 33×F1)

- ・10代20代では「職場の検診」、30代では「病院・診療所」、40代、60代、70代以上では「横浜市の検診(保健センター、横浜市指定医療機関)」、50代では「配偶者の職場の検診」が最も多くなっている。

	合計	問33(乳がん) 検診を受けた場所							受けていない	無回答
		職場の検診	配偶者の職場の検診	人間ドック	横浜市の検診(保健センター、横浜市指定医療機関)	病院・診療所	その他			
全体	345	14.2	19.7	18.6	23.2	22.9	0.6	0.0	0.9	
F1 年齢(統合1)										
10代20代	10	70.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	
30代	57	22.8	19.3	17.5	3.5	36.8	0.0	0.0	0.0	
40代	131	14.5	22.9	20.6	24.4	16.8	0.0	0.0	0.8	
50代	69	11.6	29.0	11.6	24.6	20.3	1.4	0.0	1.4	
60代	57	3.5	8.8	26.3	35.1	22.8	1.8	0.0	1.8	
70代以上	20	0.0	10.0	15.0	45.0	30.0	0.0	0.0	0.0	
無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

問 34 あなたが1年以内に大腸がん、2年以内に子宮がん、乳がん検診を受けなかった理由は何ですか。(大腸がん、子宮がん、乳がん それぞれに○はいくつでも)

- ・いずれも最も多いのは「症状がなかったから」で約4割の人が挙げており、次いで「忙しかったから」が2割強となっている。
- ・大腸がん健診では「症状がなかったから」(40.8%)、「忙しかったから」(20.4%)、「検診の受け方がわからないから」(15.1%)などの順である。
- ・子宮がん検診では「症状がなかったから」(40.4%)、「忙しかったから」(25.5%)、「料金の補助がないから」(12.3%)などの順である。
- ・乳がん検診では「症状がなかったから」(40.2%)、「忙しかったから」(21.6%)、「料金の補助がないから」(14.0%)などの順である。



■ 年齢別 大腸がん健診を受けなかった理由(問 34×F1)

- ・いずれの世代も「症状がないから」が最も多く、特に高齢者層で数値が高い。40代、50代では「忙しかったから」が区全体値に比べて高い数値となっている。

		合計	問34(大腸がん) 検診を受けなかった理由						無回答
			忙しかったから	症状がないから	検診の受け方がわからないから	検診を受けることが不安だから	料金の補助がないから	その他	
全体		980	20.4	40.8	15.1	6.1	14.2	8.7	17.6
F1 年齢(統合1)	10代20代	155	13.5	45.8	21.9	1.3	16.8	12.9	15.5
	30代	209	14.4	31.6	24.4	5.3	22.0	6.7	16.7
	40代	214	31.3	32.2	14.5	6.5	13.1	7.0	18.7
	50代	156	31.4	39.7	9.0	6.4	13.5	8.3	16.0
	60代	131	17.6	52.7	7.6	8.4	8.4	9.9	18.3
	70代以上	96	6.3	60.4	7.3	11.5	4.2	8.3	18.8
	無回答	19	21.1	26.3	5.3	5.3	15.8	10.5	31.6

■ 年齢別 子宮がん健診を受けなかった理由(問 34×F1)

- ・40代では「忙しかったから」、それ以外の世代では「症状がないから」が最も多くなっている。また、10代20代では「検診の受け方がわからないから」「料金の補助がないから」が区全体値に比べて高い数値となっている。

		合計	問34(子宮がん) 検診を受けなかった理由						無回答
			忙しかったから	症状がないから	検診の受け方がわからないから	検診を受けることが不安だから	料金の補助がないから	その他	
全体		408	25.5	40.4	11.0	11.5	12.3	11.8	12.7
F1 年齢(統合1)	10代20代	74	13.5	40.5	24.3	8.1	24.3	9.5	9.5
	30代	62	29.0	30.6	21.0	14.5	16.1	9.7	4.8
	40代	68	47.1	41.2	5.9	11.8	8.8	16.2	2.9
	50代	80	38.8	40.0	3.8	7.5	15.0	11.3	12.5
	60代	73	11.0	45.2	4.1	16.4	2.7	15.1	20.5
	70代以上	50	8.0	46.0	8.0	12.0	4.0	8.0	30.0
	無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■ 年齢別 乳がん健診を受けなかった理由(問 34×F1)

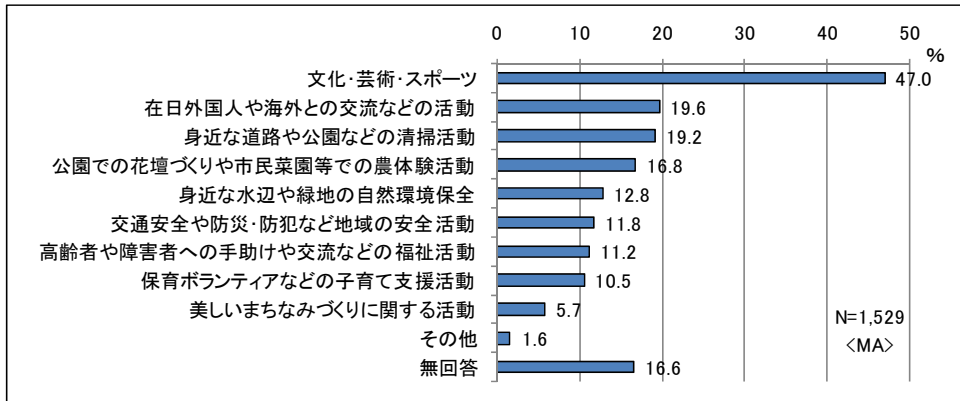
- ・いずれの世代でも「症状がないから」が最も多くなっている。また、10代20代では「料金の補助がないから」、40代、50代では「忙しかったから」が区全体値に比べて高い数値となっている。

		合計	問34(乳がん) 検診を受けなかった理由						無回答
			忙しかったから	症状がないから	検診の受け方がわからないから	検診を受けることが不安だから	料金の補助がないから	その他	
全体		450	21.6	40.2	11.1	9.6	14.0	11.6	16.2
F1 年齢(統合1)	10代20代	86	12.8	39.5	20.9	7.0	24.4	15.1	9.3
	30代	94	19.1	27.7	20.2	7.4	21.3	9.6	16.0
	40代	73	38.4	41.1	4.1	8.2	9.6	13.7	16.4
	50代	79	35.4	46.8	5.1	7.6	12.7	8.9	10.1
	60代	65	10.8	47.7	3.1	18.5	4.6	13.8	20.0
	70代以上	52	7.7	44.2	7.7	11.5	3.8	7.7	32.7
	無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

10. 地域活動・地域社会について

問 35 あなたは、どのような地域活動に参加してみたい（参加している）ですか。（〇はいくつでも）

- ・「文化・芸術・スポーツ」が 47.0% で突出して多く、半数近くの人が挙げている。次いで「在日外国人や海外との交流などの活動」（19.6%）、「身近な道路や公園などの清掃活動」（19.2%）がそれぞれ 2 割弱で続く。



■ 年齢別 参加してみたい地域活動（問 35×F1）

- ・いずれの世代も「文化・芸術・スポーツ」が多く、10代 20代で数値が高い。
- ・また 10代 20代では「在日外国人や海外との交流などの活動」の数値も区全体値や他世代に比べて高くなっている。

	合計	問35 参加してみたい地域活動											
		文化・芸術・スポーツ	身近な水辺や緑地の自然環境保全	公園での花壇づくりや市民菜園等での農体験活動	高齢者や障害者への福祉活動	掃身活動	身近な道路や公園などの清掃活動	在日外国人や海外との交流	子育て支援活動	保育ボランティアなどの子育て支援活動	美しいまちなみづくりに関する活動	交通安全や防災・防犯など地域の安全活動	その他
全体	1529	47.0	12.8	16.8	11.2	19.2	19.6	10.5	5.7	11.8	1.6	16.6	
F1 年齢（統合1）	10代20代	175	58.3	12.6	14.9	10.3	9.7	37.1	12.6	3.4	5.1	3.4	10.9
	30代	249	49.8	10.8	18.9	9.6	20.1	28.9	18.1	3.2	13.3	1.2	9.6
	40代	340	45.6	14.1	18.2	10.3	21.2	20.0	12.1	6.8	14.7	1.8	15.6
	50代	256	50.8	13.3	17.2	11.3	21.1	17.6	10.2	5.5	10.9	1.2	14.5
	60代	261	47.1	16.5	18.8	12.6	19.9	14.6	6.9	8.4	13.0	1.1	17.2
	70代以上	215	33.5	9.8	12.1	13.5	20.0	4.2	1.9	6.0	9.3	1.4	31.2
	無回答	33	36.4	3.0	9.1	9.1	15.2	9.1	15.2	3.0	18.2	0.0	27.3

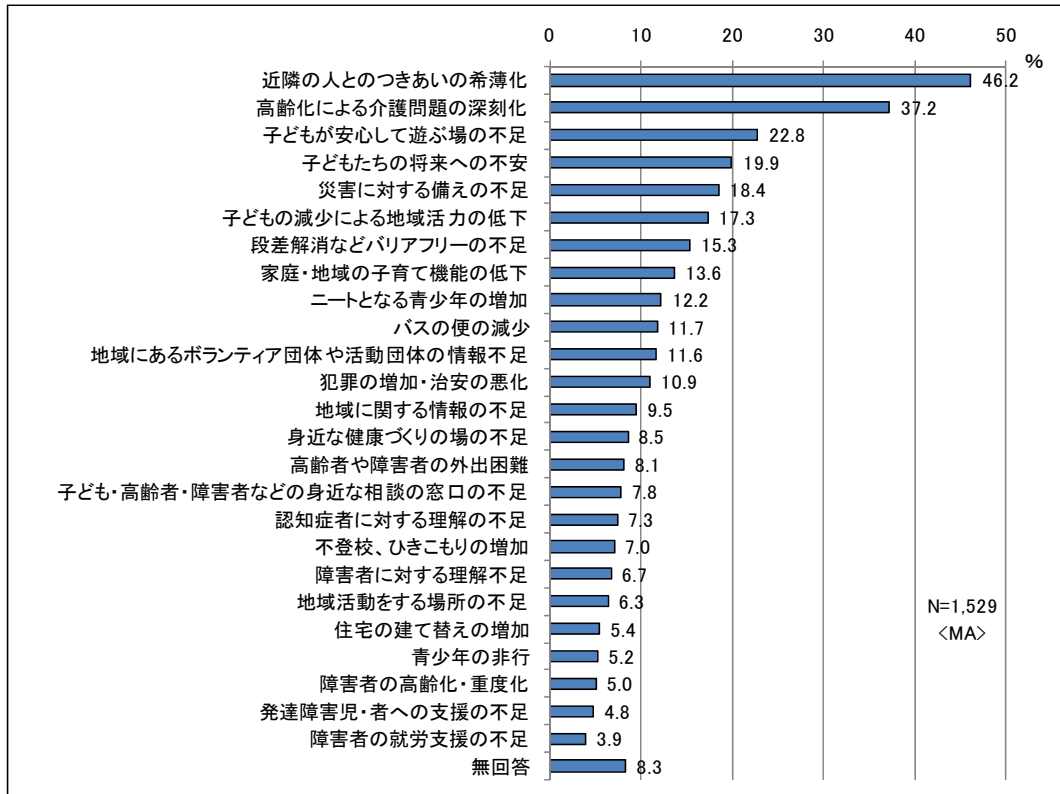
■ 居住地区別 参加してみたい地域活動(問 35×F13)

- ・いずれの地区も「文化・芸術・スポーツ」が多く、中里連合自治会や美しが丘連合自治会で数値が高い。
- ・また、すすき野連合自治会では「高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動」の数値が区全体値や他地区に比べて高くなっている。

	合計	問35 参加してみたい地域活動												
		文化・芸術・スポーツ	境身近な水辺や緑地の自然環境保全	公園等での花壇づくりや市民活動	や高齢者や障害者への福祉活動	掃身活動	身近な道路や公園などの清掃活動	在日外国人や海外との交流	子育て支援活動	保育ボランティアなどの活動	くりに関する活動	建物の用途や高さなどのルールづくりや美しいまちなみづくり	地域の安全や防災・防犯など	交通安全や防災・防犯など
全体	1529	47.0	12.8	16.8	11.2	19.2	19.6	10.5	5.7	5.7	11.8	1.6	16.6	
F13 居住地区 (連合自治会別)	中里連合自治会	73	60.3	13.7	15.1	9.6	12.3	19.2	13.7	4.1	8.2	1.4	17.8	
	中里北部連合町内会	69	44.9	14.5	18.8	15.9	13.0	18.8	13.0	2.9	13.0	1.4	13.0	
	市ヶ尾連合自治会	94	38.3	20.2	22.3	16.0	23.4	18.1	10.6	6.4	11.7	3.2	17.0	
	上谷本連合町内会	65	50.8	12.3	13.8	13.8	12.3	29.2	13.8	4.6	10.8	0.0	18.5	
	谷本連合自治会	118	45.8	16.1	17.8	5.1	19.5	17.8	8.5	5.1	9.3	1.7	19.5	
	恩田連合自治会	163	51.5	13.5	16.6	5.5	23.3	21.5	8.6	6.7	11.7	1.8	15.3	
	青葉台連合自治会	181	43.1	11.0	12.7	14.4	17.1	18.2	13.3	5.5	10.5	1.7	19.3	
	奈良町、奈良北団地連合自治会	107	42.1	10.3	20.6	9.3	24.3	15.0	10.3	1.9	9.3	2.8	17.8	
	山内連合自治会	221	49.8	9.0	16.7	11.3	15.8	20.4	7.7	5.4	13.1	1.8	15.4	
	荏田、新荏田連合自治会	224	44.2	12.1	19.2	8.9	21.4	21.0	12.5	9.8	13.4	1.3	14.7	
	すすき野連合自治会	79	50.6	12.7	15.2	26.6	19.0	24.1	6.3	2.5	10.1	1.3	7.6	
	美しが丘連合自治会	55	58.2	10.9	12.7	3.6	18.2	16.4	9.1	3.6	14.5	0.0	18.2	
	無回答	80	40.0	17.5	13.8	12.5	23.8	15.0	11.3	7.5	16.3	0.0	23.8	

問 36 あなたの住んでいる地域には、現在、どんな課題や問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

- ・「近隣の人とのつきあいの希薄化」が 46.2% で最も多く、半数弱の人が挙げている。
- 次いで「高齢化による介護問題の深刻化」(37.2%) を 4 割弱が挙げている。



■ 年齢別 お住まいの地域の課題や問題(問 36×F1)

- ・60代では「高齢化による介護問題の深刻化」、それ以外の世代では「近隣の人とのつきあいの希薄化」が最も多くなっている。
- ・また 30代では「家庭・地域の子育て機能の低下」の数値が区全体値に比べて高くなっている。

	問36 お住まいの地域の課題や問題																										
	合計	近隣の人とのつきあいの希薄化	家庭・地域の子育て機能の低下	子どもが安心して遊ぶ場の不足	子どもの減少による地域活力の低下	子どもたちの将来への不安	障害者に対する理解不足	障害者の高齢化・重度化	発達障害児・者への支援の不足	障害者の就労支援の不足	高齢者や障害者の外出困難	子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	認知症者に対する理解の不足	不登校、ひきこもりの増加	障害者に対する理解不足	地域活動をする場所の不足	住宅の建て替えの増加	青少年の非行	障害者の高齢化・重度化	発達障害児・者への支援の不足	障害者の就労支援の不足	無回答					
全体	1529	46.2	13.6	22.8	17.3	19.9	6.7	5.0	4.8	3.9	8.1	7.8	15.3	10.9	5.2	7.0	12.2	37.2	7.3	11.6	6.3	8.5	18.4	9.5	5.4	11.7	8.3
F1 年齢(総合1)	175	50.9	10.3	25.1	11.4	24.6	9.1	4.6	4.0	4.6	5.7	6.9	13.7	8.0	9.7	12.6	18.9	22.9	6.9	8.0	5.7	5.7	14.9	10.3	7.4	16.0	7.4
10代	249	43.4	15.3	33.3	15.7	20.5	6.4	4.0	4.0	5.2	4.0	8.0	12.0	12.9	5.2	4.4	7.2	26.5	3.2	8.4	5.6	7.6	17.7	10.0	6.0	12.4	6.0
20代	340	46.5	17.1	25.9	15.0	27.9	6.8	2.9	7.1	3.5	6.2	5.9	13.8	13.5	4.1	9.4	11.2	33.5	5.6	9.7	5.3	5.9	21.2	10.0	5.0	11.2	6.2
30代	256	49.2	14.8	21.1	16.0	21.5	7.8	4.7	8.2	5.1	10.9	7.0	19.9	9.4	7.0	8.2	18.8	41.4	7.8	7.4	5.9	10.9	19.9	8.6	5.9	13.3	4.7
40代	261	42.9	15.3	18.0	23.8	15.7	6.1	5.7	2.7	2.7	13.0	10.0	16.5	11.5	3.8	4.6	12.6	49.8	13.0	19.2	9.6	8.4	22.2	9.6	5.0	10.0	7.3
50代	215	47.9	7.0	13.0	22.3	7.9	4.7	9.3	1.9	3.3	8.4	9.8	14.4	7.4	2.3	3.3	6.0	47.0	7.4	15.8	6.0	14.0	11.6	8.4	3.7	8.8	19.1
60代	33	30.3	3.0	12.1	9.1	9.1	3.0	6.1	0.0	0.0	9.1	6.1	24.2	15.2	9.1	6.1	9.1	36.4	9.1	18.2	6.1	3.0	18.2	9.1	6.1	9.1	18.2
70代以上																											
無回答																											

■ 同居している子ども・65歳以上の家族の有無別 お住まいの地域の課題や問題(問36×F10,11)

- 同居している子ども別にもみると、子どもが中学生の場合「子どもたちの将来への不安」が最も多く、これは子どもが小学生、高校生でも区全体に比べて高い数値となっている。これ以外では「近隣の人とのつきあいの希薄化」が最も多い。また、子どもが乳幼児・未就学児、小学生の場合「子どもが安心して遊ぶ場の不足」の数値が区全体に比べて高い。
- 65歳以上の家族の有無別にもみると、65歳以上の家族と同居しているとき「高齢化による介護問題の深刻化」が最も多い。それ以外では「近隣の人とのつきあいの希薄化」が最も多くなっている。また65歳以上の家族が別居だか区内にいるケースで「子どもたちの将来への不安」の数値が区全体値に比べて高くなっている。

	合計	問36 お住まいの地域の課題や問題																				無回答					
		薄近隣化 の人とのつきあいの希	低下 家庭・地域の子育て機能の	不足 子どもが安心して遊ぶ場の	子どもの減少による地域活	子どもたちの将来への不安	障害者に対する理解不足	障害者の高齢化・重度化	不足 発達障害児・者への支援の	障害者の就労支援の不足	高齢者や障害者の外出困難	子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	の不足 段階的なパリアフリー	犯罪の増加・治安の悪化	青少年の非行	不登校、ひきこもりの増加	ニートとなる青少年の増加	深刻化 高齢化による介護問題の深	足 認知症者に対する理解の不	地域活動をする場所の不足	足 身近な健康づくりの場の不		災害に対する備えの不足	地域に関する情報の不足	住宅の建て替えの増加	バスの便の減少	
F10 同居家族	1529	46.2	13.6	22.8	17.3	19.9	6.7	5.0	4.8	3.9	8.1	7.8	15.3	10.9	5.2	7.0	12.2	37.2	7.3	11.6	6.3	8.5	18.4	9.5	5.4	11.7	8.3
全体	1529	46.2	13.6	22.8	17.3	19.9	6.7	5.0	4.8	3.9	8.1	7.8	15.3	10.9	5.2	7.0	12.2	37.2	7.3	11.6	6.3	8.5	18.4	9.5	5.4	11.7	8.3
乳幼児・未就学児	174	39.7	21.3	38.5	21.3	29.3	5.2	2.9	6.3	5.2	5.2	10.3	17.8	10.9	6.3	6.9	9.8	30.5	5.2	9.2	5.2	9.2	16.1	10.9	5.7	13.8	4.0
小学生	217	37.8	17.1	35.5	17.1	35.5	6.5	4.1	8.3	6.0	5.5	4.6	13.4	9.2	2.8	9.7	7.8	32.7	4.1	10.6	4.1	6.0	22.1	10.6	5.5	13.4	5.1
中学生	153	41.8	17.0	29.4	11.8	43.1	7.8	3.9	8.5	3.9	6.5	3.9	11.1	10.5	5.2	12.4	13.1	34.0	4.6	8.5	4.6	5.2	16.3	7.8	5.9	13.7	5.2
高校生	128	50.0	17.2	25.0	14.8	30.5	7.8	3.9	7.0	4.7	3.9	7.8	14.1	11.7	3.9	14.1	11.7	30.5	7.0	6.3	4.7	5.5	22.7	7.0	15.6	8.6	
専門学校生、大学生	157	54.1	10.8	26.8	19.1	24.2	5.1	1.9	7.6	3.8	7.0	7.6	19.7	10.2	7.0	12.7	14.0	36.3	9.6	10.8	8.9	5.7	17.8	8.9	5.1	12.7	3.8
上記にあてはまる家族はいない	836	47.4	12.7	16.7	18.4	12.1	6.8	6.3	3.1	3.5	10.0	7.9	15.7	10.5	4.4	4.9	12.7	40.8	8.1	13.5	6.8	9.7	18.1	9.1	4.9	10.3	10.2
無回答	75	45.3	10.7	20.0	10.7	12.0	6.7	5.3	4.0	4.0	6.7	10.7	9.3	16.0	10.7	6.7	12.0	30.7	6.7	8.0	6.7	10.7	17.3	8.0	8.0	13.3	16.0
F11 区内に65歳以上のご家族はいますか	497	44.1	10.5	17.3	21.7	13.1	5.6	8.0	3.0	3.4	11.1	9.5	17.9	10.7	3.8	5.0	11.3	46.5	8.9	14.3	7.2	10.7	16.9	8.9	5.4	12.7	12.5
同居している	497	44.1	10.5	17.3	21.7	13.1	5.6	8.0	3.0	3.4	11.1	9.5	17.9	10.7	3.8	5.0	11.3	46.5	8.9	14.3	7.2	10.7	16.9	8.9	5.4	12.7	12.5
別居だが区内にいる	119	52.9	22.7	27.7	23.5	32.8	11.8	4.2	8.4	5.9	7.6	10.9	17.6	10.1	4.2	13.4	13.4	40.3	7.6	10.1	10.9	10.1	18.5	10.1	5.0	10.9	4.2
いない	861	46.8	14.6	25.3	14.5	22.3	6.6	3.5	5.5	3.9	6.7	6.4	13.9	10.7	6.0	7.3	12.3	31.4	6.4	10.8	5.3	7.3	19.4	10.1	5.6	11.4	6.0
無回答	52	40.4	5.8	21.2	5.8	17.3	5.8	3.8	1.9	3.8	3.8	7.7	7.7	19.2	7.7	5.8	15.4	38.5	7.7	1.9	3.8	3.8	17.3	3.8	3.8	9.6	15.4

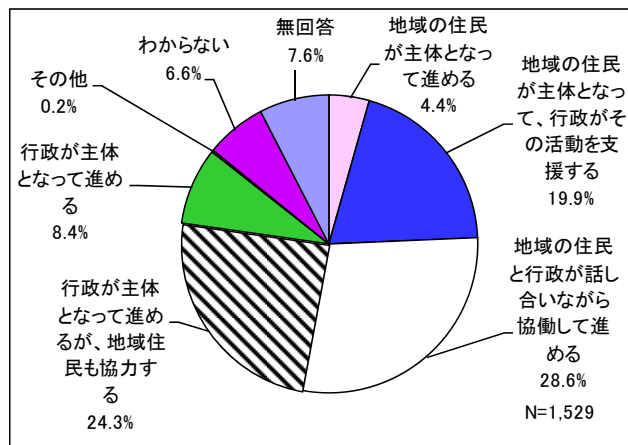
■ 居住地区別 お住まいの地域の課題や問題(問36×F13)

- 市ヶ尾連合自治会、すすき野連合自治会では「高齢化による介護問題の深刻化」、中里北部連合町内会では「高齢化による介護問題の深刻化」「近隣の人とのつきあいの希薄化」が同率、それ以外の地区では「近隣の人とのつきあいの希薄化」が最も多くなっている。
- また中里北部連合町内会では「子どもの減少による地域活力の低下」、市ヶ尾連合自治会では「犯罪の増加・治安の悪化」、すすき野連合自治会では地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足、奈良町、奈良北団地連合自治会では「バスの便の減少」の数値がそれぞれ区全体値に比べて高くなっている。

	合計	問36 お住まいの地域の課題や問題																				無回答					
		薄近隣化 の人とのつきあいの希	低下 家庭・地域の子育て機能の	不足 子どもが安心して遊ぶ場の	子どもの減少による地域活	子どもたちの将来への不安	障害者に対する理解不足	障害者の高齢化・重度化	不足 発達障害児・者への支援の	障害者の就労支援の不足	高齢者や障害者の外出困難	子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	の不足 段階的なパリアフリー	犯罪の増加・治安の悪化	青少年の非行	不登校、ひきこもりの増加	ニートとなる青少年の増加	深刻化 高齢化による介護問題の深	足 認知症者に対する理解の不	地域活動をする場所の不足	足 身近な健康づくりの場の不		災害に対する備えの不足	地域に関する情報の不足	住宅の建て替えの増加	バスの便の減少	
F13 居住地区(連合自治会別)	1529	46.2	13.6	22.8	17.3	19.9	6.7	5.0	4.8	3.9	8.1	7.8	15.3	10.9	5.2	7.0	12.2	37.2	7.3	11.6	6.3	8.5	18.4	9.5	5.4	11.7	8.3
全体	1529	46.2	13.6	22.8	17.3	19.9	6.7	5.0	4.8	3.9	8.1	7.8	15.3	10.9	5.2	7.0	12.2	37.2	7.3	11.6	6.3	8.5	18.4	9.5	5.4	11.7	8.3
中里連合自治会	73	39.7	6.8	13.7	16.4	24.7	5.5	4.1	4.1	4.1	6.8	5.5	15.1	8.2	2.7	6.8	12.3	35.6	4.1	9.6	4.1	11.0	19.2	16.4	6.8	9.6	11.0
中里北部連合町内会	69	46.4	14.5	18.8	37.7	27.5	14.5	7.2	10.1	8.7	8.7	5.8	15.9	5.8	5.8	10.1	17.4	46.4	10.1	10.1	4.3	2.9	10.1	7.2	1.4	7.2	4.3
市ヶ尾連合自治会	94	38.3	11.7	21.3	20.2	21.3	12.8	9.6	4.3	3.2	13.8	6.4	21.3	21.3	8.5	11.7	20.2	40.4	10.6	13.8	6.4	6.4	17.0	13.8	6.4	11.7	6.4
上谷本連合町内会	65	49.2	13.8	16.9	13.8	23.1	3.1	7.7	3.1	7.7	10.8	10.8	20.0	4.6	10.8	4.6	10.8	36.9	12.3	20.0	6.2	6.2	20.0	7.7	9.2	3.1	6.2
谷本連合自治会	118	47.5	11.9	26.3	15.3	16.1	8.5	4.2	2.5	2.5	5.1	4.2	15.3	7.6	5.1	4.2	9.3	35.6	9.3	11.0	3.4	3.4	17.8	11.0	3.4	11.9	10.2
恩田連合自治会	163	43.6	8.0	22.7	11.7	21.5	6.1	3.7	3.1	3.1	6.1	9.8	12.3	12.9	4.9	6.7	13.5	31.9	6.1	7.4	7.4	8.0	15.3	10.4	4.9	18.4	7.4
青葉台連合自治会	181	51.4	21.5	28.7	22.7	16.0	3.3	2.8	5.5	3.9	7.2	8.3	16.6	9.4	4.4	6.6	10.5	33.7	4.4	12.2	3.9	7.7	15.5	6.6	8.8	6.1	7.7
奈良町、奈良北団地連合自治会	107	42.1	15.0	18.7	20.6	26.2	6.5	8.4	7.5	4.7	12.1	12.1	13.1	13.1	5.6	5.6	7.5	31.8	5.6	7.5	8.4	11.2	18.7	4.7	0.9	32.7	3.7
山内連合自治会	221	46.6	14.0	20.8	15.8	23.1	5.9	5.0	5.0	3.2	7.7	4.1	13.1	11.8	2.7	6.3	10.0	38.0	6.3	10.4	5.4	11.8	20.4	7.2	5.0	7.7	7.2
荏田、新荏田連合自治会	224	49.6	12.5	29.0	12.5	18.8	4.5	2.2	4.9	3.6	7.1	6.3	15.2	13.4	6.7	6.7	11.2	35.3	5.8	12.9	6.7	9.4	21.4	10.3	4.5	14.7	7.6
すすき野連合自治会	79	50.6	16.5	22.8	21.5	16.5	7.6	6.3	3.8	2.5	11.4	8.9	15.2	5.1	6.3	8.9	16.5	55.7	13.9	22.8	15.2	10.1	22.8	12.7	2.5	3.8	8.9
美しが丘連合自治会	55	49.1	14.5	18.2	10.9	12.7	10.9	5.5	3.6	3.6	7.3	14.5	23.6	3.6	3.6	3.6	12.7	34.5	7.3	9.1	5.5	7.3	16.4	12.7	12.7	0.0	12.7
無回答	80	38.8	13.8	18.8	15.0	11.3	7.5	7.5	5.0	5.0	6.3	13.8	11.3	13.8	3.8	11.3	15.0	42.5	8.8	8.8	8.8	10.0	22.5	8.8	7.5	13.8	15.4

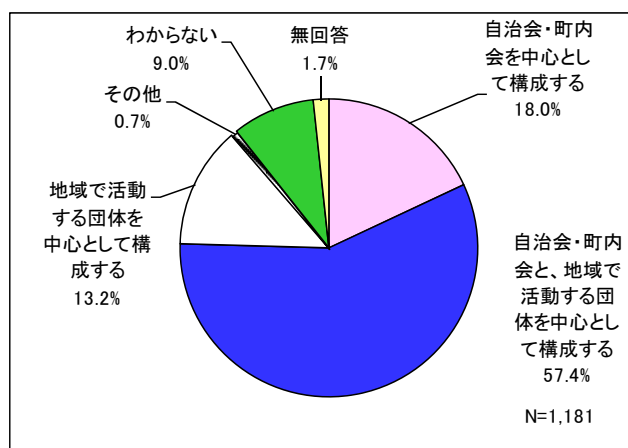
問 37 あなたは、地域の抱える課題や問題をどのように解決していくのがよいと考えますか。問 36 でお答えいただいた地域の課題・問題のうち、あなたが最も重要と考えるものを想定し、お答えください。(○は1つだけ)

- ・「地域の住民と行政が話し合いながら協働して進める」が 28.6% で最も多く、次いで「行政が主体となって進めるが、地域住民も協力する」が 24.3% で、それぞれ全体の 4 分の 1 前後となっている。次いで「地域の住民が主体となって、行政がその活動を支援する」(19.9%) が 2 割弱である。



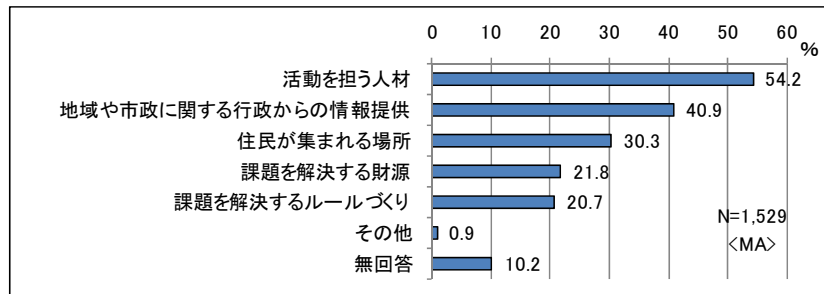
問 37-1 地域の課題・問題を解決するための地域住民の話し合いの場の構成について、あなたが望ましいと考えるものをお答えください。(前項で1～4と回答した人のみ、○は1つだけ)

- ・「自治会・町内会と、地域で活動する団体を中心として構成する」が 57.4% で過半数を占める。



問 38 あなたは、住民による地域課題の解決に向けた活動を活発にするために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- ・「活動を担う人材」が 54.2% で最も多く、次いで「地域や市政に関する行政からの情報提供」(40.9%)、「住民が集まれる場所」(30.3%)となっている。



■ 居住地区別 地域課題を活発にするために必要なこと(問 38×F13)

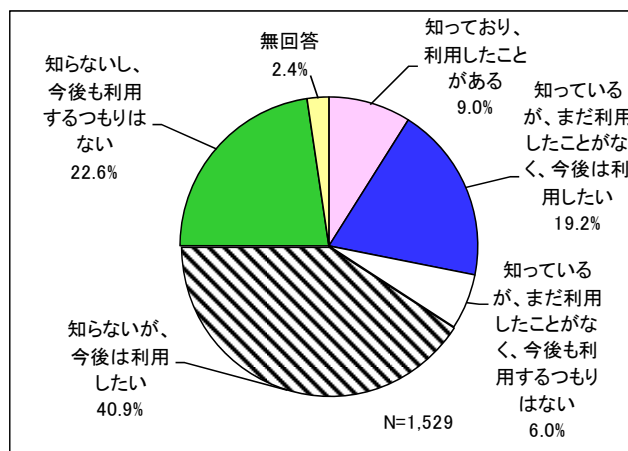
- ・いずれの地区でも「活動を担う人材」が最も多くなっている。また中里北部連合町内会では「課題を解決する財源」の数値が区全体値や他地区に比べて高くなっている。

	合計	問38 地域活動を活発にするために必要なこと							
		住民が集まれる場所	活動を担う人材	地域や市政に関する行政からの情報提供	課題を解決するルールづくり	課題を解決する財源	その他	無回答	
全体	1529	30.3	54.2	40.9	20.7	21.8	0.9	10.2	
F13 居住地区(連合自治会別)									
中里連合自治会	73	32.9	47.9	45.2	20.5	15.1	1.4	12.3	
中里北部連合町内会	69	33.3	59.4	29.0	24.6	33.3	1.4	7.2	
市ヶ尾連合自治会	94	25.5	51.1	39.4	20.2	20.2	2.1	13.8	
上谷本連合町内会	65	35.4	49.2	41.5	24.6	26.2	1.5	16.9	
谷本連合自治会	118	27.1	50.8	39.8	21.2	16.9	0.0	13.6	
恩田連合自治会	163	35.6	54.6	49.7	22.7	22.7	1.2	9.2	
青葉台連合自治会	181	28.7	52.5	37.0	19.9	20.4	1.1	11.0	
奈良町、奈良北団地連合自治会	107	24.3	62.6	47.7	20.6	23.4	0.0	3.7	
山内連合自治会	221	31.2	56.1	39.8	23.5	24.0	0.5	9.0	
荏田、新荏田連合自治会	224	31.7	52.7	40.2	18.3	23.2	0.4	7.1	
すすき野連合自治会	79	30.4	59.5	38.0	19.0	20.3	1.3	8.9	
美しが丘連合自治会	55	30.9	60.0	45.5	25.5	21.8	1.8	5.5	
無回答	80	26.3	50.0	36.3	10.0	15.0	1.3	21.3	

11. 証明発行窓口サービスについて

問 39 あなたは、区内の2か所の郵便局（青葉台、横浜奈良郵便局）で行っている証明発行窓口サービスを知っていますか。（○は1つだけ）

- ・「知らないが、今後は利用したい」が40.9%で最も多く、全体の約4割を占めている。次いで「知らないし、今後も利用するつもりはない」（22.6%）、「知っているが、まだ利用したことがなく、今後は利用したい」（19.2%）がそれぞれ2割前後である。
- ・「知っており、利用したことがある」「知っているが、まだ利用したことがなく、今後は利用したい」「知らないが、今後は利用したい」を合わせると69.0%で、今後の利用意向は7割近くに達している。



■ 年齢別 証明発行窓口サービスの認知度(問39×F1)

- ・いずれの年代でも「知らないが、今後は利用したい」が最も多くなっており、若い世代ほど数値が高い。また「知っており、利用したことがある」の数値は年齢が上がるほど高くなっている。

	合計	問39 証明発行窓口サービスの認知度						
		知っており、利用したことがある	知っているが、まだ利用したことがなく、今後は利用したい	知らないが、今後は利用したい	知らないし、今後も利用するつもりはない	無回答	知っているが、まだ利用したことがなく、今後も利用するつもりはない	
全体	1529	9.0	19.2	40.9	22.6	2.4	6.0	
F1 年齢(統合1)	10代20代	175	6.9	14.9	47.4	25.1	2.3	3.4
	30代	249	6.4	20.1	47.0	22.9	1.2	2.4
	40代	340	8.2	17.6	41.8	22.6	1.2	8.5
	50代	256	9.0	14.5	41.4	27.0	0.8	7.4
	60代	261	10.3	23.0	36.4	23.8	1.5	5.0
	70代以上	215	14.0	25.1	31.6	15.3	6.0	7.9
	無回答	33	3.0	18.2	42.4	12.1	18.2	6.1

■ 居住地区別 証明発行窓口サービスの認知度(問 39×F13)

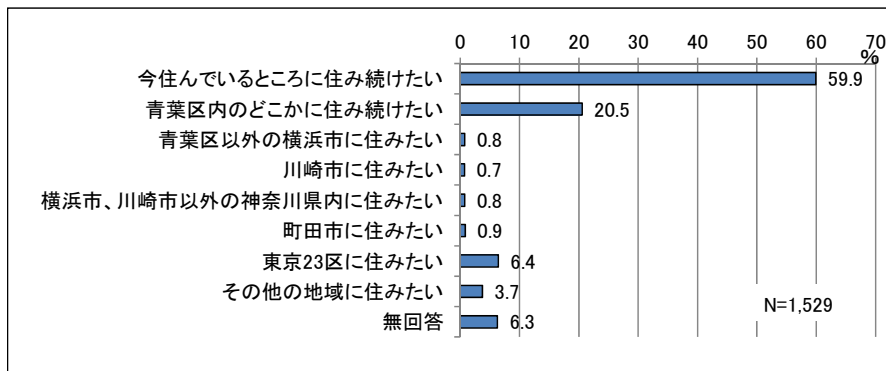
- ・青葉台連合自治会では「知っているが、まだ利用したことがなく、今後は利用したい」が、山内連合自治会では僅かながら「知らないし、今後も利用するつもりはない」が最も多く、それ以外の地区では「知らないが、今後は利用したい」が最も多くなっている。
- ・また奈良町、奈良北団地連合自治会では「知っており、利用したことがある」の数値が区全体値に比べて高くなっている。

	合計	問39 証明発行窓口サービスの認知度					
		知 あ る が あ っ て お り 、 利 用 し た こ と	い こ と が な く 、 今 後 は 利 用 し た こ と	つ も り は な い 、 今 後 も 利 用 す る	知 っ て い る が 、 今 後 も 利 用 す る	た ら な い が 、 今 後 は 利 用 し た こ と	知 ら な い し 、 今 後 も 利 用 す る つ も り は な い
全体	1529	9.0	19.2	6.0	40.9	22.6	2.4
F13 居住地区 (連合自治会 別)							
中里連合自治会	73	12.3	17.8	8.2	31.5	27.4	2.7
中里北部連合町内会	69	7.2	23.2	7.2	59.4	2.9	0.0
市ヶ尾連合自治会	94	2.1	20.2	10.6	38.3	24.5	4.3
上谷本連合町内会	65	6.2	21.5	3.1	49.2	13.8	6.2
谷本連合自治会	118	8.5	19.5	6.8	51.7	12.7	0.8
恩田連合自治会	163	7.4	24.5	4.9	48.5	12.3	2.5
青葉台連合自治会	181	16.0	34.3	5.5	29.8	11.0	3.3
奈良町、奈良北団地連合自治会	107	20.6	26.2	5.6	36.4	10.3	0.9
山内連合自治会	221	8.1	7.7	5.0	38.9	39.8	0.5
荏田、新荏田連合自治会	224	5.4	12.1	4.0	41.1	35.3	2.2
すすき野連合自治会	79	8.9	11.4	12.7	34.2	32.9	0.0
美しが丘連合自治会	55	3.6	12.7	7.3	40.0	36.4	0.0
無回答	80	6.3	22.5	3.8	41.3	16.3	10.0

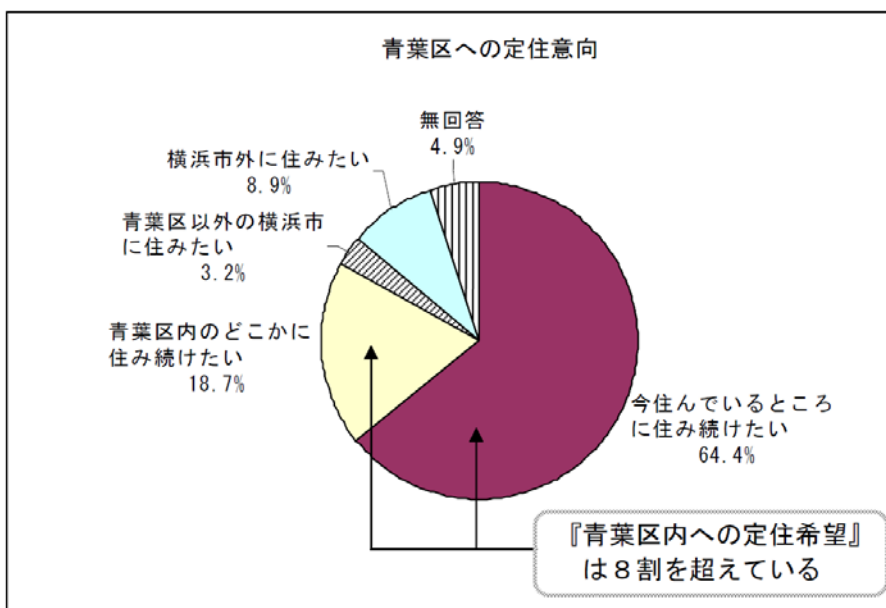
12. 青葉区への定住意向について

問 40 あなたは、青葉区に住み続けたいと思いますか。(〇は1つだけ)

- ・「今住んでいるところに住み続けたい」が 59.9%で飛びぬけて多くなっている。次いで「青葉区内のどこかに住み続けたい」が 20.5%で、これらを合わせると青葉区内への定住意向は 80.4%と、8割を超えている。
- ・平成 23 年度調査と比較すると、「今住んでいるところに住み続けたい」は 4.5 ポイント減少しているが「青葉区内のどこかに住み続けたい」は 1.8 ポイント増加している。これらを合わせた青葉区内への定住意向は 2.7 ポイント減少しているが、これは選択肢に「東京 23 区に住みたい」が増加しているなど若干の変更があったことも影響していると考えられ、定住意向が依然として8割を超える高い水準であることには変わりない。



<参考 平成 23 年度調査結果との比較>



■ 年齢別 青葉区への定住意向(問 40×F1)

- ・ いずれの年代でも「今住んでいるところに住み続けたい」が最も多く、年齢が上がるほど数値が高くなっており、70代以上では8割に達する。また30代では「青葉区内のどこかに住み続けたい」の数値が区全体の数値に比べて高くなっている。

	合計	問40 青葉区への定住意向									
		続今 けた住 たんで いいる ると ころ に 住 み	け青 たい葉 区内 のど こ か に 住 み 続	た青 葉区 以外 の横 浜市 に 住 み	川 崎市 に 住 み たい	川 県内 に 住 み たい 川 崎市 以外 の神 奈	横 浜市 、 川 崎市 以外 の神 奈	町 田市 に 住 み たい	東 京 2 3 区 に 住 み たい	そ の 他 の 地 域 に 住 み たい	無 回 答
全体	1529	59.9	20.5	0.8	0.7	0.8	0.9	6.4	3.7	6.3	
F1 年齢(統 合1)											
10代20代	175	42.9	27.4	2.9	0.6	3.4	1.7	11.4	4.0	5.7	
30代	249	44.6	34.5	0.4	1.2	0.8	0.8	8.0	4.0	5.6	
40代	340	60.3	21.5	0.6	1.5	1.2	0.6	6.5	5.3	2.6	
50代	256	59.0	21.9	0.8	0.8	0.0	0.0	6.6	4.3	6.6	
60代	261	75.1	12.3	0.4	0.0	0.0	1.1	4.2	3.1	3.8	
70代以上	215	80.0	6.5	0.5	0.0	0.0	1.4	3.7	1.4	6.5	
無回答	33	18.2	15.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	

■ 居住形態別 青葉区への定住意向(問 40×F4)

- ・ 持家(一戸建て)、持家(共同住宅)、借家(一戸建て)では「今住んでいるところに住み続けたい」、借家(共同住宅,社宅,公務員住宅,寮)では「青葉区内のどこかに住み続けたい」が最も多くなっている。

	合計	問40 青葉区への定住意向									
		続今 けた住 たんで いいる ると ころ に 住 み	け青 たい葉 区内 のど こ か に 住 み 続	た青 葉区 以外 の横 浜市 に 住 み	川 崎市 に 住 み たい	川 県内 に 住 み たい 川 崎市 以外 の神 奈	横 浜市 、 川 崎市 以外 の神 奈	町 田市 に 住 み たい	東 京 2 3 区 に 住 み たい	そ の 他 の 地 域 に 住 み たい	無 回 答
全体	1529	59.9	20.5	0.8	0.7	0.8	0.9	6.4	3.7	6.3	
F4 住居形態											
持家(一戸建て)	669	69.8	13.2	0.7	0.7	0.3	0.7	7.3	2.8	4.3	
持家(共同住宅)	402	70.6	13.7	1.0	0.7	0.7	0.2	5.2	3.0	4.7	
借家(一戸建て)	33	45.5	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	12.1	6.1	3.0	
借家(共同住宅,社宅,公務員住宅,寮)	373	37.0	40.5	0.8	0.8	1.9	1.6	5.6	5.9	5.9	
その他	4	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	
無回答	48	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	2.1	6.3	2.1	52.1	

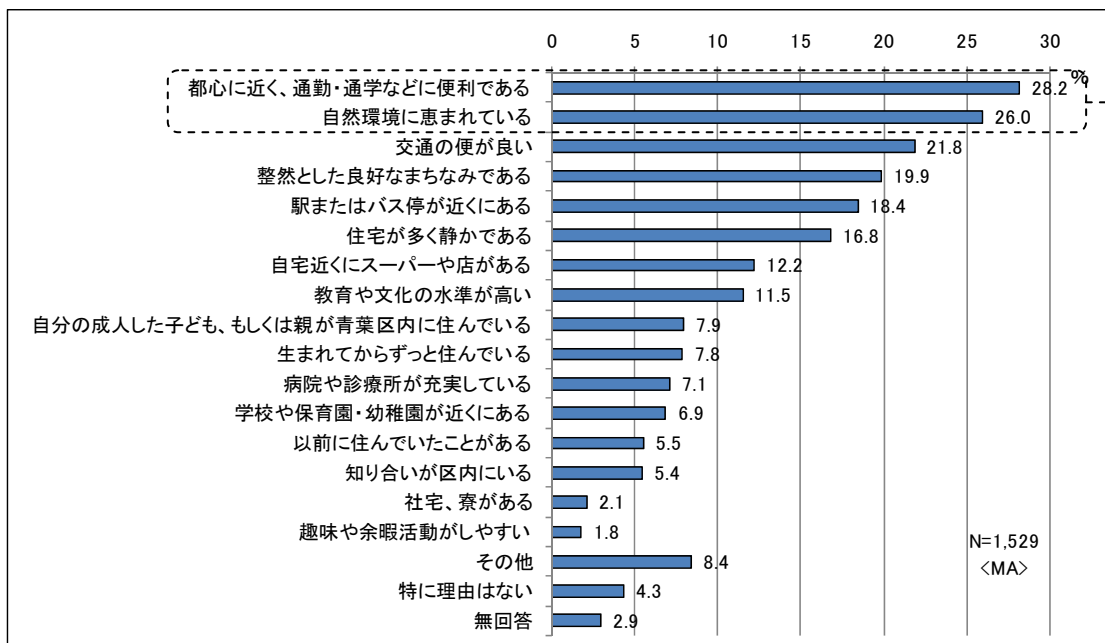
■ 居住地区別 青葉区への定住意向(問 40×F13)

- ・いずれの地区でも「今住んでいるところに住み続けたい」が最も多くなっている。
特に数値が高いのは美しが丘連合自治会である。

	合計	問40 青葉区への定住意向									
		続今 けた住 たいんで いると ころに 住み たい	け青 たい葉 区内 のど こか に住 み続 けたい	た青 たい葉 区以 外の 横浜 市に 住み たい	川 崎市 に住 みた い	横 浜市 、川 崎市 以外 の神 奈	町 田市 に住 みた い	東 京2 3区 に住 みた い	そ 他の 地域 に住 みた い	無 回答	
全体	1529	59.9	20.5	0.8	0.7	0.8	0.9	6.4	3.7	6.3	
F13 居住地区 (連合自治会 別)											
中里連合自治会	73	68.5	13.7	2.7	1.4	0.0	0.0	1.4	5.5	6.8	
中里北部連合町内会	69	59.4	23.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	8.7	4.3	
市ヶ尾連合自治会	94	59.6	20.2	2.1	0.0	1.1	0.0	8.5	3.2	5.3	
上谷本連合町内会	65	58.5	24.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	4.6	9.2	
谷本連合自治会	118	57.6	26.3	0.8	0.0	0.0	1.7	7.6	1.7	4.2	
恩田連合自治会	163	50.9	30.1	0.6	0.0	2.5	1.2	8.6	0.0	6.1	
青葉台連合自治会	181	60.2	19.9	1.1	1.1	0.6	1.1	7.2	4.4	4.4	
奈良町、奈良北団地連合自治会	107	57.0	14.0	0.9	0.9	0.9	3.7	4.7	6.5	11.2	
山内連合自治会	221	69.2	17.2	0.0	1.4	0.5	0.0	5.4	4.1	2.3	
荏田、新荏田連合自治会	224	55.4	21.9	1.3	0.9	1.3	0.4	8.5	4.0	6.3	
すずき野連合自治会	79	64.6	15.2	0.0	1.3	1.3	0.0	3.8	5.1	8.9	
美しが丘連合自治会	55	70.9	14.5	0.0	1.8	0.0	0.0	5.5	3.6	3.6	
無回答	80	53.8	18.8	0.0	0.0	0.0	2.5	7.5	0.0	17.5	

問 41 あなたが現在のお住まいの地域を選んだ理由は何ですか。(〇は3つまで)

・「都心に近く、通勤・通学などに便利である」が28.2%で最も多く、僅差で「自然環境に恵まれている」(26.0%)が続いている。以下「交通の便が良い」(21.8%)、「整然とした良好なまちなみである」(19.9%)、「駅またはバス停が近くにある」(18.4%)、「住宅が多く静かである」(16.8%)と続き、良好な住環境と利便性の高さが評価されており、問1で尋ねた「青葉区の魅力」が居住として選択した理由にも投影されている。



良好な住環境と利便性の高さ

- ◆ 「青葉区の魅力」上位5位
- 街路樹や公園など、整備された緑に囲まれている
 - 都心に近く、通勤・通学などに便利である
 - 買い物に不自由しない
 - 田園風景や森林など、農地・自然環境に恵まれている
 - 病院、学校、道路などの生活基盤が整っている

■ 年齢別 お住まいの地域を選んだ理由(問 41×F1)

- ・40代までの若い世代では「都心に近く、通勤・通学などに便利である」が最も多く、50代では「都心に近く、通勤・通学などに便利である」「自然環境に恵まれている」が同率、60代、70代以上では「自然環境に恵まれている」が最も多くなっており、50代を境に世代で傾向が分かれた。
- ・また10代20代では「生まれてからずっと住んでいる」、70代以上で「交通の便が良い」の数値が区全体や他地区の数値に比べて高くなっている。

		問41 お住まいの地域を選んだ理由																			
		合計	生まれてからずっと住んでいる	ある自宅近くにスーパーや店がある	病院や診療所が充実している	交通の便が良い	駅またはバス停が近くにあり	以前に住んでいたことがある	自然環境に恵まれている	趣味や余暇活動がしやすい	学校や保育園・幼稚園が近くにある	都心に近く、通勤・通学などに便利である	教育や文化の水準が高い	自分の成人した子どももしくは親が青葉区内に住んでいる	知り合いが区内にいる	整然とした良好なまちなみである	住宅が多く静かである	社宅、寮がある	その他	特に理由はない	無回答
全体		1529	7.8	12.2	7.1	21.8	18.4	5.5	26.0	1.8	6.9	28.2	11.5	7.9	5.4	19.9	16.8	2.1	8.4	4.3	2.9
F1 年齢(統合1)	10代20代	175	24.6	10.3	4.6	11.4	16.0	2.9	8.6	0.6	6.9	27.4	5.7	8.0	1.7	5.7	10.9	3.4	9.1	6.3	2.9
	30代	249	11.2	11.6	4.4	24.9	15.3	5.6	22.9	0.4	10.4	27.3	11.6	12.0	6.4	22.9	14.1	3.6	13.7	1.6	1.2
	40代	340	5.6	12.6	3.2	17.6	20.9	7.9	24.7	2.4	11.2	30.9	18.8	8.8	5.9	24.1	16.8	2.4	8.2	2.6	0.3
	50代	256	3.1	12.9	6.3	21.9	19.5	7.4	28.1	3.5	5.5	28.1	15.2	4.7	7.0	21.9	18.4	2.7	8.2	4.7	2.7
	60代	261	4.2	11.9	9.2	22.6	16.5	6.1	35.6	1.5	3.8	31.0	7.7	6.9	5.0	25.3	20.7	0.8	6.1	5.0	1.5
	70代以上	215	5.1	14.0	16.3	34.0	23.7	0.9	34.4	1.9	1.9	24.7	5.6	7.9	5.6	15.3	20.0	0.0	5.6	7.0	2.3
	無回答	33	0.0	9.1	9.1	12.1	3.0	3.0	6.1	0.0	3.0	12.1	6.1	0.0	3.0	0.0	6.1	0.0	3.0	6.1	60.6

■ 前住地別 お住まいの地域を選んだ理由(問 41×F7)

- ・生まれてからずっと青葉区の場合は「生まれてからずっと住んでいる」が圧倒的に多くなっている。前住地が青葉区以外の横浜市、横浜市、川崎市以外の神奈川県内、その他の場合は「都心に近く、通勤・通学などに便利である」、川崎市、町田市、東京23区の場合は「自然環境に恵まれている」が最も多くなっている。

		問41 お住まいの地域を選んだ理由																			
		合計	生まれてからずっと住んでいる	ある自宅近くにスーパーや店がある	病院や診療所が充実している	交通の便が良い	駅またはバス停が近くにあり	以前に住んでいたことがある	自然環境に恵まれている	趣味や余暇活動がしやすい	学校や保育園・幼稚園が近くにある	都心に近く、通勤・通学などに便利である	教育や文化の水準が高い	自分の成人した子どももしくは親が青葉区内に住んでいる	知り合いが区内にいる	整然とした良好なまちなみである	住宅が多く静かである	社宅、寮がある	その他	特に理由はない	無回答
全体		1529	7.8	12.2	7.1	21.8	18.4	5.5	26.0	1.8	6.9	28.2	11.5	7.9	5.4	19.9	16.8	2.1	8.4	4.3	2.9
F7 前住地	生まれてからずっと青葉区	114	71.1	11.4	6.1	15.8	8.8	1.8	12.3	0.0	3.5	14.9	5.3	14.9	7.0	5.3	8.8	0.0	2.6	0.9	1.8
	青葉区以外の横浜市	239	4.6	18.8	12.6	25.9	18.8	4.2	31.4	1.7	6.3	34.3	11.7	5.4	5.4	21.8	20.1	1.7	8.8	3.3	0.8
	川崎市	232	1.3	12.1	6.0	22.0	22.0	4.3	30.6	2.2	7.3	28.9	12.5	6.9	6.9	25.0	19.0	1.3	7.8	3.9	0.9
	横浜市、川崎市以外の神奈川県内	96	2.1	8.3	4.2	27.1	19.8	4.2	28.1	1.0	8.3	29.2	12.5	10.4	4.2	25.0	16.7	4.2	7.3	3.1	6.3
	町田市	37	0.0	21.6	8.1	27.0	13.5	0.0	40.5	0.0	10.8	13.5	13.5	0.0	21.6	18.9	0.0	10.8	5.4	10.8	
	東京23区	345	2.6	11.0	8.1	20.3	19.1	7.0	29.0	2.0	5.2	26.7	9.3	7.5	6.7	18.8	16.2	1.4	12.2	7.0	2.0
	その他	417	1.7	10.3	4.6	21.3	19.2	7.9	21.8	2.4	9.1	32.1	15.1	6.7	4.1	21.1	17.3	3.6	7.4	4.1	1.0
	無回答	49	14.3	8.2	6.1	16.3	12.2	2.0	8.2	0.0	2.0	12.2	2.0	12.2	4.1	6.1	8.2	2.0	4.1	4.1	36.7

■ 同居している子ども・65歳以上の家族の有無別 お住まいの地域を選んだ理由(問 41×F10,11)

- ・子どもが中学生では「自然環境に恵まれている」、それ以外では「都心に近く、通勤・通学などに便利である」が最も多くなっている。また子どもが乳幼児・未就学児、小学生では「学校や保育園・幼稚園が近くにある」、中学生、高校生では「教育や文化の水準が高い」が全体値に比べて高くなっている。
- ・65歳以上の家族と同居している場合は「自然環境に恵まれている」、別居だが区内にいる場合は「自分の成人した子ども、もしくは親が青葉区内に住んでいる」、いない場合は「都心に近く、通勤・通学などに便利である」が最も多い。

	合計	問41 お住まいの地域を選んだ理由																		
		生まれてからずっと住んでいる	ある自宅近くにスーパーや店がある	病院や診療所が充実している	交通の便が良い	駅またはバス停が近くにあり	以前に住んでいたことがある	自然環境に恵まれている	趣味や余暇活動がしやすい	学校や保育園・幼稚園が近くにある	都心に近く、通勤・通学などに便利である	教育や文化の水準が高い	自分の成人した子どももしくは親が青葉区内に住んでいる	知り合いが区内にいる	整然とした良好なまちなみである	住宅が多く静かである	社宅、寮がある	その他	特に理由はない	無回答
全体	1529	7.8	12.2	7.1	21.8	18.4	5.5	26.0	1.8	6.9	28.2	11.5	7.9	5.4	19.9	16.8	2.1	8.4	4.3	2.9
F10 同居家族																				
乳幼児・未就学児	174	9.2	12.1	5.7	21.3	16.1	6.3	25.9	1.7	17.2	27.6	12.6	11.5	4.0	20.1	10.9	5.7	11.5	0.6	2.9
小学生	217	6.9	6.0	4.1	15.7	18.4	8.8	25.3	1.4	17.5	27.6	20.7	10.6	6.9	23.0	14.7	3.2	10.1	3.2	0.9
中学生	153	8.5	11.8	3.9	17.6	19.0	8.5	28.1	2.6	13.1	24.2	21.6	7.8	3.9	22.2	13.1	2.6	9.2	3.9	1.3
高校生	128	7.8	14.1	5.5	20.3	18.8	10.9	22.7	1.6	6.3	27.3	21.9	5.5	4.7	19.5	13.3	2.3	7.8	1.6	2.3
専門学校生、大学生	157	9.6	12.1	5.1	18.5	15.9	5.7	20.4	3.2	9.6	31.2	17.2	6.4	4.5	23.6	15.9	2.5	6.4	3.8	1.3
上記にあてはまる家族はいない	836	6.1	13.2	8.6	23.9	20.6	4.4	27.5	1.4	3.0	28.6	6.9	7.2	6.0	18.8	18.9	1.4	8.3	5.4	3.3
無回答	75	16.0	12.0	5.3	16.0	5.3	4.0	25.3	2.7	6.7	25.3	9.3	5.3	2.7	14.7	16.0	2.7	6.7	5.3	9.3
F11 区内に65歳以上のご家族はいますか																				
同居している	497	9.7	12.5	11.9	25.2	19.7	3.0	30.2	1.6	3.4	24.1	5.8	7.8	5.0	18.3	19.1	0.2	8.2	5.6	3.8
別居だが区内にいる	119	16.8	10.1	5.0	19.3	12.6	10.1	22.7	1.7	7.6	21.0	10.9	34.5	10.9	15.1	10.1	2.5	7.6	1.7	1.7
いない	861	5.5	11.7	4.6	20.8	18.1	6.6	23.7	1.9	8.8	31.8	14.6	4.5	5.0	21.8	16.1	2.8	8.7	3.8	2.3
無回答	52	9.6	23.1	5.8	13.5	25.0	0.0	30.8	1.9	5.8	23.1	15.4	3.8	3.8	13.5	21.2	7.7	5.8	5.8	7.7

■ 居住地区別 お住まいの地域を選んだ理由(問 41×F13)

- ・中里連合自治会、上谷本連合町内会、谷本連合自治会、山内連合自治会、荏田、新荏田連合自治会では「都心に近く、通勤・通学などに便利である」、中里北部連合町内会、恩田連合自治会、奈良町、奈良北団地連合自治会、すすき野連合自治会では「自然環境に恵まれている」、市ヶ尾連合自治会、青葉台連合自治会、美しが丘連合自治会では「交通の便が良い」が最も多くなっている。

	合計	問41 お住まいの地域を選んだ理由																		
		生まれてからずっと住んでいる	ある自宅近くにスーパーや店がある	病院や診療所が充実している	交通の便が良い	駅またはバス停が近くにあり	以前に住んでいたことがある	自然環境に恵まれている	趣味や余暇活動がしやすい	学校や保育園・幼稚園が近くにある	都心に近く、通勤・通学などに便利である	教育や文化の水準が高い	自分の成人した子どももしくは親が青葉区内に住んでいる	知り合いが区内にいる	整然とした良好なまちなみである	住宅が多く静かである	社宅、寮がある	その他	特に理由はない	無回答
全体	1529	7.8	12.2	7.1	21.8	18.4	5.5	26.0	1.8	6.9	28.2	11.5	7.9	5.4	19.9	16.8	2.1	8.4	4.3	2.9
F13 居住地区(連合自治会別)																				
中里連合自治会	73	13.7	1.4	4.1	8.2	6.8	4.1	27.4	1.4	6.8	32.9	17.8	4.1	6.8	28.8	19.2	0.0	9.6	4.1	1.4
中里北部連合町内会	69	11.6	10.1	10.1	15.9	13.0	5.8	33.3	2.9	8.7	21.7	11.6	8.7	4.3	17.4	15.9	4.3	8.7	5.8	1.4
市ヶ尾連合自治会	94	11.7	16.0	7.4	29.8	25.5	7.4	18.1	4.3	1.1	17.0	9.6	4.3	6.4	10.6	19.1	2.1	6.4	2.1	4.3
上谷本連合町内会	65	6.2	9.2	10.8	13.8	20.0	3.1	18.5	1.5	12.3	29.2	10.8	6.2	7.7	21.5	18.5	3.1	9.2	7.7	7.7
谷本連合自治会	118	5.9	10.2	13.6	15.3	28.0	7.6	16.9	0.8	4.2	32.2	8.5	3.4	5.1	18.6	18.6	3.4	9.3	4.2	1.7
恩田連合自治会	163	6.1	11.0	3.1	20.9	16.0	4.9	31.3	1.2	6.1	28.2	12.3	11.7	7.4	22.1	17.8	0.6	5.5	1.8	3.1
青葉台連合自治会	181	12.2	17.1	9.9	30.4	18.8	6.6	15.5	1.1	7.2	24.3	13.8	8.8	1.7	16.6	11.6	0.6	8.8	2.8	3.3
奈良町、奈良北団地連合自治会	107	6.5	16.8	3.7	6.5	6.5	3.7	48.6	0.9	7.5	12.1	6.5	8.4	3.7	15.0	18.7	1.9	12.1	7.5	4.7
山内連合自治会	221	4.1	9.0	6.3	26.2	20.8	5.9	24.4	2.7	8.6	35.3	11.8	6.3	4.1	29.0	19.9	1.8	7.7	3.6	1.8
荏田、新荏田連合自治会	224	5.8	11.6	4.5	27.2	21.9	4.9	23.7	1.3	5.8	38.4	13.4	8.5	6.3	16.5	15.6	4.0	8.9	3.6	2.2
すすき野連合自治会	79	7.6	16.5	13.9	20.3	16.5	7.6	36.7	1.3	10.1	22.8	10.1	13.9	12.7	19.0	12.7	1.3	10.1	3.8	1.3
美しが丘連合自治会	55	7.3	16.4	3.6	30.9	20.0	7.3	29.1	3.6	9.1	29.1	10.9	7.3	7.3	27.3	9.1	1.8	3.6	10.9	0.0
無回答	80	11.3	13.8	5.0	17.5	15.0	1.3	27.5	1.3	5.0	22.5	8.8	10.0	2.5	15.0	20.0	2.5	8.8	7.5	7.5

13. 区政について

問 42 青葉区政について、具体的なご意見、ご要望、ご提案がありましたら自由にご記入ください。

- ・ 青葉区政についての意見として、256 件の記述があり、計 396 件の意見が挙げられた。
- ・ 意見が多かったのは、分野ごとに「行政」111 件、「環境」82 件、「道路・交通」59 件、「福祉」47 件、「教育・文化」39 件、「防犯・防災・安全」26 件、「地域社会」19 件、「医療」13 件の順である。
- ・ 各分野の中で項目をまとめてみると、最も多かったのは「自然環境」についての 26 件である。以下、目立ったものとしては「区政一般・青葉区の将来像」、「ゴミ分別・ゴミ収集」、「道路」、「子育て支援」（共に 23 件）などとなっている。

意見・要望・提案(自由記述)の分類別件数

大分類	中分類	件数	大分類	中分類	件数
行政		111	福祉		47
	区政一般・青葉区の将来像	23		子育て支援	23
	広報・広聴	21		保育所	9
	公共施設	14		高齢者支援	7
	税金・税の有効活用	13		若者支援	5
	行政サービス	13		障害者支援	3
	行政改革	11		教育・文化	39
	アンケート	7		教育	16
	職員の資質	7		図書館	12
	協働	2		スポーツ	8
環境		82	文化活動	3	
	自然環境	26	防犯・防災・安全	26	
	ゴミ分別・ゴミ収集	23	防犯	11	
	住環境	20	防災	8	
	ペット・動物	6	子どもの安全	7	
	路上喫煙	4	地域社会	19	
道路・交通		59	地域活動	6	
	道路	23	地域商業振興	6	
	公共交通	15	地域コミュニティ	5	
	自転車	9	退職後高齢者の活用	2	
	電車・バスの混雑	6	医療	13	
	交通マナー	4	医療体制	10	
	その他交通機関	2	病院・医院	3	
			計	396	

自由記述内容一覽

行政について

区政一般・青葉区の将来像

みんなが住みやすい街になっていることを喜び、区政について、皆さん努力されていることに心より感謝いたします。
どんな人間にも住みやすいことは、弱者だけ住みやすい以上に望ましいことではないか。
今回の区民の意識調査等を積極的にやっており、区行政担当者の姿勢が非常に良いと思います。区と住民共々手を携えて、より良い青葉区にしたいものです。
電力不足等、日本の問題に協力できる体制作りをしてほしい(節電などの間接的なものではなく、もっと直接的なもの)。
市ヶ尾に住んでいる。警察署、法務局、税務署等公共施設が揃う地域ではあるが、駅周辺が発展しておらず、店舗の入れ替えも激しい。また路駐も多いので、街づくりについて、もう少し区政で積極的に取り組んでほしい。
横浜市が行政単位として大きすぎるため、青葉区は他のひとつの市に匹敵する規模を持つに至っている。区として独自の取り組みができるようなシステム作りが必要ではないか。
開かれた政治という感じがしています。
きめ細かな心のこもった街づくりや、老人を大切に作る街づくりを希望いたします。
「健全な街づくり」を第一に考えてほしいです。
中央(関内)とのつながり、一体感をあまり感じない。
もっと新しい発想で、新しい事を考えてほしいと思います。
保育料の値上げは、時代に逆行。福祉が高齢者に偏り過ぎ。信じられない！
34年以上住んでいますが、住んでいる方は良識のある質の高い方が多いと思います。年齢に関係なく、皆が生活しやすい満足度の高い街作りを望んでいます。
東京都に比して福祉、医療等不十分な点が多い。なぜ「東京通勤民」なのかを、もっと考えてください。これからは地元の時代です。
街づくりに若者を巻き込んでいく策を考えると良いと思います。
横浜市(青葉区)は子育て支援に力をいれているように感じるが、それだけではなく、景気・雇用の方に力を入れてほしい。
より豊かで、住みやすく、安心・安全な街づくりをお願いいたします。
市民の中であって、調整者であってほしい。何でも行うのではなく、支援し、支える存在であってほしい。人々を支える仕事であると思う。誇りを持って頑張ってください！
障害者、高齢者に優しい街にしてほしい。
現在の日本の状態を感じ、真剣に政治を行うことを期待します。公務員の方々、行政に関わる方々、全て個人個人が考えて公務に励むことを期待します。
区民のための活動を積極的に行ってください。
現在の区政は概ね良と評価している。上記のごとく、更なる進展を期していただきたい。
事業の決定過程および出来栄え評価をチェックする仕組みが必要のように思われる。

広報・広聴

区民との話し合いの場を設けてほしい(議題を事前に決めて)。
青葉区犯罪情報(メール配信)について貴重で評価しています。ただ自転車盗は一括何件で良いのではないかと。また、発生地域標示で「市ヶ尾町」とあるが、国道247号で分かれている東西ではかなり事情が異なるので、例えば「市ヶ尾東」「市ヶ尾西」などとしたらいかがでしょうか。
行政方針が見えない。
シニア向けの広報を継続して発行してほしい(とても参考になるため)。
私は公園の隣に住んでいますが、今回公園の大規模改造が行われました。地域住民に区役所から町会の上の方に話はあったものの、隣に住んでいる一番公園と関わる者には何の話もなかったのは、大変問題だと思った。今後、そのような事のないよう願う。
何故区政が必要なのか、十分理解できていないので、一度説明してほしい。
情報を入手する機会を増やしてほしい。
何に積極的に取り組んでいるのかよくわからない。

まだ住み始めたばかりなので、細かな情報提供をしていただきたい。特にホームページなどには細かな説明を載せてほしい。
住民と行政との間のギャップ大。浮いているよ！
広報活動はよく行っていると思う。
社会情勢の変化に応じた情報提供を期待する。
今回のアンケートを読むまで知らなかった事業がいくつかあったが、知っていたら参加したいと思えるものだった。気を配っていなかったせいもあるが、もう少し広報活動に力を入れてほしい。
いまいち区が何をしているのかわかりません(特に日中家を空ける人達には)。もう少し区政に関心が持てるような工夫があれば良いと思います。
もっと積極的に顔が見える活動をしてください(意見交換会とか)。
地域住民との接点のある場所での直接の声と問題の吸い上げ(例えば持ち寄りパーティや自然の中でのバーベキュー)。
正直、何をやらしてもらったわけでもないと感じているので、アンケートに答えてくださいと連絡が何通きても、書くことが特にありません。もう少し何をされているのか告知すれば良いと思います。広告を使っただけの展開など、いくらでもできると思います。でなければ、区民は関心を持ってません。
情報をもっと区民に発信していくべき。
あおバリューTV 楽しみに見えています。市・区の取り組みや区内について、わかりやすい情報発信に工夫が感じられます。さっくんの個性が伝える側の意図と合っていて、明るく、楽しく、それでいて押しつけがましくなく、また見たいと思わせます。ぜひ続けてください。
情報の提供。
習い事など、何かをしようと考えた時の情報サービス。

公共施設

ケアプラザを作してほしい(すすき野在住)。
市役所が駅から遠くて行きづらいので、各種手続きやイベント、健診などをもっと便利な場所でやってほしい。
青葉スポーツセンターを利用するため車で移動しますが、駐車料金が隣接する駐車場より高額になるのはいかがなものか。
あかね台地区は地区センターや図書館などが利用しづらい！車で行くのですが、駐車場に制限がある。同じ青葉区でもサービスが平等でない気がします。
区庁舎の場所が不便だと思います。
公的な施設を増やすばかりでなく、既存の実態を調査し無償提供しているケアプラザの貸室などについて、再検討すべきである。地域包括支援センターの開所時間 12 時間(東京は 8:30～17:00)が、果たして必要であるか否か。環境問題(光熱のエネルギー)を合わせ、早急に再考を望む。
区役所の駐車料金が少し高めであると思います。
地区センターの駐車場が使えません。奈良などは車でないと利用しづらく、考慮願います。
あざみ野にあるアートフォーラムは必要でしょうか？あまり必要性が感じられませんし、スタッフが多すぎる気がします。
スポーツセンターの駐車場代を安くしてください。
恩田町の内田は不便で、地区センター、集会所さえありません。若い人、年寄りが集まる場所があったらと思います。今のところに来て 40 年変わっていません。
区民が安価に利用できる保養所をぜひ検討してください(長野、静岡、箱根等)。他地域ではそういった福利厚生施設が充実しているようです。
区役所が暗すぎて、つい都築区役所へ行ってしまう。
地区センター等も利用しづらいです。

税金・税の有効活用

税金を払っているのに、還元されるのは子どものいる家庭と老人などの弱者のみなので、もっと平等に参加できる環境になってほしい。
住民税を減税してほしい。
何に使っているのか詳しく知らないが、税金が無駄なことに使われないようにしてほしい。

固定資産税、県・市民税が高すぎる(大・中都市比較)。高齢者減税制度を至急に制定してほしい。
税金が高い。
税金が高い。
住民税が他区と比較し非常に高い。
質素・節約をしてほしい。住民税が高すぎる。
青葉区は財源が少ないからか、住民税をはじめ税金が高いです。高齢の両親がいますが、税金が高すぎると嘆いています。
住民税が高い。
市民税を納めていても税金の恩恵を受けている実感がない(ゴミの回収のみ)。とにかく住みづらい街である。税金がどこに使われているのかわからない。
税金の無駄遣いのないようにしてほしい。
市県民税を安くしてほしい。

行政サービス

証明書窓口サービス、郵便局は良いと思います。是非、市ケ尾の郵便局で、26時間対応できるようにしてほしいです。
行政サイドは十分にサービス提供している。
区役所が遠いので行政サービス窓口(駅ナカ)を増やしてほしい。
役所の土曜日開庁も助かっています。
生活保護受給者に対し、現金ではなくクーポン支給に変え、義務(清掃等)を付与すべき。
住民へのサービスなどは、町田市のほうが細かくて親切のように思う。例えば、保育園、公共施設の利用等(娘が町田市なので)。
市ケ尾に在住ですが、住所表示を整理して、新しく〇丁目ー〇番地ー〇号にしてほしい。
私はほぼ寝たきりで外出はできません。トイレ、入浴はできるので要支援1です。デイサービスはあっても利用する体力はなく、主人が今は元気という理由で、ヘルパーサービスはありません。先行きを思うと心配です。在宅サービス、介護付老人ホームの充実をお願いします。
町田市との境界付近に住んでおり、行政サービス等が近隣自治体でも受けられるようにしてほしい(例えば、図書館の利用など)。
青葉台の駅ビル内に図書館や行政サービスがあると良いと思う。
同じ青葉区でもサービスが平等でない気がします。
無料カウンセリングサービスを行ってほしいです。

行政改革

財政悪化を食い止めるため、より行政のスリム化が必要。有効に財源を利用できるように、サービスの選択が必要。全方向性のサービスから効率性、必要性から core と Non core にサービスを分けるべき。その上で Non core 業務の縮小ではなく、削除してしまうことで、人員の削減をし財政悪化を食い止める。
住基台帳、社会保障番号(?)一元化による業務の効率化を図り、公務員の削減をし、税収の効率配分を! 税収の人件比率をもっと下げる。
大阪府・市では行政改革に取り組み、人件費の削減、退職公務員の天下り禁止、退職時の格上げの禁止、年金の見直しなどを行っていますが、横浜市では何の取り組みもされていない。知らんぷりをしているだけだとダメで、後になってやるほど厳しく、きつくなりますので、早急に取り組みねばならないと思います。
役員を少なくしろ。この人件費は無駄遣いですよ。いらないでしょ。必要ならそれなりの働きをしなさいよ。削減できるところは、まだまだあるはずですよ。
合理化の推進。県・市では行えない独自業務の項目ごとにリスト化、経費のリスト化、必要性に関する住民の意向調査。 ※何故区政が必要なのか、十分理解できていないので、一度説明してほしい。
職員の勤務査定を厳格にし、職員数を減らすことが不可欠だと思う。
全国的に行政の財政難の時勢ではありますが、ともするとサービス面から削る傾向にあると思われ(ゴミ収集日の減等)。しかし選挙のための人件費や無駄も多くあると聞きます。細かいですが、見直す必要のあるものからお願いしたいと思います。

東京 23 区は区長を選挙で選んでいます。なぜ横浜市はそうではないのでしょうか。区長が身近に感じられません。人事異動になっただけという印象です。
青少年、若者の自立については、本人および家族の問題と考えるので、区の貴重な財源をその対策費に使うことは、納税者として納得がいかない。障害者、高齢者等本当に困っている方々へ手厚く対策を行ってほしい。
区長公選、区地域内の活力アップ。
寺家ふるさと村や鴨志田公園の整備事業において、不必要と思われるものが目につく。将来、河川敷と同様に里山までコンクリート付けになりかねないようで心配。事業の決定過程および出来栄評価をチェックする仕組みが必要のように思われる。

アンケート

調査結果を公表すると同時に、どのように取り組まれるのか明確にしてほしい。
アンケート、とても良いと思います。回収された意見を是非お役に立ててください。
今回の調査の趣旨がよくわかりません。回答の数に制限があったり、何かおかしいと思います。本当に意見を求めるのであれば、フリーで記入できる項目があったほうがよいのでは。
アンケートをすることで満足してほしくない。内容をどう理解して、行動に移したかで区政の良し悪しを判断する。
これだけ時間のかかる調査をしているのだから、ちゃんと結果を教えてほしい。
今回のアンケート調査で名前の記入はないが、地域や年齢等が限定される。区民をランダムに選定しているなら、そちらで誰に送付したか確認できると思う。その個人情報とアンケートの記入内容から個人と結びつくと思います、どのようにお考えでしょうか？無記名で良いと記載があるが、関係ないと思う。
アンケートの○の数の設定について どういった基準で、いつでも、1つまで、3つまでなのかが気になる。おかしいと思うところはいくつかあった。

職員の資質

区長が存在感に欠ける。
区役所の職員が無愛想(全員というわけではありません)。
区庁舎を訪れると、本当に暇そうにしており、遊び感覚で在勤している職員が多いと感じる。
清掃局の職員の方達が勤務中(運転中)にくわえたばこをしているのはなぜですか。 青葉区役所の職員の方が信号無視をして横断歩道を渡るのはやめてください。もっと区民の手本になれるような行動をしてください。
「対応が気に入らないなら横浜市を出ていて」という職員の対応は許し難い。どういう教育を職員にしているのか、職員の教育からやるべき。
青葉区役所で最も便利な駐車場は、区役所職員用に使用されているそうです。事実か否かは知りませんが、区民にはそういう不信があるのは事実でしょう。
障害支援課では消極的、いわゆる定時業務、相談がなければ何もなしのお役所仕事です。行事、障害者のための運動会イベントもボランティア組織に丸投げしたと聞きました。さまざまな点で積極的に仕事をしてほしいものです。そのための税金です。

協働

区民である私達も手助けをしたいと考えています。
住民が負う義務をもっと体感し、行政サービスを真剣にサポートしてほしい。子どもから大人まで人間としてのマナーを再勉強するといひ。

環境について

自然環境

谷本川の整備(不法投棄など)。
道路垣根(雑草)整備の遅れ。草むしりのコストを下げるため、雑草の生えない土をまく。
青葉区といいながら、年ごとに緑が減ってしまいました。空気が悪くなりましたね。
青葉区のブランド力向上のため、緑化には率先して取り組んでいただきたい。
青葉区は気に入って住んでいます。なるだけ緑の多い街並みにしてほしいです。
家庭農園の拡充:このための農地の確保。
地産地消の原則を生かし、農業地の確保と就業の自由を生かす。
以前は家の周囲に緑が多かったが、最近ではアパート・マンションになり、緑がなくなった。これ以上緑地がなくなる政策を考えてほしい。
垣根の枝や葉が歩道に飛び出していて、通行の邪魔になる箇所が多い。
江田から市ヶ尾にかけての246沿いの歩道の植え込みが完成した時、せっかくツツジをきれいに植樹してくれたと思ったら、その後の手入れがまるでなされず、とうとう今ではツツジがダメになり、雑草がはびこるばかりです。業者の手抜きなのか、行政がダメなのか知りませんが、時給600円位出して、毎回2時間程度、高齢者に手入れを頼めばやってくれる人はいくらでもいると思います。ボランティアでただ働きしてもらおうと思ったら、それは続きません。甘いです！税金をそういう所に使ってください。
昨年、近所の用水路の工事がありませんでしたが、その時、ホタルの幼虫なども一緒に掘り起こし、今年はいまだにホタルを見ることができません。 側面が崩れる心配はなくなりましたが、川の生き物たちの事を無視していいのでしょうか？土手に咲いていた花も根こそぎ摘まれました。工事をする前にもう少し調べてはいただけませんか。
企業活動を拘束するつもりはないが、開発業者の活動には一定の歯止めが必要である。緑の環境が次々と蚕食されていくのには全くしのびない。小規模な自然公園にするなど、公共機関による買収で管理・運営に尽力してほしい。
さらに緑あふれる自然の多い町にしてほしい。
まわりにマンションが建ち始め、郊外の良さがなくなってきた。人が多すぎる。
街路樹の剪定は、毎年伸びた部分は切っていただきたい。電線にかかり、危険な場所もあります。
街路樹を裸にしてしまうのは、如何なものか。落ち葉対策なのであるが、美観を損なうので、できるだけやめてほしいと希望する。
銀杏並木の整備を定期的に、まんべんなく行うべき。
東名のせいか空気が汚い。
住まいの近くに早瀬川がありますが、両岸はコンクリーでどぶ川のように見えます。青葉区というには淋しい限りです。青葉区に越してきた時と比べると、交通量は格段に増えています。両岸に潤いがほしいです。
街路樹等充実しているが、街灯が木々に隠れて暗く、とても危険。防犯、事故防止のためにも、早急に考えてほしい。
公園の整備、町の緑化等はよくなされており、これは今後も継続していただきたい。
都筑区と青葉区の境に住んでいます。都筑区の方がいろいろな面で優れていると思います。青葉区は緑が多いが、手入れがされていない所も多い。近所の川もゴミだらけで、夏には異臭がして川沿いを歩けない。何とかしてほしい。
環境が良く、一生住みたい町。
緑が多く、自然にふれることができる環境で、安心できると思います。
自然があるので住みやすい。
河川の清掃、植樹等も住民参加でさらに発展させていただきたい。

ゴミ分別・ゴミ収集

ゴミに関して、住民に甘えすぎている。
収集日のたびたびの変更。
ゴミに関して、住民に甘えすぎている。
新住民への周知不足。

<p>ゴミに関して、住民に甘えすぎている。 家庭のゴミ発生状況の変化に対応しきれていない。プラスチックゴミの増加に対し、週一のペースを変えない。</p>
<p>ゴミに関して、住民に甘えすぎている。 他地区民、通行人による不法投棄で大変迷惑している。</p>
<p>プラスチックごみの回収を増やしてください。</p>
<p>ごみ収集の時のペットボトル、缶、びんをすべて一緒に(混合で)集めてしまうことが気になります。そこの分別はした方がよいのでは。</p>
<p>ゴミを分別することによって燃えるゴミなどは減りましたが、プラスチックゴミの多さにはびっくりするほどです。買い物をすれば包装してある袋・容器はすべてプラスチックゴミです。週1回の回収ではなく、週2回に増やしてほしいです。</p>
<p>ゴミの分別はいいが、非常にわかりづらい。広報を徹底してほしい。また、すぐ変更になるのは困る。</p>
<p>ゴミの不法投棄などをする人に対して重いペナルティを。 皆が守っているゴミの分別を、ほんの少しの人が守らないだけで町がとても汚れてしまう。</p>
<p>良好な居住環境で生活していることで、恩恵を感じております。特に生活ゴミの回収業務の遂行に力を入れていただいております。今後とも分別回収、リサイクルに積極的に取り組んで参ります。その他の多くの行政を含めて、よろしく申し上げます。</p>
<p>ゴミの収集の曜日が変わるのは混乱します。変更後、半年経った今でも、以前の曜日に出している人がいるので、集積場にゴミが残っていることがよくあります。変更するメリットがわかりません。また、変更した旨の周知方法が集積場への掲示だけでは不十分です。</p>
<p>私は荏田町に住んでいますが、ゴミ集積場の設置が、街並みとあわず不自然で、もう少し衛生的にゴミ置き場を造ってほしい。</p>
<p>ゴミ出しを厳しくすることにより、不法投棄が増えている。</p>
<p>市ケ尾にあったリサイクルセンターが閉鎖されました。時代に逆行していると思います。再考願います。</p>
<p>夏場の生ゴミはやはり週4日の収集をお願いします。</p>
<p>粗大ゴミの料金が高いように思う。 使用できるものであればリサイクルに出したいのですが、面倒。</p>
<p>ゴミの回収時刻が8:30頃で、早すぎて出せないことが多い(夜の帰りが遅いので)。とても不便です。回収時間を考えてほしい。</p>
<p>プラスチックゴミの回収が週一は少ない。</p>
<p>ゴミの分別を徹底できないエリア(特に賃貸マンション等のオーナーや管理不動産)への指導を積極的に行ってほしい(ゴミ分別用ボックスの設置を促すなど)。賃貸入居者に働きかけても、あまり意味がない。</p>
<p>せっかく分別したゴミも、処理場では再度混合していると聞いた。本気で対応する気はないとしか思えない。</p>
<p>ゴミ分別は理念として正しく、理解できるが、焼却炉は分別しなくて問題ないと聞いている。コスト・制度の面から無駄なのではないか。</p>
<p>ゴミ置き場の当番が回ってきてもやらず、「近くの人がやれ」という態度で違反ゴミをだす。ゴミ置き場に近い人に「私たちの方に向いている窓は、暑い夏でもみな閉めておけ」と無理難題を言い、やらなければ違反ゴミを出したり、ゴミを散らかしたりという、嫌がらせの材料にゴミ置き場は使われている。ゴミ置き場を使う人は、清掃する大変さを経験すべきである。清掃しない人が多くいることが都筑区や緑区の友人達には考えられないことらしく、青葉区だけ、どうして？。</p>
<p>生ゴミの収集は週3回行ってほしい。</p>

住環境

<p>青葉区、大好きです。「青葉区民です」と胸を張って言えます。</p>
<p>青葉区に住んでいることに誇りを持っています。</p>
<p>真夜中の若者(特に中学生くらい)の出歩き、そしてその時の話し声が静かな町には非常に響く。近くには小さな子や高齢者の方もいて、正直とても迷惑ではないだろうか。</p>
<p>駅前の環境が悪い。パチンコ店の出店を規制する条例を作してほしい。</p>
<p>町のあちこちにゴミが目立つようになった。彼らを厳しく取り締まる罰則を作っていただきたい。</p>

<p>嶮山公園の日常的な清掃の機会があったら協力したいと思っています。個人ではゴミ(落ち葉など)の廃棄場所がわからず、自分の所へは運搬ができませんので。</p>
<p>飛行機の音が煩い。多分、厚木が原因だと思いますが、どうにかならないでしょうか。</p>
<p>青葉区が好きなので、これからも住み続けます。</p>
<p>老後が心配なので、年金で生活できる町に住むつもりです。</p>
<p>道路の清掃や空き地管理をもっと徹底し、環境整備が必要である。</p>
<p>清掃車の広報がうるさくてかきません。押しつけがましい。</p>
<p>昔からの開発で老朽化した一軒家が増え、管理が行き届いていなくて、夜そばを歩きたくないです。火事も心配です。</p>
<p>30年以上住んでいますが、住んでいる方は良識のある質の高い方が多いと思います</p>
<p>とにかく住みづらい街である。</p>
<p>年に一度くらい電灯が切れそうな状態になりますが、どこへ連絡すべきかといつも思っています(つつじが丘第2公園のそば)。</p>
<p>物価が高くて住みづらい。</p>
<p>あかね台入口の交差点からこどもの国方面へのびている道路は、自動車の騒音が結構ひどいです。大型トラックや改造車などもかなり走っているので、少し規制をしていただくか、警察の取り締まりなどを強化していただけたらと思います。</p>
<p>他の町や区に行きますと、青葉区の区画や街並みの整然ときれいなことをいつも感じてしまいます。青葉区の誇りです。</p>
<p>良好な居住環境で生活していることで、恩恵を感じております。</p>
<p>住んでみて、全体的に良い所だと思う。</p>

ペット・動物

<p>カラス、野良猫の駆除</p>
<p>ドッグランできるスペースを作ってください。</p>
<p>青葉台1丁目、鴨志田辺りに野良猫が多い。区役所、保健所、警察にも相談したが、解決方法が見当たらない。野良猫にエサをやると法で罰せられるなど、取り締まる方法はないのだろうか？エサをやることで、カラス、野良猫がどんどん集まり、庭を荒らして非常に不愉快な日々を送っている。エサをあげている本人は、偽善者でネコに問題は全くないのですが…。</p>
<p>美しが丘2丁目の近辺には、区で管理されている空き地がたくさんあります。週末、野球やサッカーで利用されるだけの公園内のグラウンド等、いつも平日の日中は利用されず、とてももったいなく思っています。是非、ドッグランとして利用できるよう、どこか1つだけでいいので、そのような条例並びに、多くの区民が有効に利用できるようにお願い致します。</p>
<p>犬の排泄も平気で他人の家の庭や、玄関でしていく。梅雨の時期はたくさんの犬の排泄物で道が臭う。犬を飼う条件として、どうせ散歩させるので週一回の清掃を義務づけてほしい。</p>
<p>ペットのしつけの義務化。道に犬のフンが放置されていたり、放し飼いにしている猫が敷地内でフンをしていくので困っている。</p>

路上喫煙

<p>タバコのポイ捨てが多い。</p>
<p>路上喫煙及び不法投棄に対して、規制を強化してほしい。</p>
<p>歩きタバコに対する規制・監視を強化してほしい。</p>
<p>最近、家や職場、飲食店などで喫煙できない場所が多いせいか、路上での喫煙者の姿がとても増えているように感じます。飲食店などだけではなく、屋外も取り決めを作らなければ意味がないのではと思います。自分は特にコンビニ前を通るのが嫌です。ぜひ、検討をお願いします。</p>
<p>路上喫煙を全面禁止にしてほしい。</p>

公園

<p>公園、緑地の拡充とトイレの整備。</p>
<p>公園の樹木の整備をもっと充実してほしい(予算の問題があるなら、思いきった伐採も必要では)。</p>
<p>公園が少ない。</p>

道路・交通について

道路

同じ路線バスが通る道でも、整備されているところと、車道も歩道も狭く自転車ではとても危険な所がある。
高齢者が多く、カートを利用して散歩や買い物、通院する人を見ると、アスファルトをクッション性の良いものに変えてほしい。
市ヶ尾駅への道が劣悪です。歩道の無意味な凸凹、急に狭まる歩道幅等、信じがたい悪施行です。大場町 117 番地から 272 番地に至る道には歩道がないため、旧農業用水路にコンクリート板が敷かれ、歩行者は利用しています。高低差があり、非常に歩きづらい。外灯もなく、夜間は足元が見えず、ますます危険。何とかしてください。
家から駅まで行く道に歩道がないので、子どもはかなり危ないと思います。可能であれば、歩道を作ってほしい。
道路標識の薄れているものが目立つ。
道路や歩道の地割れ(穴あき)が目立つ。
田奈駅前の整備(特に道路)。
青葉台の駅前の歩道が狭い。商店の看板(違法)が多く歩きにくい。また、朝夕の送迎用の車の乗降が渋滞の原因になっている。駅前通過車両(北←→南)を迂回させる方法を検討すべき。
東急百貨店前レンガ歩道の降雨時の水はけが悪い。
私は荏田町に住んでいますが、車道が狭く、雨が降ると傘をさしたら歩けないほどです。一方通行にしてほしいと常々思っています。
横断歩道を増やしてほしい。
自宅(マンション)から江田駅に通じるお伊勢橋の路面の傷みがひどく、修復工事を願っています。
あざみ野駅前ロータリーの草取りは市か東急か？わかりませんが、駅前なのでキレイにしてほしいと思います。
あかね台から長津田駅までの道路(狭くてゴチャゴチャしている)を、なんとか整備してほしい。
道路の破損修理依頼をしたが断られた。
あざみ野駅ロータリーを使いやすくしてほしい。車の送迎に不便。バスの便が多い割に狭く、信号のつながりが悪い。
あざみ野駅のロータリーが狭すぎる。
バス通りに信号が少ないため、横断するのが怖い。
住宅街区の道路で補修されるのはメイン道路のみで、その他の道路は亀裂や崩壊が進んでも補修されない。この地に住んで 30 年近くになるが、補修を見たことがない。気持ちよく住むためにも、そろそろ道路工事をしてほしい。
同じ場所の交通事故が多い(信号のない十字路)。行政も関わって、改善してほしいです。
マンホールが車が通る度ガタガタとうるさい。
歩道が異常に狭いところをいい加減改善してほしいです。 歩道の車両乗り入れ部分は、歩道自体まで傾斜にする必要性はあるのでしょうか？高齢者にはその傾斜が歩きづらい。足腰が弱くなっても住みやすい街作りを。
道路が狭い。

公共交通

都心への交通の便の増加を期待したいです。
せめてバス停には街灯と簡単な雨よけがあれば良いと思う。
柿の木台交差点から自動車教習所に向かう道は、交通量も多いのにバスが整備されていないため、不便である。
市営地下鉄の運賃は高い。
市営地下鉄へのバス便。
急行が止まるようになってほしい。
奈良地区は高齢者も多いと思われませんが、どうしてバスはノンステップでないのでしょうか？お年寄りの方がとても辛そうにバスを乗降しているのをよく目にします。

駅に行くまで交通の便(バスの本数)をより良くしてほしい(特に小田急バスと東急バスが走っている市境付近)。
お年寄りが多いので、バスの本数をもう少し増やしてもいいのではないかと思います。
鴨志田地区に住んでいます。田園都市線と小田急線の間位置しますが、双方の連絡バスがほとんどありません。県、市、区の縦割り行政あるいは東急と小田急の利害が絡んでいると思いますが、住民の立場からは公共交通手段を確立してほしい。
東急グループ以外の交通機関を作してほしい。
日曜・祭日にイベントがある時、区役所まで行くバスがなくて大変不便です。
バス路線が自宅から離れている上に、商店が駅前にしかない。高齢化が進むにつれ、買い物難民、医療難民が増えそう。もう少し地域に配慮してほしい。
バスを減らさないで。
富山県の路面バスのような高齢者にも乗り入れがやさしい乗物を考案してほしい。

自転車

自転車の乗り方マナーが悪い。猛スピードで狭い歩道内で乗っている人が多くて、本当に怖い。家庭内ではもちろん、学校でも体験学習などして、危険性を教育してほしい。
自転車と自動車を区別する道路づくり。
自転車利用者の夜間の無灯火運転が目立ちます。自動車をよく運転する私としては、とても危険に思います。区からも積極的な対策をお願いします。
サイクリングコースの電灯が昼間も点灯しているのはなぜですか。
電動自転車購入の補助金。太陽光発電に補助金があるように、自動車を使わない人にもエコ補助金を。
自転車専用道の設置。児童、生徒への安全教育。
夕方、夜間の自転車に対するねずみ捕りをしてほしい(無灯火が多い)。
歩道上を走行する自転車の無謀運転に対して、考えてほしい。
駅までの歩道に「自転車での通行は、ご遠慮ください 青葉土木事務所」と、看板がおいてあります。しかし車道は自転車が通行しやすいような整備はされていません。自動車が通行しても安全な道路にしてほしいと思っています。

電車・バスの混雑

青葉区のブランド力向上のため、田園都市線の混雑緩和にも尽力していただきたい。
田園都市線は、振替輸送の選択肢が少なく、かつ住宅ばかり増やしているために、路線が混み、異常である(特に何の路線サービスや料金にも反映されていない)。
青葉台駅を利用しているが、マンション建設ラッシュで朝夕の田園都市線の混雑がひどい。何とかしてほしい。
交通の便が良く住みやすい街のせいか、住民が増えて、朝夕の通勤時の電車・バスの混雑はもう少し改善策があるとありがたいです。
交通の便は良いが、朝夕のラッシュがつかうと感ずります。
人口が多すぎて(マンションを建設しすぎ)、電車が混んだり、物価が高くて住みづらい。

交通マナー

4月に転入してきましたが、車のスピードが他地域に比べて速く、マナーが悪い(自分勝手)と感じています。
商店街、住宅街、スクールゾーンへの車の進入を規制してほしい。子ども、お年寄りを守ってほしい。
狭い道路を裏道として通行する車が多く、スピードを出し危険。
青葉台駅前の信号のタイミングが変わってしまった。変わってしばらく経つのに、未だに前のタイミングで渡る人が多い(信号無視)。防止してほしい。
雨の日の路駐禁止の強化(バスが通れず、時間通りに運行できない)。

その他交通機関

カーシェアリングの整備。当地区の住民の2台保有が最近増えています。カーシェアリングが充実すれば、エコにつながると思います。

青葉区を含め横浜市は、東京と同じように道があまり広くはない。そのため、移動手段としては車よりもオートバイの方が効率が良い場合が多く、渋滞緩和や排ガス低減につながる。なので、オートバイを乗りやすい環境に、駐輪場を中心に整備してほしい。

福祉について

子育て支援

川崎に住んでいた時は「こども文化センター」という場所がありました。午前中は小さな赤ちゃんを連れてお母さん達のサロンでした。そんな場所があれば安心です。
子育て支援拠点をたまプラーザにも造ってほしい。
子どもが自転車遊びをできるような平地のスペースを作ってください。
現在子育て中なので、いろいろな役に立つことが充実することを願っています。
子育て支援を今以上に充実してほしい。教育、子育てにはお金がかかります。十分な補助をお願いしたい。
子育て支援は金銭面ばかり強調しているが、精神面がおざなりになっている。母親の教育をしてほしい(優しさ、気遣い等)。本来家庭でやるものであるが、現在は家庭が壊れているのであてにできない。
子どもの医療費、保育園、一時預かりなど支援の拡充。
弱者に対して住みにくい区と思います。 特に子育てに関しては、行政のサービスが他の地域に比べて悪いです。少子化に歯止めをかけるためにも是非お願いします。
雨の日に幼稚園～小学生が遊ぶ施設が少ない。
子育て支援に手厚く、とても良いと思います。
子育ては特に中学、高校からお金がかかり大変なので、小さい子どもばかりでなく、18歳まで支援してほしいです。うちの場合、子どもの年齢が離れて4人おり、年子の方など保育園費が安い、うちはすべて満額払っており、しかも中高生もかかえて、本当に子どもが多いと大変なんです！助けてください。
子どもの教育にお金がかかります。我が家は3人の子供がおりますが、所得制限で子ども手当がもらえません。経済的支援を所得制限なしでいただけるようにしてほしいです。
青葉区に限らず、横浜市は子育て世帯には優しくない街だと感じています。環境は素晴らしいですが、教育に関しては市立の幼稚園がないことから始まり、所得の多い世帯の割合が高いということに甘えているのでは。
共働きの世帯にとってとても子育てがしにくい。
子育てサポート対策や場所がありますが、まだまだ知らない方が多いようで、もったいないです。
子育てについては、親は若いのでなんとかなると思います。バラマキは反対です。子育てのバラマキの資金は、みんなで共有できる施設への資金にしてほしい。
待機児童は今後も増えていくと思うので、保育園の数が増えないのならば、家庭福祉員の規制をもっと緩和してほしい。自宅がマンションなのでエントリーできませんでした。自宅を「家庭福祉員」と「子育て支援者」をマッチングさせた空間として提供できたら、と考えています。また、そのようなものを立ち上げてみたい。
母子手帳と一緒に子どもの予防接種の利用券が配布されました。無事に生まれるとは限らない。生まれた後に配布すべきでは。
自分が病気の時は子どもを一時預かりの場所まで連れていくのが大変でした。自宅で子どもをみてくれるようなサービスがあれば助かりました。
子育て支援は対象を乳幼児のみに限定せず、小学校6年生くらいまでに広げるべきだと思います(一時預かり、相談など)。はまっこふれあいスクールは不定期なので、あてにはできません。
高齢者への福祉ばかりではなく、子どもにも予算を使ってほしい。
都筑区と青葉区の境に住んでいます。都筑区の方がいろいろな面で優れていると思います。通学路も配慮ができていて、子ども達が遊べるところも多い。
仕事を続けたいと思っていますが、両親が遠いため、子どもが生まれた時、預かってもらえないので保育所や子育て支援のサービスが向上したら良いと思います。同じ職場の先輩から話を聞くと現状でのサービスでやや不安があります。

保育所

保育所の入所基準から除外されている非就業者に対する保育支援(入所基準の緩和、求職時の一時預かり等)を積極的に推進してほしい。
子どもの医療費、保育園、一時預かりなど支援の拡充。
保育園の内容を検討してほしい(4歳児以上の充実)。
子どもにかかるサービス(保育、学童保育)が不十分。時間延長等、拡大して充実すべき。共働きの世帯にとってとても子育てがしにくい!
保育所に子どもを預けられず、待機児童となっており就職ができない。
保育園の環境が悪い。
保育料の値上げは、時代に逆行。福祉が高齢者に偏り過ぎ。信じられない!
これから出産を控え、保育園事情の厳しさを聞くと頭が痛い。働きたいと思っても、預け先がなければ働けない。
これからも青葉区に住み続けるために、保育園を充実していただきたいと思います。仕事を続けたいと思っていますが、両親が遠いため、子どもが生まれた時、預かってもらえないので保育所や子育て支援のサービスが向上したら良いと思います。

高齢者支援

高齢者減税制度を至急に制定してほしい。
後期高齢者になりました。子ども2人は他県に住居を持っているが、できれば夫婦揃って最後まで青葉区に居住したいです。しかし老人ホームの入居は、どこも高額な費用が必要で、何とかもう少し安価な入居金で入れるところがほしい。近未来のことであり切実である。
私はほぼ寝たきりで外出はできません。トイレ、入浴はできるので要支援2です。デイサービスはあっても利用する体力はなく、主人が今は元気という理由で、ヘルパーサービスはありません。先行きを思うと心配です。在宅サービス、介護付老人ホームの充実をお願いします。
心配なのが老後です。老後の介護状態になった時の施設を増やしていくべきだと思います。
障害者、高齢者等本当に困っている方々へ手厚く対策を行ってほしい。
長寿のまちということは、高齢化率が上昇する可能性が高いことを意味すると思われるが、高齢化率の進展に対して、介護・福祉、医療・予防に対してどのような取り組みをしているのか不明。産学官民で協力した、学際的で実践的な対応策を早急に考えるべきである。
子ども対象、高齢者対象事業への補助金。

若者支援

若年者の就労関係(ハローワーク等)の施設建設を積極的にしてほしい。ハローワークが近くて新横浜というのはいただけない。高齢者の事も大事だが、学生やフリーター等にもっと理解を。
団地に住んでいますが、高齢化のため子どもの数が減っています。理由は高齢化だけではないと思いますが、子育てにはとてもいい環境なので、もっと若い人が団地内に増えたらいいなと思います。
私の住んでいる所は高齢化が進んでおり活気がない。若い人が住める街づくりがあったらいいと思う。
青葉区には製造業の会社が少なく、若者の働く場を作っていくとよいのではないかな。
ハローワークが新横浜まで行かないとない点が問題です。市ヶ尾にもハローワークを作してほしい。そしてハローワークに若者相談窓口とか、子ども達が仕事を体験できるキッズニアみたいなものを作れば、青葉区のニートは減ると思う。

障害者支援

障害者(精神)に理解を示し、就労や日々の生活の力になってほしい。
障害者の方の就労支援については、職業能力開発の場や、就労体験の場をもっと増やしていただきたい。
軽度だが就労が困難な精神障害者に対して、就労の場の提供、就労支援をもっと充実させてほしい。

教育・文化について

教育

川崎に住んでいた時は、子どもが学校が終わってから「こども文化センター」という場所があり、小学生～中学生まで宿題をしたり、ゲームをしたり、卓球をしたりと様々な形で、色々な年齢の子と安心して集まれる場所がありました。そんな場所があれば安心です。
中学校の給食を開始してほしい。
弱者に対して住みにくい区と思います。 公立の幼稚園の設立など考えていただきたいです。少子化に歯止めをかけるためにも是非お願いします。
中学校のお弁当を給食にしてほしい。
子ども達が充実した生活を送ることができる環境(勉強、スポーツ、趣味)を充実させ、それぞれの子どもが個性を発揮できる支援を行うことで、街を活性化し続けることが、永続的な街の発展につながると思います。子どもが住みたい街、子どもが大人になった時、自分の子どもを育てたいと思う街づくりをお願いします。
自宅の近くに小学校と中学校がないため、バスでたまプラーザ駅近くまで通うのは大変。小学校は建設中で、来年度完成予定ですが、中学校は予定地すらない。どうかしてほしい。
市立の幼稚園がない。
都内では16歳まで医療費無料、公立中学の給食制度などは以前からある。住民が多く、税収の多い横浜市で同等のことができないのはおかしい。給食はセンターなどで集中して作り、各学校に届けるようにすれば、給食室を設ける必要はない。
学童保育が不十分。時間延長等、拡大して充実すべき。共働きの世帯にとってとても子育てがしにくい。
仕事で都内に出ています。 都内のほうの小・中・高等、公立での学習状況と、住まいのある青葉区の学校の様子が随分違うように感じます(青葉区のほうが塾などに行かないと学校ではあまり熱心でない様子)。残念です。
共働きで朝も早いので、小学校の開門を早く(7:30とか)してもらいたい。切実です。
我が子が子どもの時は、あおばサマーキャンプがありました。中学生以上のキャンプリーター養成もあり、年の違う方々と交流する経験を持ち、とても良かったと思っています。今の子ども達も体験してもらいたいと思います。
学童保育の設備・環境が不十分だと思うので、早期に改善してほしい。
公立中通学のための電車賃の補助。慶應ではなく荏田北中ができれば良かったのに。
1.子ども達の教育は両親に負うところが多いが、「三つ子の魂百までも」とあるように、幼い時の教育は特に大きい。道徳的なことは、この時期しっかりさせたい。 家が建ち並ぶ前でサッカーの練習をして木や花を折り、車を汚し傷つけても誤らないで平気な子ども達の母親が幼稚園の先生とは。幼稚園、小学校では他人を大切にすることとをしっかりと学ばせてほしい。そのためにも、道徳観のしっかりした人を先生に。
市政の範囲になるかもしれませんが、小学校・中学校の施設が劣化していることに対して、対策をしてほしい。

図書館

山内図書館の学習(自習)コーナーは、子どもの声が聞こえたり、人の往来があるなどして学習に望ましい環境とは言えないです。そこで、山内センター内の部屋を学習室として常時開放していただきたいです。お願いします。
図書館をたまプラーザにも造ってほしい。
ちゃんとした図書館があったら良いのになあと思う。本もたくさんあって、勉強室で高校生が自習もできる、みんなが集まれる図書館。
図書館を増やしてください。
図書館を充実してほしい。ユートピアの本は暗いし、借りる気がしない。
図書館の数、内容の充実をぜひお願いします。駅に返却ボックスがあっても、借りられる場所が少ないですし、待ち時間も長いので。
図書館を増やしてほしい。
図書館が少ない。

当地区に市民図書はありますが、貸出時間が限られます。常設の図書館を望みます。
図書館の充実を願います。青葉区は横浜の中心地に遠く、中央図書館までなかなか行けません。
図書館の充実。近くに山内図書館があるが、狭くて図書の内容が極めて充実していない。
青葉台の駅ビル内に図書館や行政サービスがあると良いと思う。また、地区センターに図書予約ができる端末があるとありがたいです。

スポーツ

中学生までは区民センターにバドミントンに通えたが、高校生向けのスポーツ活動をやっていないので困っている。是非作ってほしい。
テニスクラブの閉鎖が相次いでいる(赤字経営のため)。区民の健康に大きく寄与する施設なので、税制優遇等をやってほしい。
あちこちに体育館を作って、室内プールも作ってほしい。
スポーツをする場所を充実してほしい(総合グラウンド等)。
旧小学校(黒須田)予定地が1つの「青葉スターズという野球チーム」団体のものになっているのはおかしいと思う。区の土地なのに、なぜ行政は1つの団体のみ優遇しているのでしょうか。
スポーツ施設を望みます。
スポーツ公園を造ってほしい。
スポーツ・文化のできる場所・機会をもっともっと増やすことで、交流の場が増えると思います。誰でも使えるところが少なすぎます。

文化活動

日本国民の自覚を抱かせる教育の充実(市民講義等)。
いろいろな市民講座を企画して行ってほしい。
スポーツ・文化のできる場所・機会をもっともっと増やすことで、交流の場が増えると思います。誰でも使えるところが少なすぎます。

防犯・防災・安全について

防犯

罰則の強化。
パトロールの強化。
外灯を増やして、LEDに取り替えていただきたい。
パトカーでの見回りをもっと多くする(特に夜)。
街灯は青いと暗く感じるのですが…、青くて効果はあったのでしょうか。
交番が遠くて不便。20年以上前に頼んだが、その後改善されていない。
交番の配置、巡査の配員が少なすぎるのではないかと。区民の生命、財産を守るのが最優先である。40万人という大都市であることをしっかり認識すべき。
警察官の質が低すぎる。
外灯を増やしてほしい(省エネタイプ、LED)。
ほんの一部のみとなっているLEDの街灯。全部の街灯を明るいLEDにしてほしい。
防犯についても、住民参加のパトロール等の強化により、常に監視・見守りの目があるとの意識を印象づけ、犯罪の抑止と住民の安心感につなげていただきたい。

防災

災害防止(二次災害)の考え方＝電線の地中化の取り組み。
災害の際の広域避難場所が遠く、不安です。
幼い頃阪神大震災に遭ったため、災害時の区の対策に関心があります。そのような対策を学ぶ場などを設けてほしいです。
災害対策の強化(特に大地震)をお願いしたい。
微量であっても放射性物質を含んでいる可能性のある東北地方のがれきの受け入れは、子どもの将来のことを考えても絶対にやめてほしい。
電線の地中化を進めてください(災害時のハザード対策、歩道を広くできる、景観)。

地域防災拠点への物資の補充が万全で良いと思います。また、「帰宅困難者受け入れ施設」と地域防災拠点とを分けるべきだと思います。

大地震に備えての、避難場所へのわかりやすい標示をしてください。

子どもの安全

保育園児が狭い道路を使って公園まで異動しているが、危ない。スクールゾーンなどと同等に配慮が必要では。

青葉区は子どもも老人も多いと思います。子どもを育てながら、そろそろ親の介護を心配する我々としては、例えば、子どもの登下校やパトロールなど、仕事を引退して元気なご老人達の手を借りて助けていただければ、安全な街づくりにつながると思います。以前、そのようなことを窓口で相談した際、そのようなボランティアはないと言われただけで、先に進みませんでした。

小学生の登下校は、なるべく大人が付き添えると安全かと思います。子ども達が無事育つため、大人の見守りが第一と思います。

セシウム入りの給食を子どもに食べさせる行為もやめてほしい。

保育園・幼稚園など小さな子どもが通う施設での放射線対策・指導の強化を求めます。園庭・公園の土壌測定、給食食材の測定、産地の選定など市民団体との情報共有の強化。

高齢者への福祉ばかりではなく、子どもにも予算を使ってほしい。放射能対策も考えてほしい。

都筑区と青葉区の境に住んでいます。都筑区の方がいろいろな面で優れていると思います。通学路も配慮ができていますし、子ども達が遊べる場所も多い。

地域社会について

地域活動

駅前等のお祭り、イベントがもっとあると、楽しめたり、地域をもっとよく知る手がかりになると思う。

フリーマーケットを各所でやってください。

伝統の太鼓などの活動に参加したい。

地域活動などは、自治会・行政・個々に頑張るのではなく、手を取り合い頑張ることはできないのかな？と思います。

高齢者、障害者の方も参加できるような地域活動を実施していただけると良いと思います。

区内のNPO活動をもっと応援してください。他の地域の団体や企業を使うのはやめてください。

地域商業振興

柿の木台と藤が丘境界に営業していないスーパーがあるが、区等で買収し、新装開店することはできないのか？建物はあるのにあまりにももったいない。

近辺に日常食品を売る店がない。黒須田バス停近辺に日常食品等を売るコンビニを誘致してほしい。

鉄町がものすごく不便。せめてスーパーマーケット等の店舗を作ってもらいたい。高齢者が多い町なのに、ネットスーパーも鉄町は外されている。せめてスーパーマーケットを鉄町に！必ずお願いします。

だんだんと住みにくくなっていると思う。15分以上歩かないと食品店がない。

整然とした街並みは良いのですが、あまりに不便です。家から車に乗らないとポストすらありません。坂が多いので自転車も恐いです。健康のために歩くにも、もう少し店や施設が歩ける距離にあってほしいです。近隣の人達、どこで食料を調達しているのか、新しい家やマンションが建つたびに思います。街並みは良くても、生活が不便では困ります。

店舗等が次々と閉店になっているので気になる。

地域コミュニティ

高齢化地域での近隣の付き合いの希薄は、孤独死等の問題が潜んでいる。自治会等でも対策が検討されているようだが、民生委員、自治会、有志と結びつけ、互助の運動が望まれる。

近隣の人々のつきあいの希薄化に伴い、町内会での連絡網などを徹底し、孤独感の解消など必要。

主人 72 歳、私 69 歳です。主人は 70 歳で定年になり、現在近くの同年代の方々と色々な催しに参加しているのですが、女性は専業主婦の方が多く、毎日家の中で過ごしているようで出歩く姿を見かけません。私は 60 歳くらいまで勤めていたため、近所の方との付き合いもなく、主人が亡くなったらどうしようと心細い毎日です。
住民が多くなりすぎている。しかし周囲に無関心。
私を含め未婚の成人者もたくさんいらっしゃると思いますが、地域で何とか結婚できるようなお見合いサービスができると嬉しいです。

退職後高齢者の活用

高齢化に伴い、職場(東京が主)から地域に戻る高齢者を活用・支援して、①防犯パトロール隊、②子どもボランティア支援、③後期高齢者の介護支援(アルバイトの仕組み)を進める。
リタイア後のシルバー世代の活力を活かす場を作してほしい。

医療について

医療体制

子どもの医療費の無料化を実現してほしい。
子どもの医療費など支援の拡充。
医療費の無料化引き上げ、予防接種の無料化など考えていただきたいです。少子化に歯止めをかけるためにも是非お願いします。
不妊治療を続けていたが、支援金がなく、経済的に大変になり諦めた(高度医療ではお金が続かない)。
都内では 15 歳まで医療費無料。住民が多く、税収の多い横浜市で同等のことができないのはおかしい。
婦人のがん検診は全ての住人に機会を与えてほしい。
救急病院があっても受け付けない病院が多く、急病になった時を心配している。
子どもの医療費を 15 歳まで無料にしてほしい。
東京都のように子どもの中学卒業までの医療費の無償化。
町田市は中学生まで子どもの病院代が 200 円で済みますが、横浜市は未就学児まで無料で、小学校に入学すると普通に病院代がかかってしまうので、なかなか病院に連れていくことができない。

病院・医院

病院・小児科の充実を実現してほしい。
出産について、里帰りの問題も含めて、青葉台には出産できる医院が 1 件しかなく、里帰り問題を考慮すると、満足に診療できる病院はほとんどない。病院はいつも 3～5 時間待ちでありえない。
総合病院をもっと増やしてほしい。

平成 24 年度 青葉区区民意識調査 調査結果 報告書

発行日 平成 24 年 9 月

発行 青葉区 総務部 区政推進課 企画調整係

〒225-0024 横浜市青葉区市ヶ尾町 31 番地 4

TEL 045 (978) 2217

FAX 045 (978) 2410